DatawayOne シリーズ

デジタル入出力／Ethernet 変換器

DWO-DIO8

取扱説明書

Rev.2.0４

※この取扱説明書は本体 H/W Rev. A, H/W Rev.B(RoHS 対応) に対応しています
この取扱説明書は本体ファームウェア Ver2.00、Ver2.01 に対応しています。

JSK 日本制禦機器株式会社
JSK CO.,LTD

※Dataway は JSK の登録商標です。

安全にご使用いただくために

本書においてはDatawayOneシリーズを安全にご使用いただくために、注意事項のランクを「危険」、「警告」、「注意」の３段階に分けて、下記のような教示を図記号で表しています。以下に記したマークを伴っている注意事項は、安全に関する重大な内容について述べていますので、熟読した上で正しくご使用ください。

⚠ 危険	危険：DANGER	取り扱いを誤った場合、死亡または重症を招く差し迫った危険な状況が想定される内容を示します。
⚠ 警告	警告：WARNING	取り扱いを誤った場合、死亡または重症を招く可能性がある危険な状況が想定される内容を示します。
⚠ 注意	注意：CAUTION	取り扱いを誤った場合、軽傷または中程度の障害を招く可能性のある状況、及び物理的損害の発生が予測される危険な状況を示します。

設計上の注意	⚠ 警告	●人命や機器の破損のかかわるところや、緊急用の通信部に使用しないで下さい。 また本器の誤動作に対応できるシステム設計を行ってください。
	⚠ 注意	●各通信ケーブルは、動力線と一緒に束ねたり、近接した配線にしないで下さい。ノイズによる通信エラーの原因となります。 ●原子力関連及び、公共重要設備へのご使用につきましては、弊社営業へご相談ください。
取り付け上の注意	⚠ 注意	●本器はマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。 ●一般仕様以外の環境で使用すると、火災、誤動作、製品の破損、あるいは劣化の原因になります。 ●下記のような場所に使用しないでください。故障、火災の原因になります。 ・腐食性ガス、可燃性ガス、溶剤、研削液、切削油等に直接触れる場所 ・高温、結露、風雨にさらされる場所 ・振動、塩分、鉄分が多い場所 ・振動、衝撃が直接加わるような場所 ●機器への導入に際して、本器の主電源端子及び基板回路など容易に触れないように、正しく取り付けてください。
配線上の注意	⚠ 危険	●装置の組み立て、ケーブルの接続時には、必ず電源をOFFにしてください。感電や破損の恐れがあります。
	⚠ 注意	●本器への配線は定格電圧、定格電力を考慮して正しく端子に接続してください。 定格外の電源を供給したり、誤配線した場合は製品の破損、故障、火災の原因になります。 ●本器内に導電性異物が付着または入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。
保守・運転中の注意	⚠ 危険	●通電中は絶対に端子及び基板回路に触れないでください。 感電の恐れがあります。
	⚠ 注意	●本器の修理、分解、改造を日本制御機器㈱以外、もしくは日本制御機器㈱指定以外の第三者が行った場合、それが原因で生じた損害等につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

ご　注　意

●本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
●本書に記載された内容は予告無く変更する場合があります。
●本書の内容については万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、販売店へご連絡ください。
●本製品の運用を理由とする、損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
●本書に記載される会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

1 概要 5
1.1 はじめに 5
1.2 梱包内容 5
1.3 寸法と各部の名称及び機能 5
1.4 本機器で出来ること 6
2 機能 7
2.1 モード切り替え 7
2.2 ステータス LED 7
2.2.1 運転モード時 7
2.2.2 パラメータ設定初期化モード時 7
2.2.3 UP−DATE モード時 7
2.3 電源 LED 7
2.4 リセット SW 7
2.5 クリア SW 7
2.6 イーサインタフェース 8
2.6.1 仕様 8
2.6.2 コネクタ 8
2.6.3 ピンアサイン 8
2.6.4 推奨ケーブル 8
2.7 出力部インタフェース 9
2.7.1 仕様 9
2.7.2 出力部回路図 9
2.7.3 端子台 9
2.8 入力部インタフェース 10
2.8.1 仕様 10
2.8.2 入力部回路図 10
2.8.3 端子台 10
2.9 電源コネクタ 10
3 動作モード 11
3.1 運転モード 11
3.1.1 運用 11
3.1.2 概要 11
3.1.3 デジタル入力機能 12
3.1.4 デジタル出力機能 13
3.1.5 トラップ送信機能 14
3.1.6 メール送信機能 15
3.1.7 遠隔コマンド送信機能 16
3.1.8 遠隔コマンド受信機能 16
3.1.9 ユニット監視機能 18
3.1.10 DIO サーバー機能 19
3.1.11 対向接続機能 21
3.1.12 ファームウェア書換機能 22
3.1.13 ロギング機能 23
3.1.14 時刻自動補正機能 25
3.2 初期化モード 26
3.2.1 機能 26
3.2.2 運用 26
3.3 ファームウェア書換モード 26
4 運転パラメータの設定 27
4.1 ブラウザからの設定 27

4.1.1 トップ画面 27
4.1.2 ＤＩ設定画面 28
4.1.3 ＤＯ設定画面 29
4.1.4 ＳＮＭＰ設定画面 30
4.1.5 ＳＭＴＰ設定画面 31
4.1.6 ＤＩＯサーバー・対向接続設定画面 32
4.1.7 遠隔コマンド設定画面 33
4.1.8 ユニット監視設定画面 34
4.1.9 ＵＳＥＲ設定画面 35
4.1.10 クリアＳＷ設定画面 36
4.1.11 時刻設定画面 37
4.1.12 ＳＮＴＰ設定画面 38
4.1.13 ロギング設定画面 39
4.1.14 リセット 40
4.1.15 バージョン情報 41
4.2 TELNET からの設定 42
4.2.1 コマンドツリー 42
4.2.2 コマンド詳細 45
4.2.3 基本ネットワーク設定メニュー 46
4.2.4 ＤＩ設定メニュー 47
4.2.5 ＤＯ設定メニュー 48
4.2.6 ＳＮＭＰ設定メニュー 49
4.2.7 ＳＭＴＰ設定メニュー 50
4.2.8 ＤＩＯサーバー設定メニュー 51
4.2.9 遠隔コマンド設定メニュー 53
4.2.10 ユニット監視設定メニュー 54
4.2.11 ＵＳＥＲ設定メニュー 55
4.2.12 クリアＳＷ設定メニュー 56
4.2.13 時刻設定メニュー 56
4.2.14 ＳＮＴＰ設定メニュー 57
4.2.15 ロギング設定メニュー 58
4.3 SNMP からの設定 59
4.3.1 専用 MIB 定義一覧 59
4.3.2 専用 MIB オブジェクト解説 62
4.3.3 SNMP トラップ定義一覧 72
4.4 DWO マネージャーからの設定 73
4.4.1 DWOManager の起動 73
4.4.2 ブラウザ設定画面へのジャンプ 73
5 工場出荷時設定値一覧 74
6 トラブルシューティング 82
7 製品仕様 83
7.1 一般仕様 83
7.2 性能仕様 83
8 製品サポート 84

1 概要

1.1 はじめに

このたびは、デジタル入出力／イーサネット　メディアコンバータをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本機器はイーサネット接続された機器からの指令により、デジタル入出力（入力：８点／出力：８点）の制御を行う機器です。

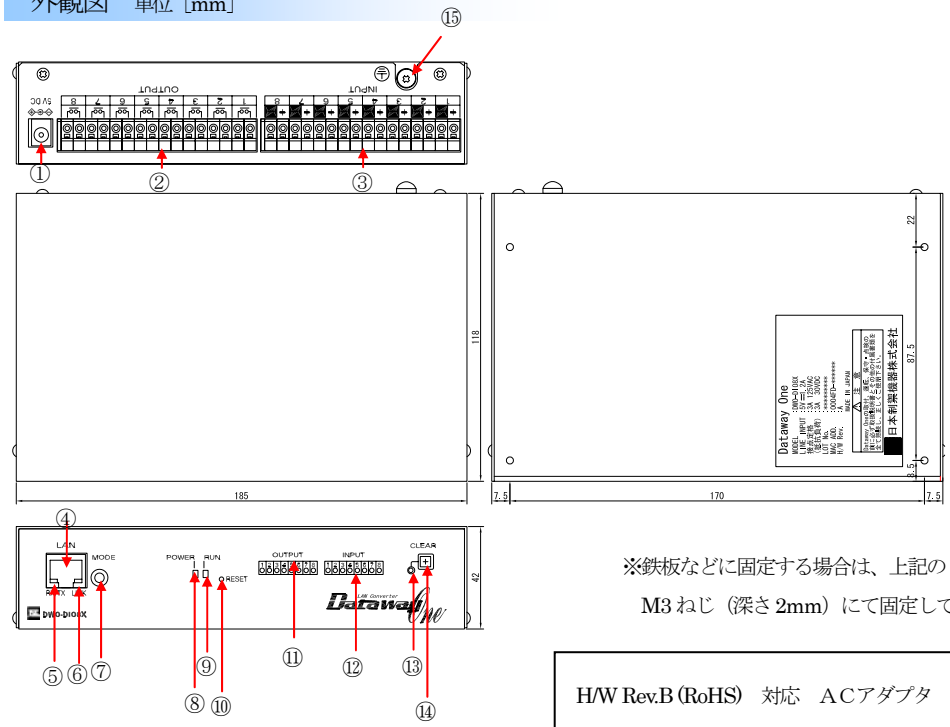
ご使用に関しては、本書の内容をご理解された上で、正しくご使用されるよう、お願い申し上げます。

1.2 梱包内容

①本体
②AC アダプター
③ゴム足　４コ
④アドレスシール
⑤導入マニュアル
⑥FAX お客様登録用紙

1.3 寸法と各部の名称及び機能

外観図　単位［mm］



※鉄板などに固定する場合は、上記の４点のねじ穴を利用し、M3 ねじ（深さ 2mm）にて固定してください。

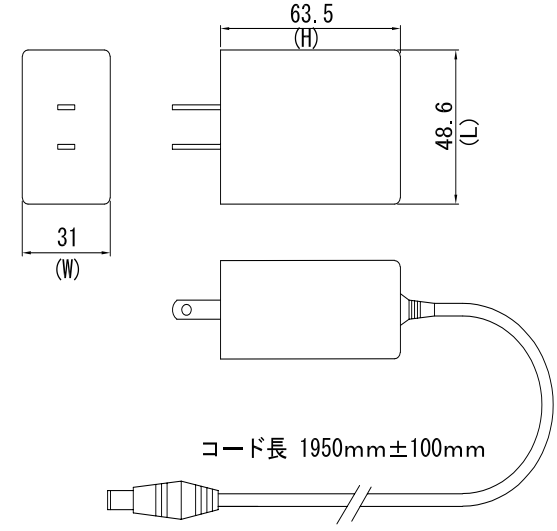
① 電源コネクタ
② 出力端子台（８点）
③ 入力端子台（8 点）
④ イーサネットインタフェース
⑤ DATA 表示 LED
⑥ リンク表示 LED
⑦ モード切替 SW
⑧ 電源 LED
⑨ ステータス LED
⑩ リセット SW
⑪ 出力 LED
⑫ 入力 LED
⑬ クリア SW　LED
⑭ クリア SW
⑮ FG 端子(M4 ネジ)

注意 H/W:Rev.A の場合、ＡＣアダプタは（NP-12-1S0523）が付属する場合があります

W=26mm　L=48mm　H=54mm　コード長　1600mm

AC アダプタは、予告なく変更する場合があります

H/W Rev.B (RoHS)　対応　ＡＣアダプタ　TAS2800-Y-2-JSK

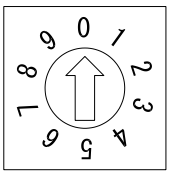


1.4 本機器で出来ること

・デジタル入出力８／８点の制御監視（SNMP／RSH／TCP／UDP）
・各種イベントトリガでのトラップ通知
・各種イベントトリガでのメール通知
・各種イベントトリガでのデジタル出力
・各種イベントトリガでの RSH コマンド送信
・各種イベントトリガでのロギング機能
・RSH コマンド受信機能
・内部時計自動補正機能
・ユニット監視機能（ｐｉｎｇ）
・対向接続機能

2 機能

2.1 モード切り替え



0: 運転モード

1～5: 動作しません。

6: 使用しません。（出荷検査に使用します。お客様はご使用にならないで下さい）

7: パラメータ設定初期化モード

8: UP-DATE モード

9: 動作しません。

※モード切り替え後リセットをかけることにより、切り替え設定が有効となります。

※UP－DATE モードは、ファームウェア書換え時に使用します。

2.2 ステータス LED

DWO の動作状態をステータス LED で表示します。

2.2.1 運転モード時

動作	ステータス LED
電源投入時	消灯
TCP セッション確立時	点灯（緑色）
TCP セッション破棄時	消灯
初期化チェックエラー発生時	点滅（緑色）0.1 秒周期

2.2.2 パラメータ設定初期化モード時

動作	ステータス LED
電源投入時	点滅（緑色）0.5 秒周期
初期化チェックエラー発生時	点滅（緑色）0.1 秒周期
パラメータ初期化完了時	点灯

2.2.3 UP－DATE モード時

動作	ステータス LED
電源投入時	点灯（緑色）
初期化チェックエラー発生時	点滅（緑色）0.1 秒周期
ファーム書き込みエラー発生時	点滅（緑色）1 秒周期

2.3 電源 LED

DWO の電源が入っているときに緑色で点灯します。

2.4 リセット SW

DWO をリセットします。

リレー出力は論理設定に関係なく OFF します

2.5 クリア SW

リレー出力の全ビット強制 OFF を行います。（強制ＯＦＦ時の状態は、各ビット毎の論理設定に依存します。）

※　本機の停電発生の確認が必要な場合は死活監視（PING 応答要求）を行ってください

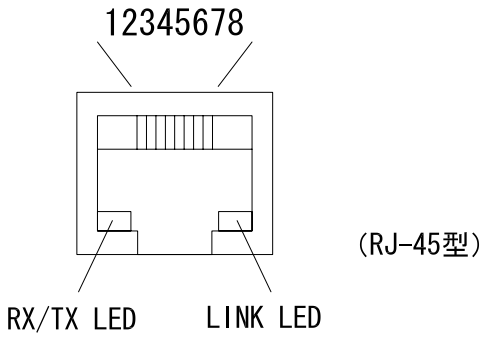
2.6 イーサインタフェース

2.6.1 仕様

項目	内容
ビットレート	10Mbps/100Mbps 自動切換え （100Mbps 優先）
プロトコル	CSMA／CD （IEEE 802.3）
伝送媒体	10BASE-T、100BASE-TX
トポロジ	スター
Duplex	全二重／半二重 （全二重優先）

レイヤ	プロトコル	説明
物理レイヤ	10BASE-T 100BASE-TX	IEEE802.3
データリンクレイヤ	CSMA/CD	IEEE802.3 搬送波感知多重アクセス／衝突検出方式 対象フレーム：イーサフレーム
ネットワークレイヤ	IP ICMP ARP	TCP/IP プロトコルにおける 標準的なネットワークレイヤのプロトコル
トランスポートレイヤ	TCP	TCP/IP プロトコルにおける 標準的なトランスポートレイヤのプロトコル
アプリケーションレイヤ	ソケット	ソケットスループロトコル

2.6.2 コネクタ



2.6.3 ピンアサイン

ピン番号	信号名	名称
1	TXD＋	送信データ（＋）
2	TXD－	送信データ（－）
3	RXD+	受信データ（＋）
4	－	未使用
5	－	未使用
6	RXD－	受信データ（－）
7	－	未使用
8	－	未使用

2.6.4 推奨ケーブル

カテゴリ５対応ツイストペアケーブル（UTP または STP）

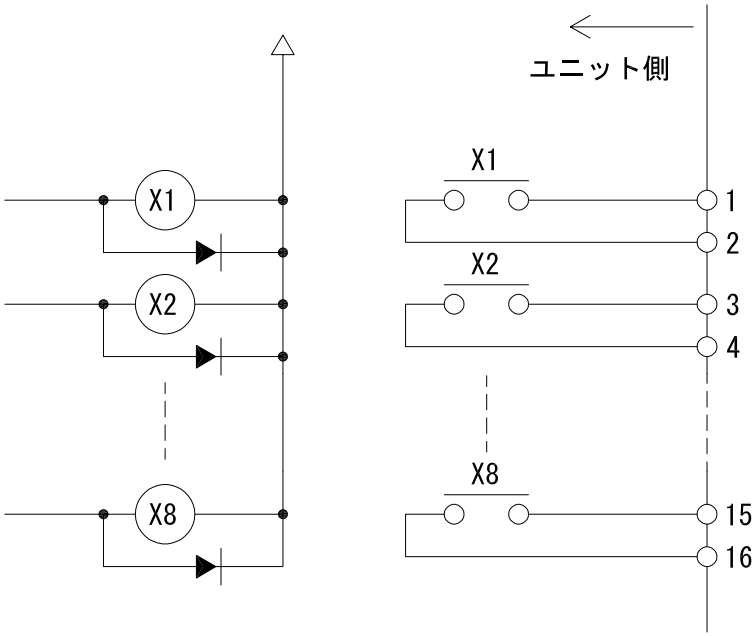
DWO に直接接続する場合（１：１）はクロスケーブル、HUB を介して接続する場合はストレートケーブルが必要です。

2.7 出力部インタフェース

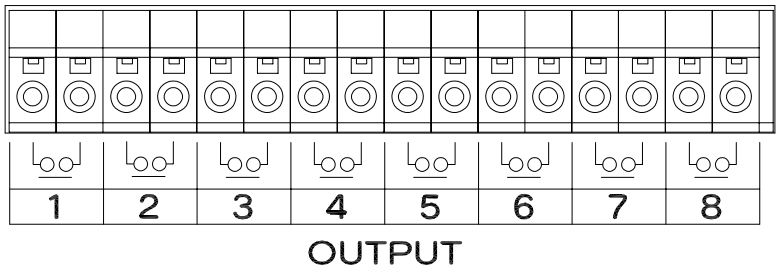
2.7.1 仕様

項目	内容
出力形式	無電圧　　a 接点出力（リレー）
出力点数	8 点
定格負荷	125V　3A（最大）　DC30V　3A（最大）DC5V　10mA（最小）（負荷抵抗）
使用可能電線	単線　　Φ1.3～2.0㎜　　(AWG#12～#16) より線　0.33～2.08㎟　　(AWG#22～#14)
電線被覆剥きしろ	9～10mm

2.7.2 出力部回路図



2.7.3 端子台

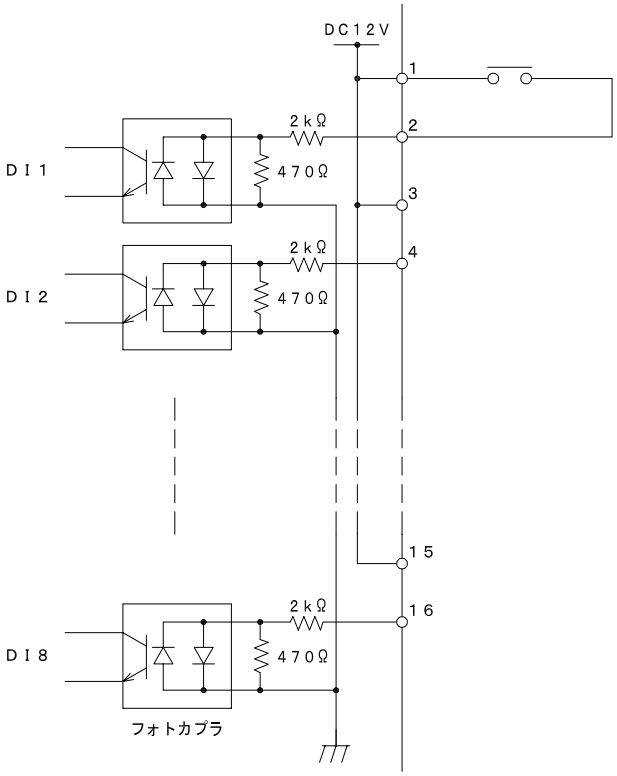


2.8 入力部インタフェース

2.8.1 仕様

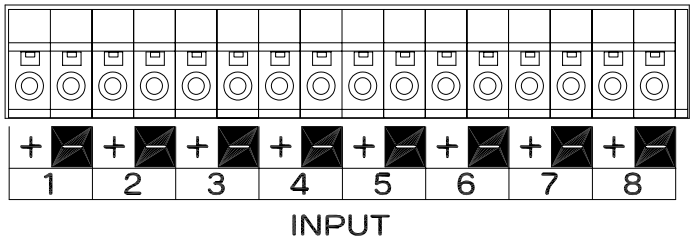
項目	内容
入力形式	フォトカプラ入力（内蔵 12V 使用）、短絡時電流約 5mA
出力点数	8 点
使用可能電線	単線　Φ1.3～2.0 ㎜　（AWG#12～#16） より線　0.33～2.08㎟　（AWG#22～#14）
電線被覆剥きしろ	9～10mm

2.8.2 入力部回路図



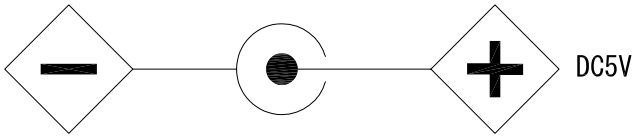
※ 内臓 DC12V 電源は、内部電源と非絶縁です。

2.8.3 端子台



2.9 電源コネクタ

Dataway 専用の付属 AC アダプタをご使用ください。付属 AC アダプタ以外のものをご使用になりますと、本ユニットもしくは接続された他の機器が破損する恐れがあります。



3 動作モード

3.1 運転モード

3.1.1 運用

モード切替 SW を 0 に合わせ、ユニットを起動（再起動）します。

3.1.2 概要

デジタル入力機能

デジタル入力を受けて種々の機能を実現します。

・SNMP エージェントへアクセスすることでデジタル入力の状態を参照できます。
・DIO サーバーへアクセスすることでデジタル入力の状態を参照できます。
・遠隔コマンドにてデジタル入力の状態を参照できます。

各種設定により、「デジタル出力」、「トラップ送信」、「メール送信」、「遠隔コマンド送信」が行えます。

デジタル出力機能

デジタル出力部に信号を出力します。

・SNMP エージェントへアクセスすることでデジタル出力の操作が行えます。
・DIO サーバーへアクセスすることでデジタル出力の操作が行えます。
・遠隔コマンドにてデジタル出力の操作が行えます。
・デジタル入力設定でのデジタル出力の操作を行います。

トラップ送信機能

設定されているトラップ送信を行います。

・デジタル入力の条件設定によりトラップ送信を行います。
・認証エラー発生時にトラップ送信を行います。

メール送信機能

設定条件成立時、登録されているメールを送信します。

・デジタル入力設定においてメール送信設定があれば、条件成立時送信を行います。
・認証エラー設定においてメール送信設定があれば、条件成立時送信を行います。

遠隔コマンド送信機能

設定条件成立時、指定先へ遠隔コマンドを送信します。（リモートシェルクライアント機能）

・デジタル入力設定において遠隔コマンド送信設定があれば、条件成立時送信を行います。
・認証エラー設定において遠隔コマンド送信設定があれば、条件成立時送信を行います。

遠隔コマンド受信機能

遠隔コマンド受信時（リモートシェルサーバー機能）、デジタル出力部にコマンドで指示された信号を出力します。

ユニット監視機能

ネットワークに接続されたネットワーク機器の死活監視（PING 応答要求）を行います。

・異常検出時、SNMP トラップ送信設定があれば送信を行います。
・異常検出時、メール送信設定があれば送信を行います。
・異常検出時、デジタル出力設定があれば出力を行います。
・異常検出時、遠隔コマンド送信設定があれば送信を行います。

DIO サーバー機能

専用プロトコル（ＴＣＰ／ＵＤＰ）にて、デジタル入力部の監視及び、デジタル出力部の操作を行います。

対向接続機能

ネットワークで対向接続し、一方の接点入力変化で他方の接点出力を変化させます。

ファームウェア書換機能

ＦＴＰにてファームウェアの転送を行い、転送完了後書換を行います。

ロギング機能

下記情報を CSV 形式のファイルで保存します。

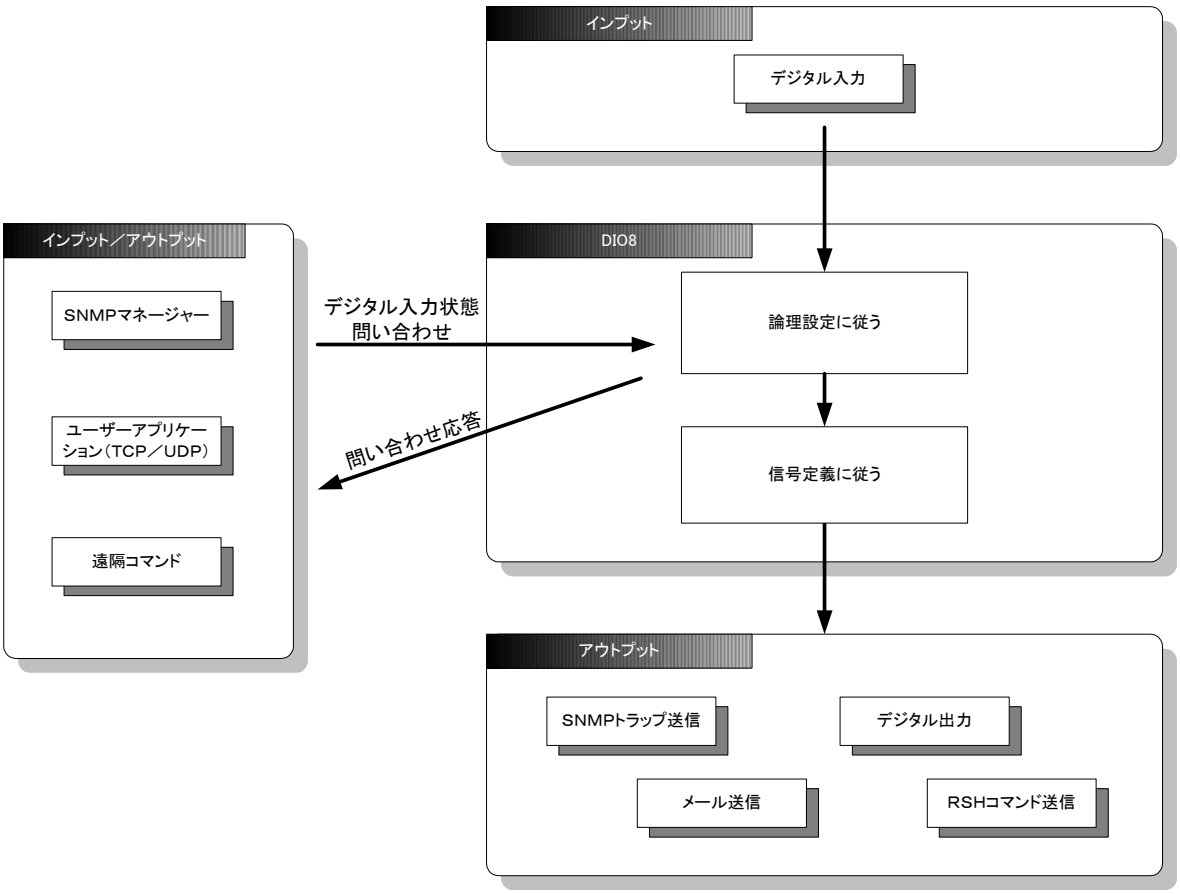
・デジタル入力信号	di.log
・デジタル出力信号	do.log
・ＳＮＭＰトラップ	snmp.log
・電子メール送信履歴	mail.log
・ユニット監視異常履歴	check.log
・遠隔コマンド送信履歴	remote.log

時刻自動補正機能

DIO ユニットの持つ内部時計を、SNTP サーバーを通して自動補正します。

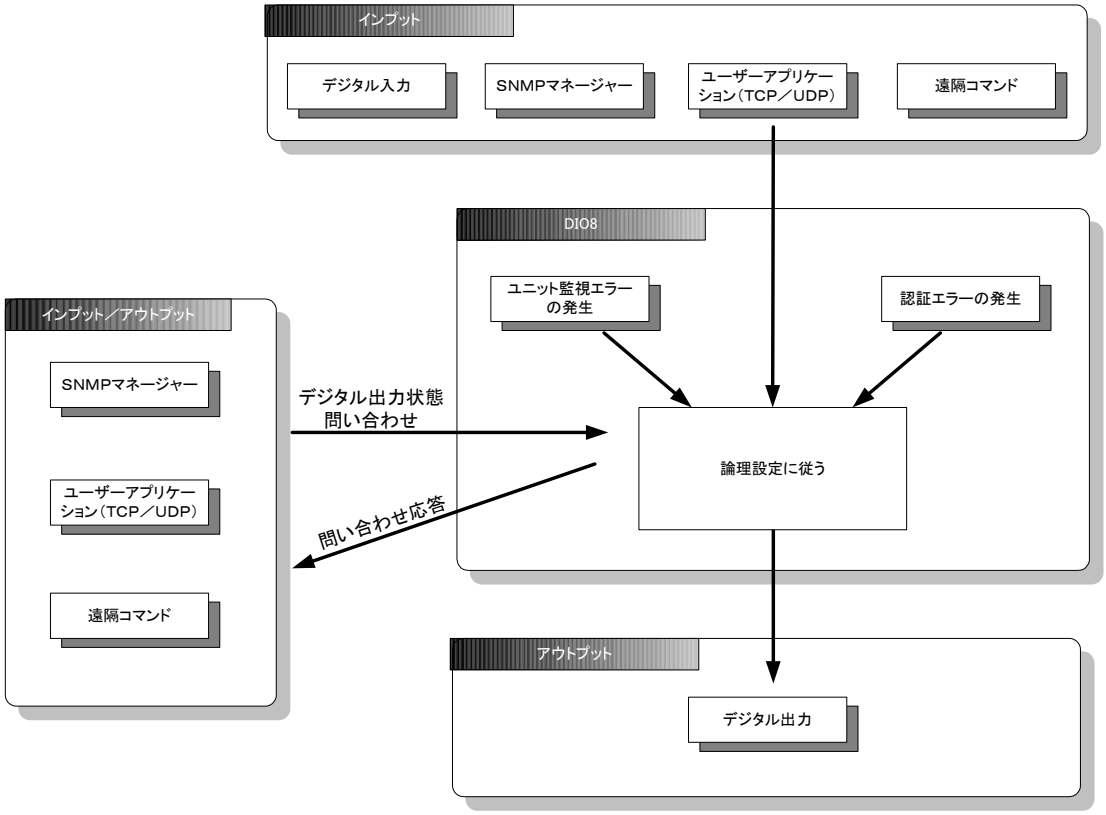
3.1.3　デジタル入力機能

入力１～８に対して各々Ａ接／Ｂ接の論理設定を行います。
設定された論理に従い、信号定義で設定された状態変化が発生した場合「SNMP トラップ」、「メール」、「デジタル出力」、「遠隔コマンド」にて通知することが出来ます。
デジタル入力の状態変化を通知するためのポーリング間隔は 50ms 単位で指定します。（入力１～８共通）



3.1.4 デジタル出力機能

出力１～８に対して各々A接／B接の論理設定を行います。
各インプット操作によるデジタル出力が行えます。

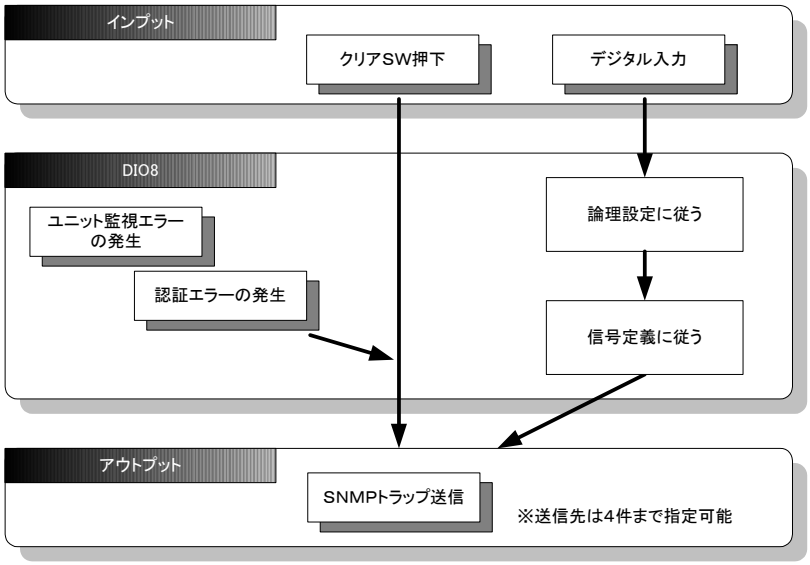


注意　電源投入時及び、リセット SW 押下時は、論理設定に関係なくリレー出力は OFF しステータスが「0」となります
B 接の論理設定を使う場合は、十分な安全上の配慮をして下さい。

注意　複数の機能から同一デジタル出力を制御すると予期せぬ動作を引き起こす可能性があります。
デジタル出力 1～8 の機能割り付けを注意して設定して下さい。

3.1.5　トラップ送信機能

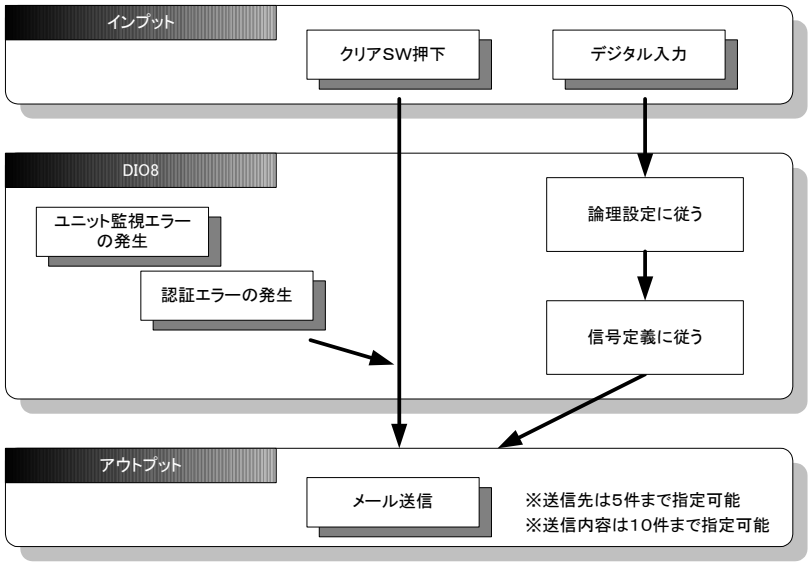
各インプット操作によるトラップ送信が行えます。



送信されるトラップコードについては「4.3.3 SNMP トラップ定義一覧」を参照下さい。

3.1.6　メール送信機能

各インプット操作によるメール送信が行えます。



・送信用メールサーバーの指定

メールサーバーは SMTP サーバーｏｒPOP3 サーバーのどちらかを選択し指定します。
SMTP／POP3 の選択は
パスワードが入力されている／されていない
によって切り替わります。

・DNS の指定

メールサーバーをドメインで指定する場合、DNS の設定が必要です。
メールサーバーを IP で指定する場合、DNS の指定は必要ありません。

・アカウントの設定

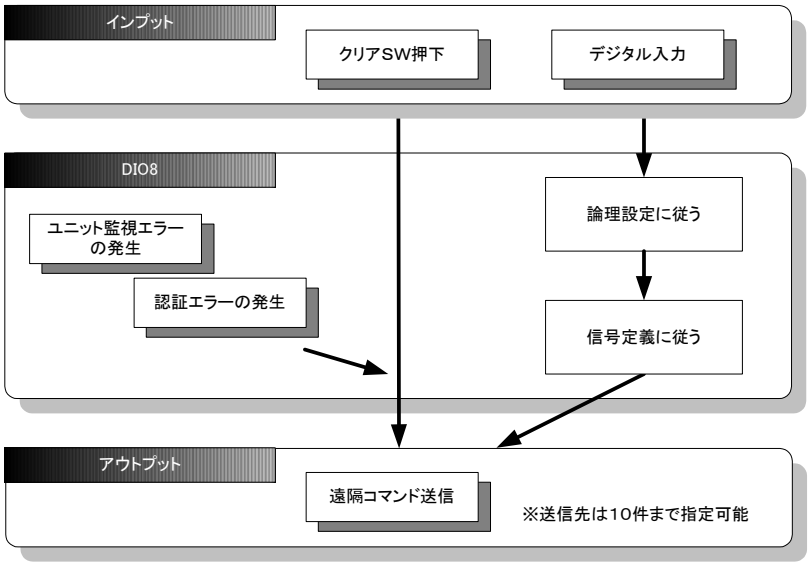
アカウントはドメイン名も付加します。
ex. acount@domain.co.jp

・パスワードの指定

パスワードを設定すると POP3 サーバーしか使用できません。
POP3 での認証パスワードを設定します。
パスワードを使用した場合、メールサーバーは POP3 サーバーになります。

3.1.7　遠隔コマンド送信機能

各インプットにより、設定に従い遠隔コマンド送信を行います。

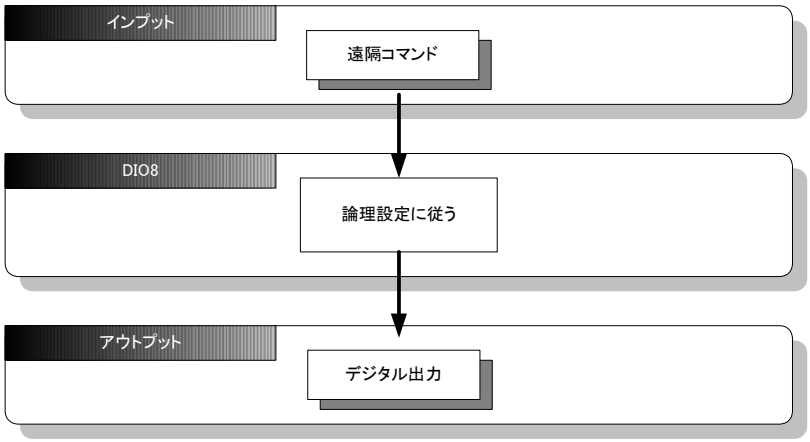


・遠隔コマンド実行時のタイムアウト
遠隔コマンドを実行するホストからの応答待ち時間を 10 秒とします。(固定)
タイムアウト時はセッションを打ち切ります。

・構文は以下の様になります。
rsh　ip[アドレス]　-l　"コマンド　パラメータ"　　※コマンド、パラメータ部は半角英数文字

3.1.8　遠隔コマンド受信機能

各インプット操作によるデジタル出力が行えます。
(注意、DIO サーバ機能と同時に使用しないでください、出力の予期せぬ競合が発生する可能性があります)



・遠隔コマンド受信ポートは 514 番固定です。

・構文は以下の様になります。
rsh　ip[アドレス]　-l　"コマンド　パラメータ"　　※コマンド、パラメータ部は半角英数文字

・サポートコマンドは以下の様になります。

[alert]：出力信号の制御

構文　alert　？？？？？？？？

説明　出力信号の状態を変化させます。

パラメータ部？？？？？？？？の指示には下記の値が入ります。

0：出力信号 OFF
1：出力信号 ON
2：１秒毎に ON／OFF を繰り返す
9：変化なし

応答　コマンド実行後の指示値を標準出力に返します。 ⇒ ？？？？？？？？

応答部？？？？？？？？には下記の値が入ります。

0：出力信号 OFF
1：出力信号 ON
2：１秒毎に ON／OFF を繰り返す
9：変化なし

※　パラメータ部及び応答部の？？？？？？？？は先頭より出力１、出力２・・・出力８の各信号の順です。

[status]：出力信号の状態取得

構文　status

説明　現在の出力状態を標準出力に返します。

パラメータ無し

応答　現在の出力状態を標準出力に返します。⇒ ？？？？？？？？

応答部？？？？？？？？には下記の値が入ります。

0：出力信号 OFF
1：出力信号 ON
2：点滅

※　応答部の？？？？？？？？は先頭より出力１、出力２・・・出力８の各信号の順です。

[read]：入力信号の状態取得

構文　read

説明　現在の入力状態を標準出力に返します。

パラメータ無し

応答　現在の入力状態を標準出力に返します。⇒ ？？？？？？？？

応答部？？？？？？？？には下記の値が入ります。

0：入力信号 OFF
1：入力信号 ON

※　応答部の？？？？？？？？は先頭より入力１、入力２・・・入力８の各信号の順です。

以下のコマンドについてはテスト用のため通常のコントロールに使用しないでください

[clear]：出力信号のクリア

構文　clear

説明　出力信号全てを初期化状態に戻します。

応答　０００００００００

応答には全て下記の値が入ります。

0：出力信号 OFF

[test]：出力信号のテスト

構文　test

説明　出力信号 1～8 を順に点灯させる。⇒全点灯

クリア SW 押下もしくは、rsh コマンド（clear）を実行するまで保持します。

応答　１００００００００→１１０００００００→　→　→１１１１１１１１

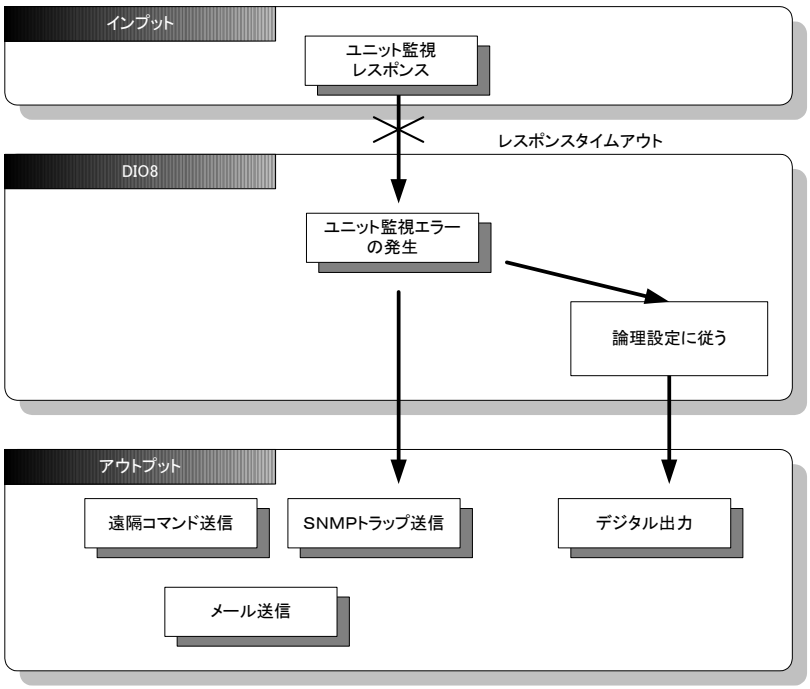
※パラメータ部及び応答部の？？？？？？？？は先頭より出力１、出力２・・・出力８の各信号の順です。

3.1.9　ユニット監視機能

同一ネットワーク上に設置されるユニットを監視（ｐｉｎｇ）します。

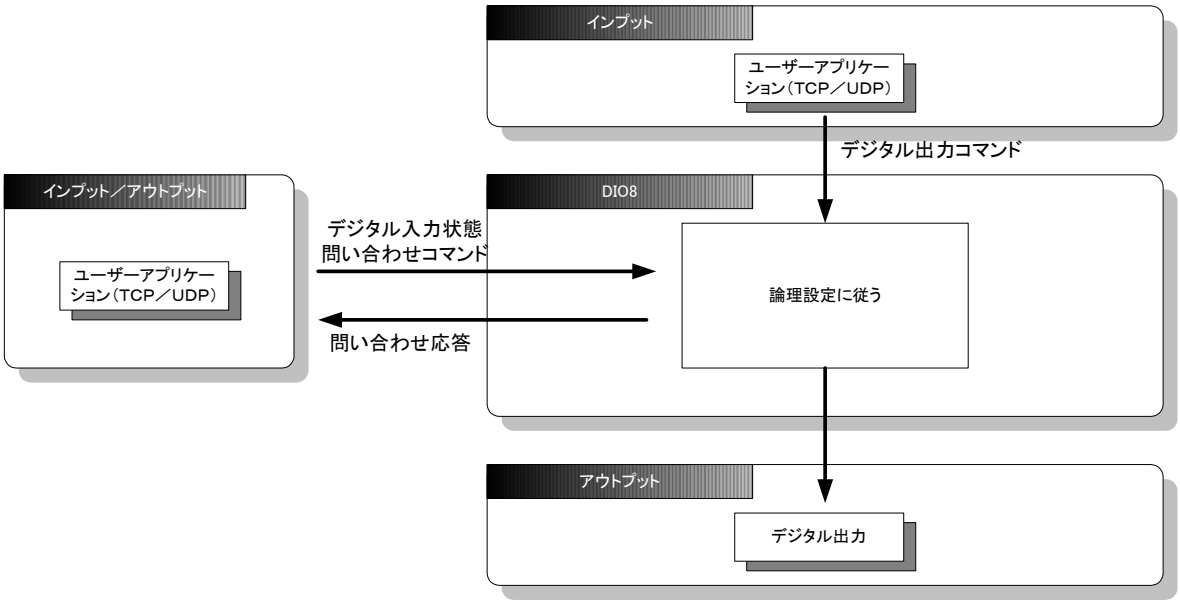
最大１０台までの同時監視が行えます。

ユニットからのレスポンスがタイムアウト時間途絶えた場合、各種方法で通知します。



3.1.10 DIO サーバー機能

ＴＣＰ／ＵＤＰプロトコルで作成したアプリケーションよりデジタル入出力の操作が行えます。
(注意、遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ受信機能と同時に使用しないでください、出力の予期せぬ競合が発生する可能せいがあります)



通信プロトコル（TCP/UDP 共通）

［出力要求コマンド（W)］　本ユニットのデジタル出力操作を行います。

'W' (0x57)	出力データ (1byte bin)

出力データ指定例
出力１,４,６　　出力：0010　1001(ビット配置) → 0x29(出力データ)
全８点　　出力：1111　1111(ビット配置) → 0xff(出力データ)

ユニットからの応答（正常時応答)

'A' (0x41)	'C' (0x43)	'K' (0x4B)

ユニットからの応答（異常時応答)

'N' (0x4E)	'A' (0x41)	'K' (0x4B)

［入出力状態要求コマンド応答（R)］　本ユニットのデジタル入出力状態の取得を要求します。

'R' (0x52)

ユニットからの応答（正常時応答)

'R' (0x52)	入力状態 (BIN)	出力状態 (BIN)

ユニットからの応答（異常時応答)

'N' (0x4E)	'A' (0x41)	'K' (0x4B)

強制切替機能について

※強制切替機能はTCPプロトコル選択時の時のみ機能します。

本ユニットのDIOサーバーは常にクライアントと１：１のセッションを保ちます。
従って既にセッションが確立している場合は、セッションが閉じられるまで、接続要求が受け入れられません。
　強制切替機能を有り時、セッション確立後別の接続要求を受け取った場合、既存のセッションを閉じ、後者とのセッションに切り替えます。

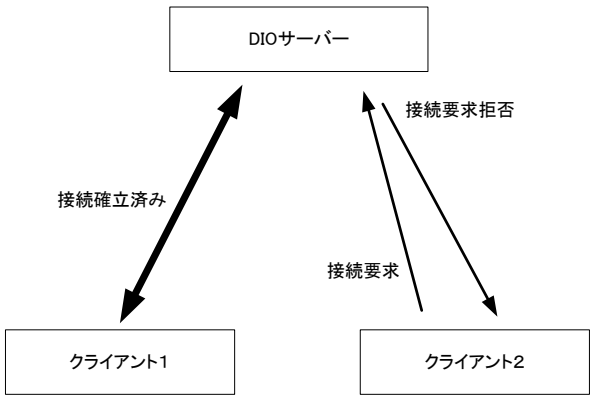


図 3.1.3.1 強制切替無し時の動作

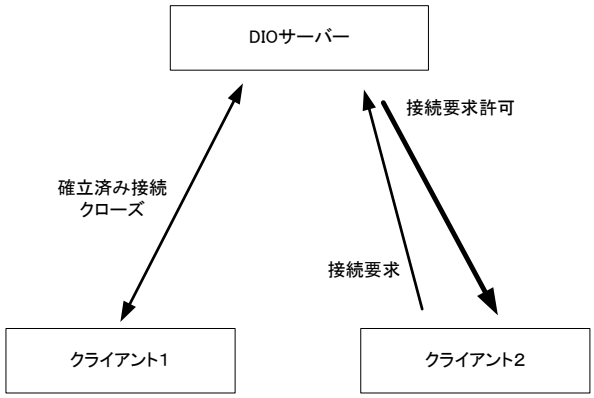
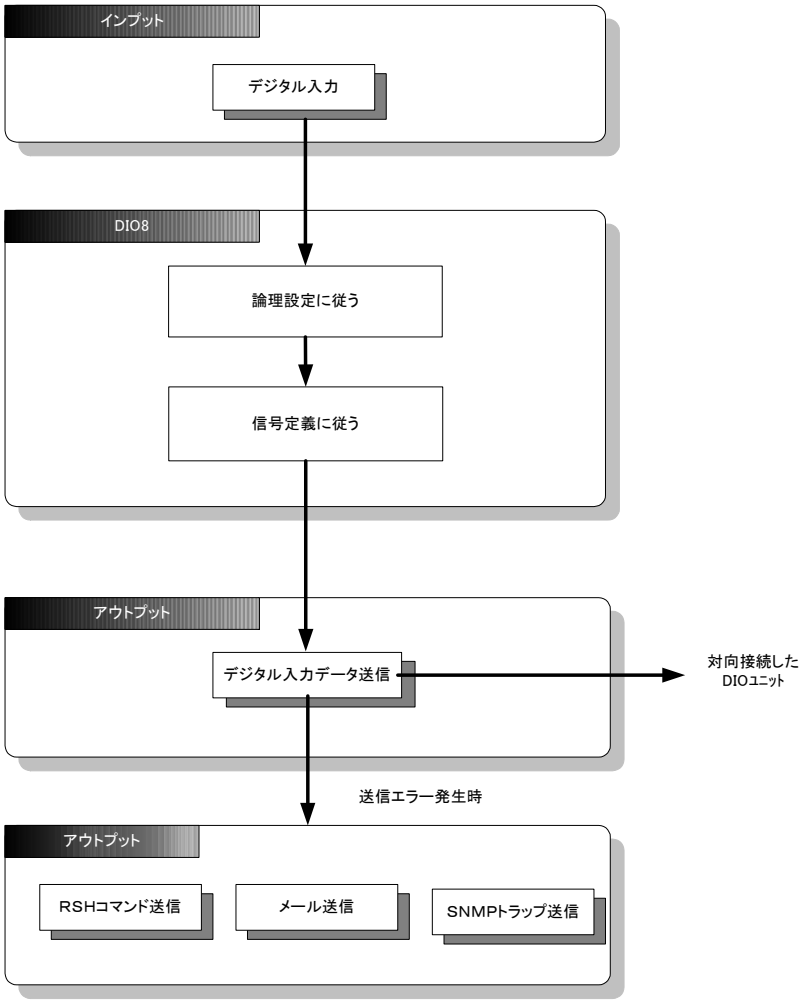


図 3.1.3.2 強制切替有り時の動作

3.1.11 対向接続機能

入力状態変化が発生した場合、対向接続した DIO ユニットにデジタル入力データを送信し対向接続した DIO ユニットのデジタル出力に出力されます。
「SNMP トラップ」、「メール」、「遠隔コマンド」にて通知することが出来ます。
デジタル入力の状態変化を通知するためのポーリング間隔は 50ms 単位で指定します。



3.1.12　ファームウェア書換機能

以下の手順でファームウェアの書換を行います。
※以下の例はユニット IP＝192.168.1.240 の場合です。
※ｘｘｘは任意の文字列です。

① ftp でログイン

```
C:¥>ftp 192.168.1.240
Connected to 192.168.1.240
220 FTP Server ready
User (192.168.1.240:(none)):xxx
331 Password required
Password:xxx
230 Logged in
ftp>
```

② ftp でファームウェアを転送

```
ftp>put "C:¥dio8.mot"
200 PORT Command successful
150 Opening data connection
226 Transfer complete
ftp: xxxxxxbytes sent in xxxSeconds xxxbytes/sec.
ftp>
```

③ ファーム転送完了後、ログアウト

```
ftp>bye
221 Goodbye
```

④ telnet でログイン

```
telnet 192.168.1.240
login:xxx
Password:xxx
#
```

⑤ flash コマンドで FROM のファームを書き換える

```
#flash dio8.mot
プログラムを書き換えますか(Yes/No) = Yes

Convert...
Convert OK
Erase&Write...
Erase&Write OK
#
```

⑥ Telnet からリブートを行う（本体リセットでも可）

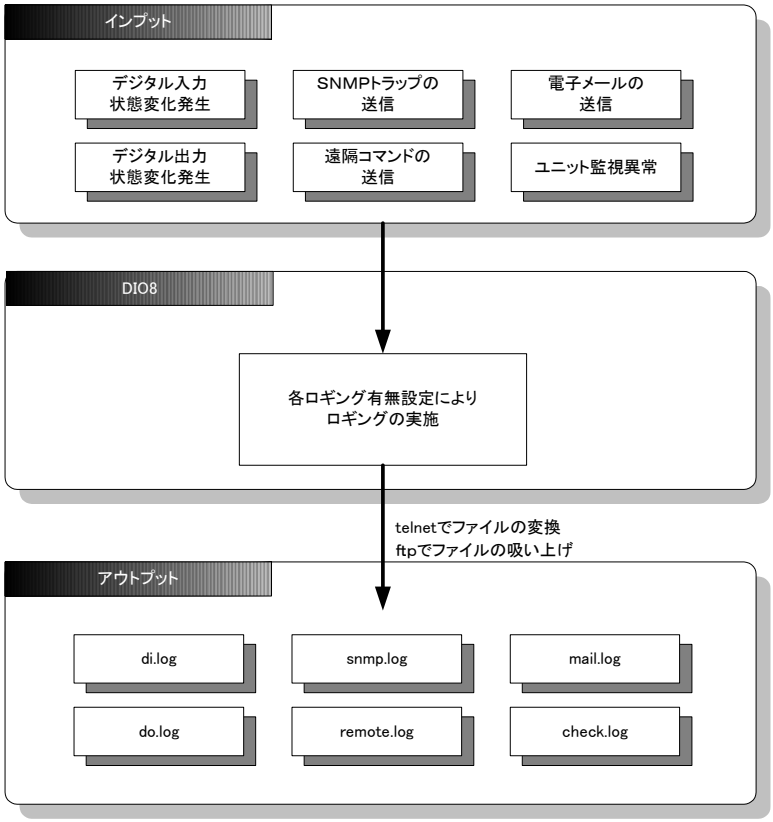
```
#Reboot
```

以上の手順でファームウェアの書換が完了します。

※ ⑤の手順で予期せぬ要因（電源断等）で書換失敗した場合、ファームウェアが消えてしまいます。（モード０での運用が不可能）
復旧方法⇒モード８にて DWOManager を使用してファーム転送を行ってください。
操作方法については DWOManager の取扱説明書を参照してください。

3.1.13 ロギング機能

各インプットに対するロギングを行います。



ロギングファイルのフォーマット

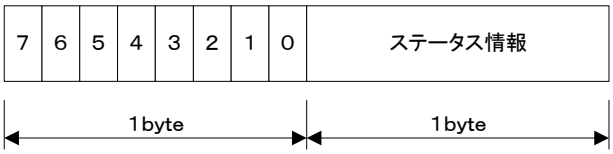
CSV 形式で格納されます。(拡張子は　.log)

[デジタル入力信号]
　　タイムスタンプ、データ種類、入力信号状態(8bit)(1:ON、0:OFF)
　　MAX10000 件までロギング可能
[デジタル出力信号]
　　タイムスタンプ、データ種類、出力信号状態(8bit)(1:ON、0:OFF)
　　MAX10000 件までロギング可能
[ＳNMP トラップ]
　　タイプスタンプ、データ種類、発生トラップ番号(1～4)
　　MAX100 件までロギング可能
[電子メール送信履歴]
　　タイプスタンプ、データ種類、メール送信先番号(1～5)、メール送信内容(1～10)
　　MAX100 件までロギング可能
[ユニット監視異常履歴]
　　タイプスタンプ、データ種類、異常機器番(1～10)
　　MAX100 件までロギング可能
[遠隔コマンド送信履歴]
　　タイプスタンプ、データ種類、送信遠隔コマンド番号(1～10)
　　MAX100 件までロギング可能

4図 ロギングデータ内容

項目	バイト数	内容	範囲	表現
タイムスタンプ	1	年（2桁）	00～99	BCD
	1	月（2桁）	01～12	BCD
	1	日（2桁）	01～31	BCD
	1	時（2桁）	00～23	BCD
	1	分（2桁）	00～59	BCD
	1	秒（2桁）	00～59	BCD
データ種類	2	※1参照	0000H～FFFFH	BIN
データ	1	入出力信号状態	00H～FFH	BIN

図 データ種類詳細



ステータス情報分類（先頭ﾊﾞｲﾄ）

bit0：デジタル入力信号　　bit4：ユニット監視異常履歴
bit1：デジタル出力信号　　bit5：遠隔コマンド送信履歴
bit2：ＳＮＭＰトラップ　　bit6：予約
bit3：電子メール送信履歴　　bit7：予約

ステータス情報（2byte 目）

・デジタル入力信号　　無し（00H）
・デジタル出力信号　　無し（00H）
・ＳＮＭＰトラップ　　1(HEX)：デジタル入力信号によるトラップ発生
　　2(HEX)：認証失敗時のトラップ発生
・電子メール送信履歴　　無し（00H）
・ユニット監視異常履歴　　無し（00H）
・遠隔コマンド送信履歴　　無し（00H）

ロギングデータ取得コマンド

ftp> get コマンド　ファイル取得コマンド

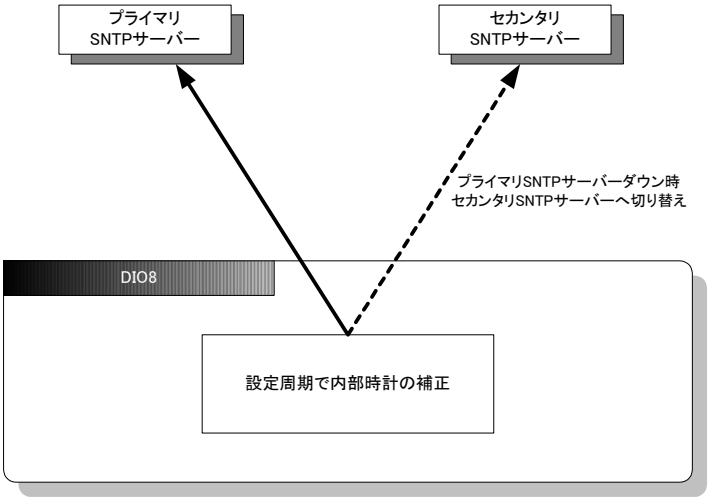
例）ftp> get di.log　（デジタル入力信号ログファイルの取得）
　　ftp> get do.log　（デジタル出力信号ログファイルの取得）

※データは　入力８、入力７・・・入力１の順に保存されています。（出力も同様です。）
　例）入力１のみ ON の時　０１H

データはカレントディレクトリ、又は指定した場所に保存されます。

3.1.14 時刻自動補正機能

プライマリに設定されている SNTP サーバーへ優先的に接続します。
プライマリ SNTP サーバーダウンの際は、セカンダリの SNTP サーバーへ接続を切り替えます。



3.2 初期化モード

3.2.1 機能

本ユニットの各設定パラメータを工場出荷時の設定に戻します。

※工場出荷時設定は表 5-1 を参照ください。

3.2.2 運用

1．ロータリースイッチを 7 に合わせ、ユニットを起動（再起動）します。
2．ステータス LED が 10 秒間点滅します。
3．出荷時設定への書換えが完了するとステータス LED が点灯に変わります。

3.3 ファームウェア書換モード

本ユニットの運転モードで動作するファームウェアの書換えを行います。
DWOManager にてファームウェアの書換えを行います。
DWO マネージャの取扱説明書を参照してください。

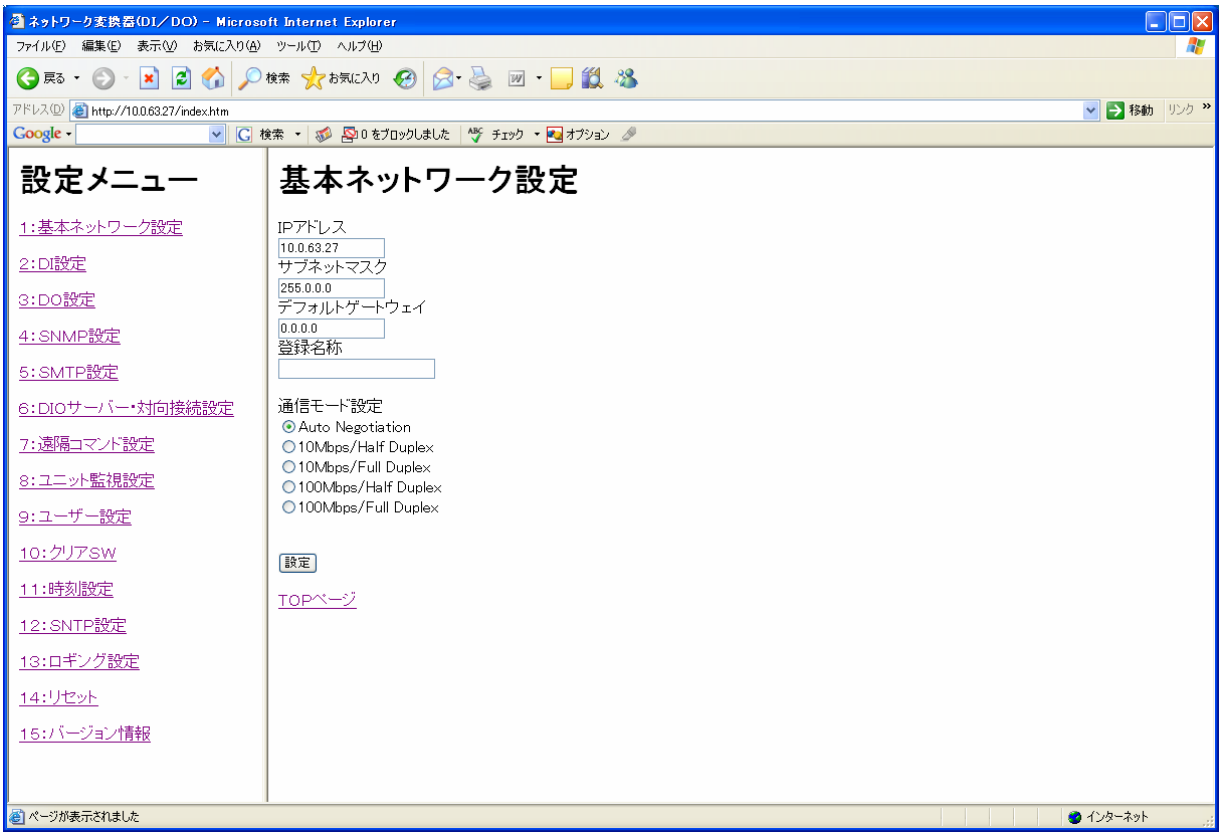
4 運転パラメータの設定

4.1 ブラウザからの設定

お使いのブラウザで、本装置の IP アドレスを直接指定して下さい。
http://ユニット IP アドレス/index.htm

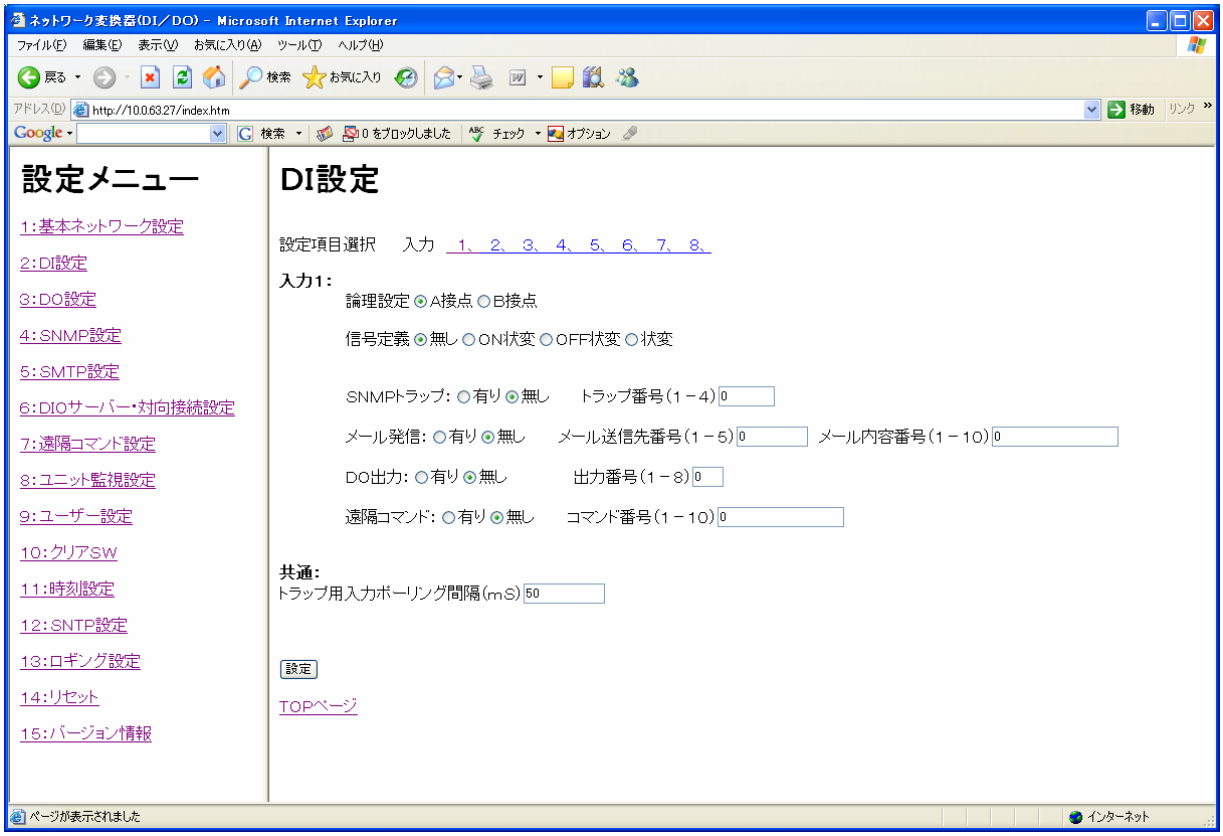
工場出荷時のログイン名及びパスワードは設定一覧表を参照してください。

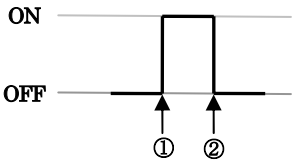
4.1.1 トップ画面



画面の説明	
基本ネットワーク設定	ネットワーク関連基本設定を行います。
DI 設定	デジタル入力関連の設定を行います。
DO 設定	デジタル出力関連の設定を行います。
SNMP 設定	SNMP 関連の設定を行います。
SMTP 設定	SMTP 関連の設定を行います。
DIO サーバー設定	DIO サーバー関連の設定を行います。
遠隔コマンド設定	遠隔コマンド関連の設定を行います。
ユニット監視設定	ユニット監視関連の設定を行います。
ユーザー設定	ユーザー設定関連の設定を行います。
クリア SW 設定	クリア SW 関連の設定を行います。
時刻設定	時刻関連の設定を行います。
SNTP 設定	SNTP 関連の設定を行います。
ロギング設定	ロギング関連の設定を行います。
リセット	ユニットのリセットを行います。

4.1.2 ＤＩ設定画面

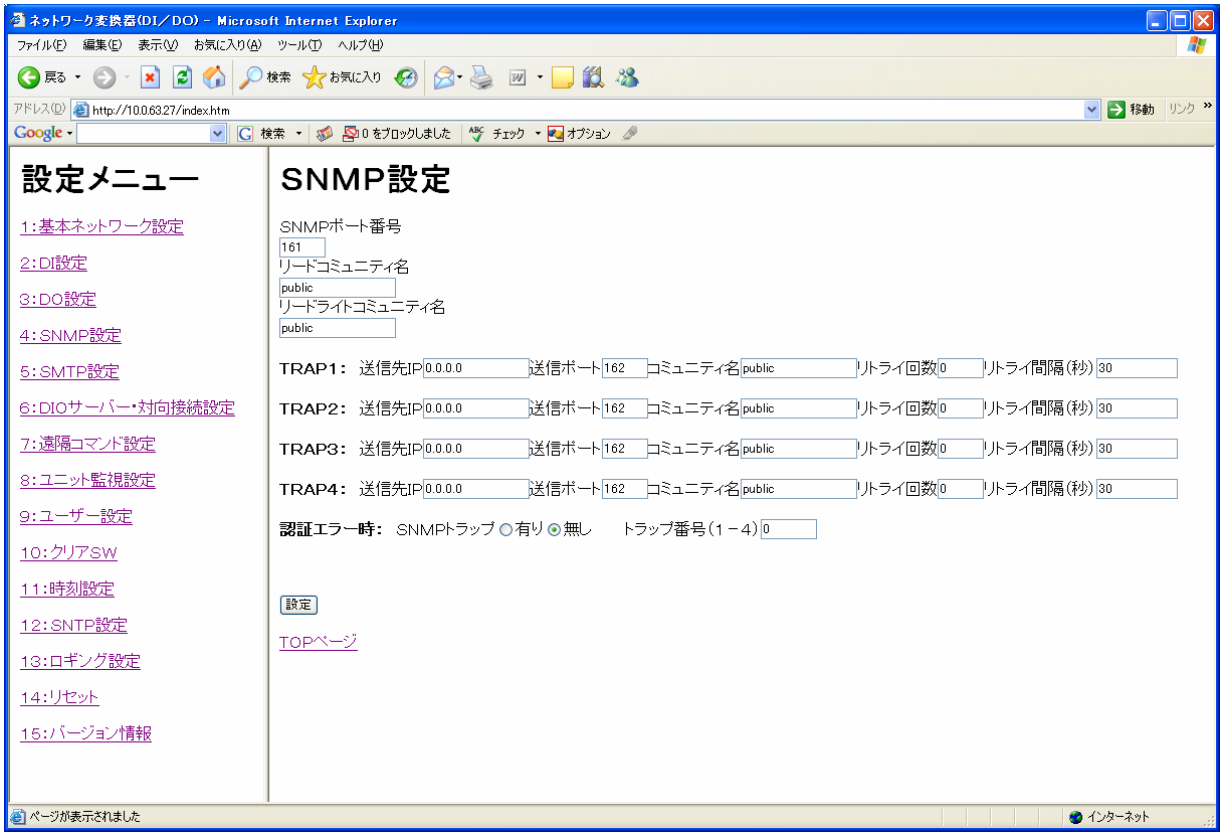


画面の説明	
設定項目選択	設定するデジタル入力番号を選択します。
論理設定	入力の論理を設定します。 A 接点：接点を閉じると ON 信号と認識　B 接点：接点を閉じると OFF 信号と認識
信号定義	入力トリガの条件を設定します。ここで設定するトリガ条件のもとで、各種イベント（トラップ送信、メール送信、DO 出力、遠隔コマンド送信）が発生します。 無し：入力信号を受け付けません。 ON 状変：入力 ON 時（①）に信号を取り込みます。 OFF 状変：入力が OFF 時（②）に信号を取り込みます。 状変：入力が ON/OFF 時（①及び②）に信号を取り込みます。 
SNMP トラップ	入力トリガ成立時、SNMP トラップ送信を ’有り／無し’ に設定します。
トラップ番号	5：SNMP 設定で登録されたトラップ番号（1～4）を入力します。
メール発信	入力トリガ成立時、メール発信を ’有り／無し’ に設定します。
メール送信先番号	5：SMTP 設定で登録された送信先番号（1～5）を入力します。
メール内容番号	5：SMTP 設定で登録された送信内容番号（1～10）を入力します。
DO 出力	入力トリガ成立時、デジタル出力を ’有り／無し’ に設定します。
出力番号	出力するデジタル出力番号（1～8）を入力します。
遠隔コマンド	入力トリガ成立時、遠隔コマンド送信を ’有り／無し’ に設定します。
コマンド番号	7：遠隔コマンド設定で登録されたコマンド番号（1～10）を入力します。
トラップ用入力 ポーリング間隔	トラップの入力状態監視間隔（50～2147483600msec）を設定します。 （50mS の倍数での設定）
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.3 DO設定画面

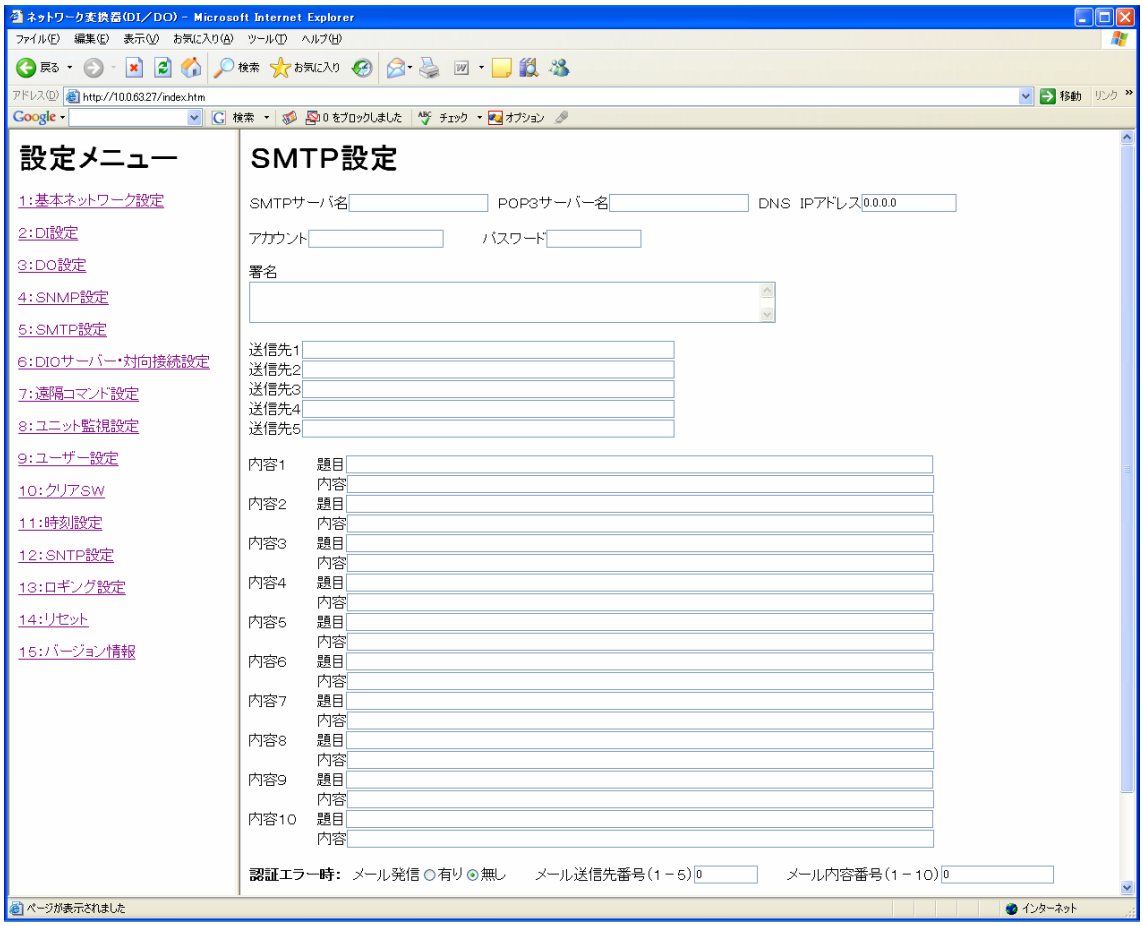
画面の説明	
論理設定	出力の論理を設定します。 A 接点：ON 信号で接点を閉じる　B 接点：ON 信号で接点を開く
認証エラー時：DO 出力	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、デジタル出力を ’有り／無し’ に設定します。
出力番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、デジタル出力する番号（1～8）を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.4 ＳＮＭＰ設定画面



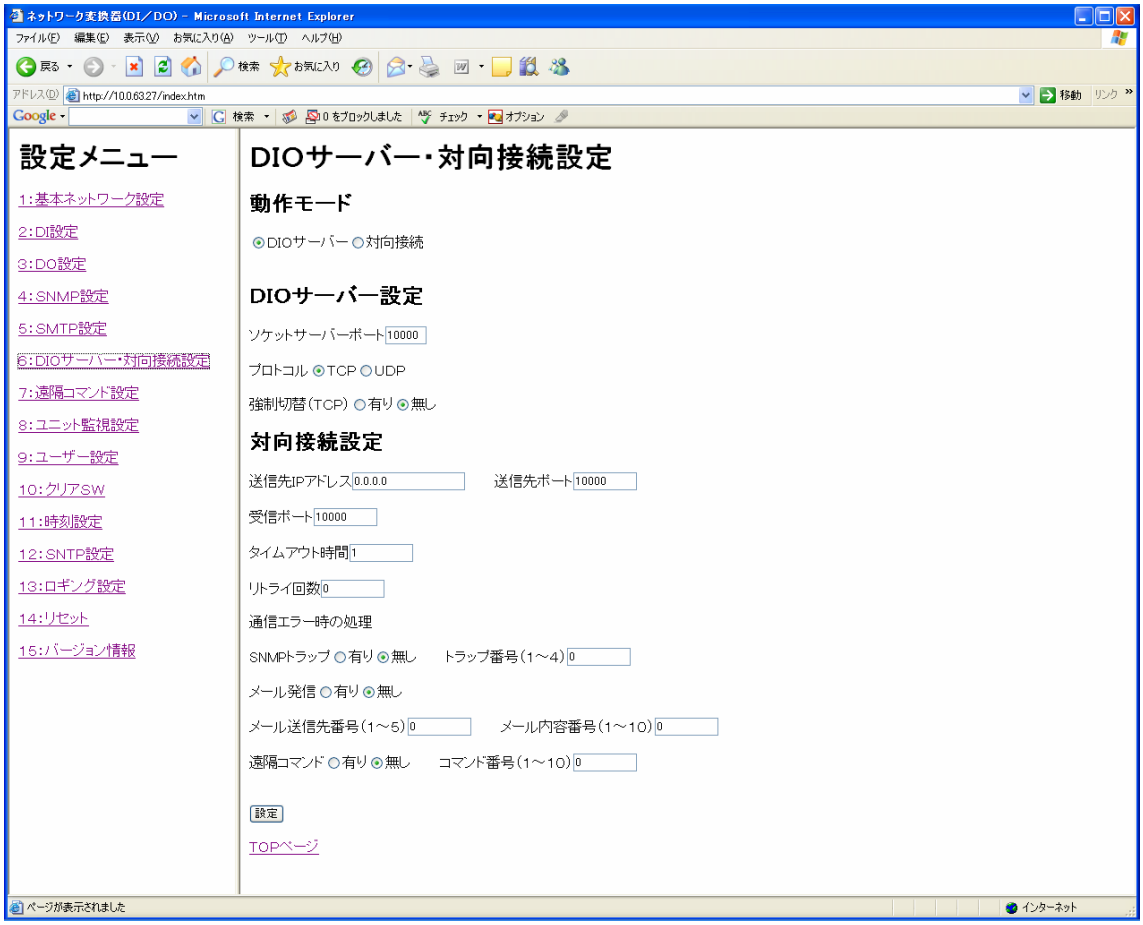
画面の説明	
SNMP ポート番号	SNMP エージェント機能で使用するポートを設定します。(初期値：161)
リードコミュニティ名	リードコミュニティ名を設定します。(初期値：public)
リードライト コミュニティ名	リードライトコミュニティ名を設定します。(初期値：public)
トラップ送信先 IP	トラップ送信先の IP アドレスを入力します。
トラップ送信ポート	トラップ送信先のポート番号を入力します。
トラップコミュニティ名	コミュニティ名を入力します。
トラップリトライ回数	リトライ回数を入力します。(数～数回？)
トラップリトライ間隔	リトライ間隔を入力します。(数～数 sec？)
認証エラー時： SNMP トラップ	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、トラップ送信を ’有り／無し’ に設定します。
トラップ番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、トラップ送信する番号（1～4）を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.5 SMTP設定画面



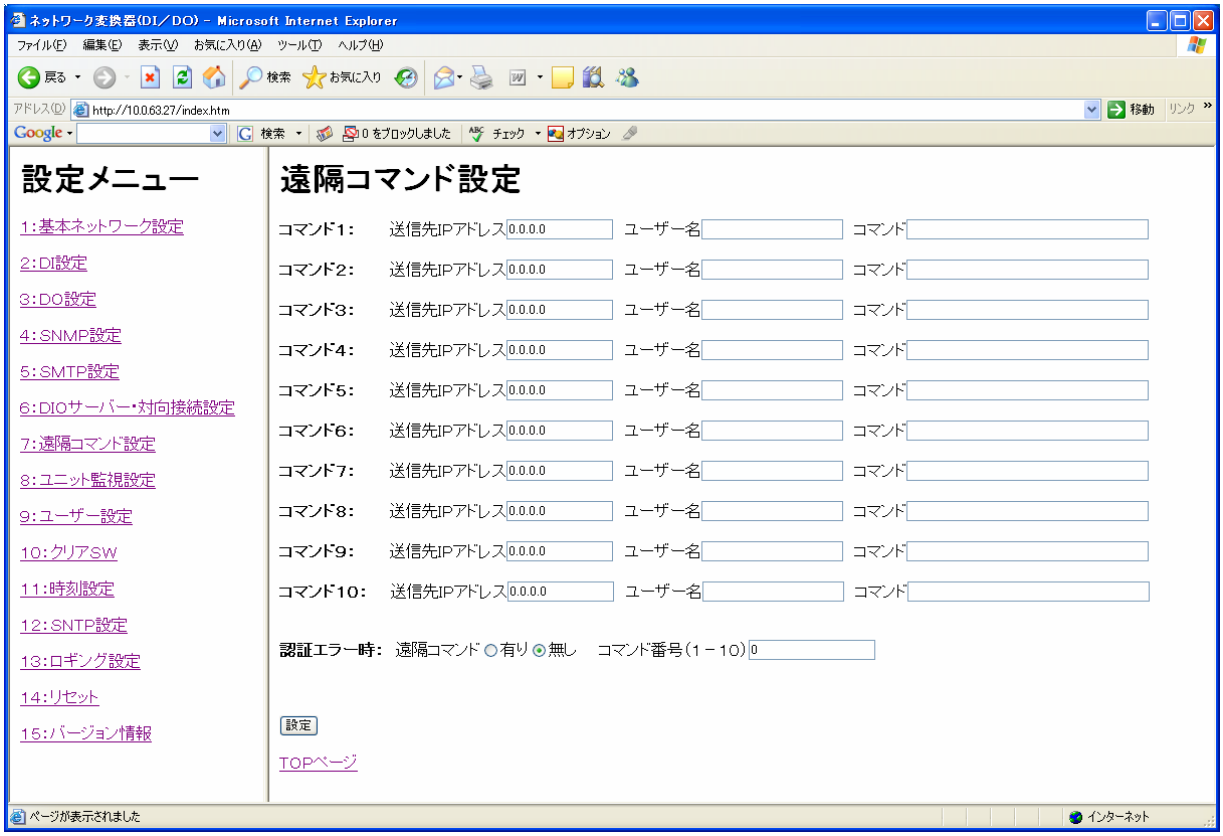
画面の説明	
SMTP サーバー名	メールサーバーのサーバー名を設定します。
POP3 サーバー名	POP3 サーバー名を設定します。
DNS IP アドレス	DNS IP アドレスを指定します。
アカウント	メールサーバーのアカウントを設定します。
パスワード	メールサーバーのパスワードを設定します。
署名	署名を入力します。(255 文字まで)
送信先	メールの送信先を入力します。(255 文字まで)
題目	メールの題目を入力します。(63 文字まで)
内容	メールの内容を入力します。(255 文字まで)
認証エラー時:メール発信	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、メール送信を ’有り／無し’ に設定します。
メール送信先番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、メール送信先の番号（1～5）を入力します。
メール内容番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、メール内容の番号（1～10）を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.6 ＤＩＯサーバー・対向接続設定画面



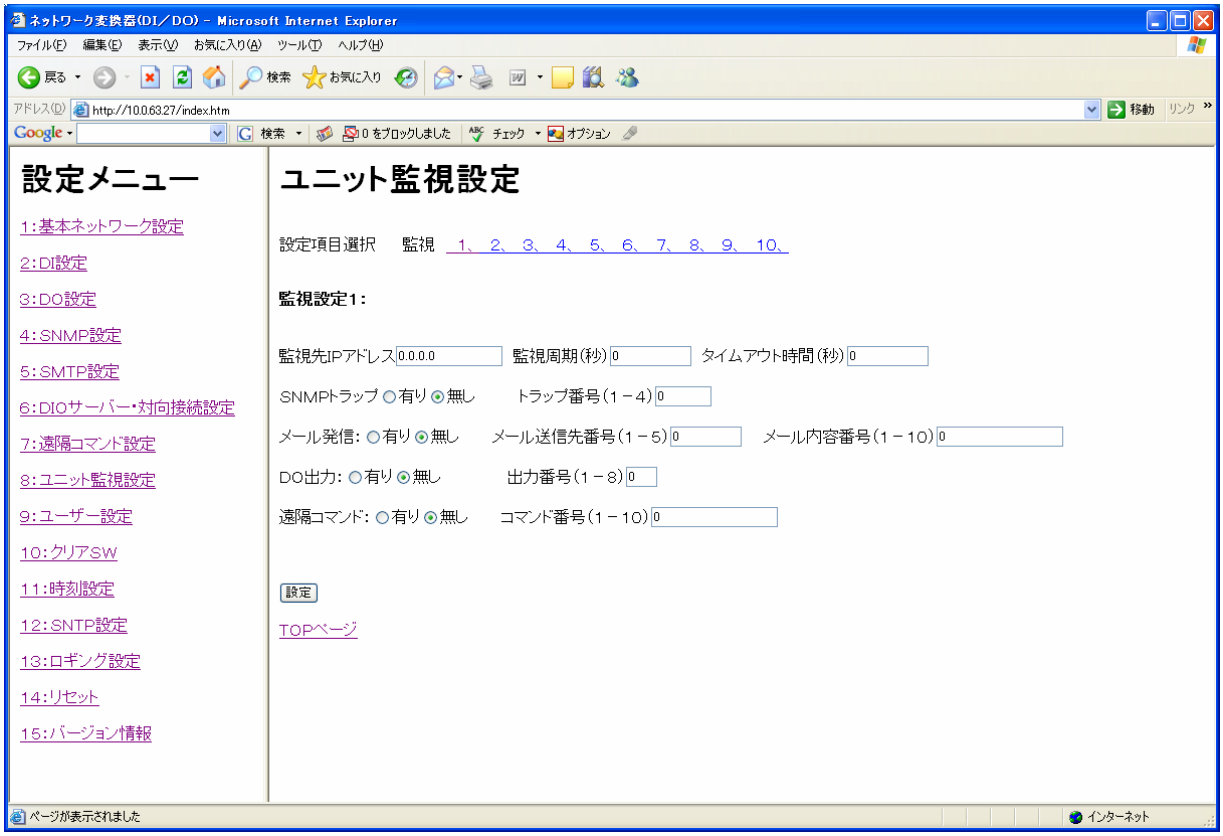
画面の説明	
動作モード	DIO サーバー機能で使用するか対向接続機能で使用するかを選択します。
ソケットサーバーポート	DIO サーバー機能で使用するポート番号を入力します。
プロトコル	TCP／UDP のどちらで使用するかを設定します。
強制切替	強制切り替え機能を’有り／無し’に設定します。
送信先 IP アドレス	データ送信先 IP アドレスを設定します。
送信先ポート	データ送信先ポート番号を設定します。
受信ポート	データ受信ポートを設定します。
タイムアウト時間	タイムアウト時間（1～60000 秒）を設定します。
リトライ回数	リトライ回数(0～65535 回)を設定します。
SNMP トラップ	通信エラー時、SNMP トラップ送信を’有り／無し’に設定します。
トラップ番号	SNMP 設定で登録されたトラップ番号（1～4）を入力します。
メール発信	通信エラー時、メール発信を’有り／無し’に設定します。
メール送信先番号	メール設定で登録された送信先番号（1～5）を入力します。
メール内容番号	メール設定で登録された送信内容番号（1～10）を入力します。
遠隔コマンド	通信エラー時、遠隔コマンド送信を’有り／無し’に設定します。
コマンド番号	遠隔コマンド設定内で登録される番号（1～10）を設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.7 遠隔コマンド設定画面



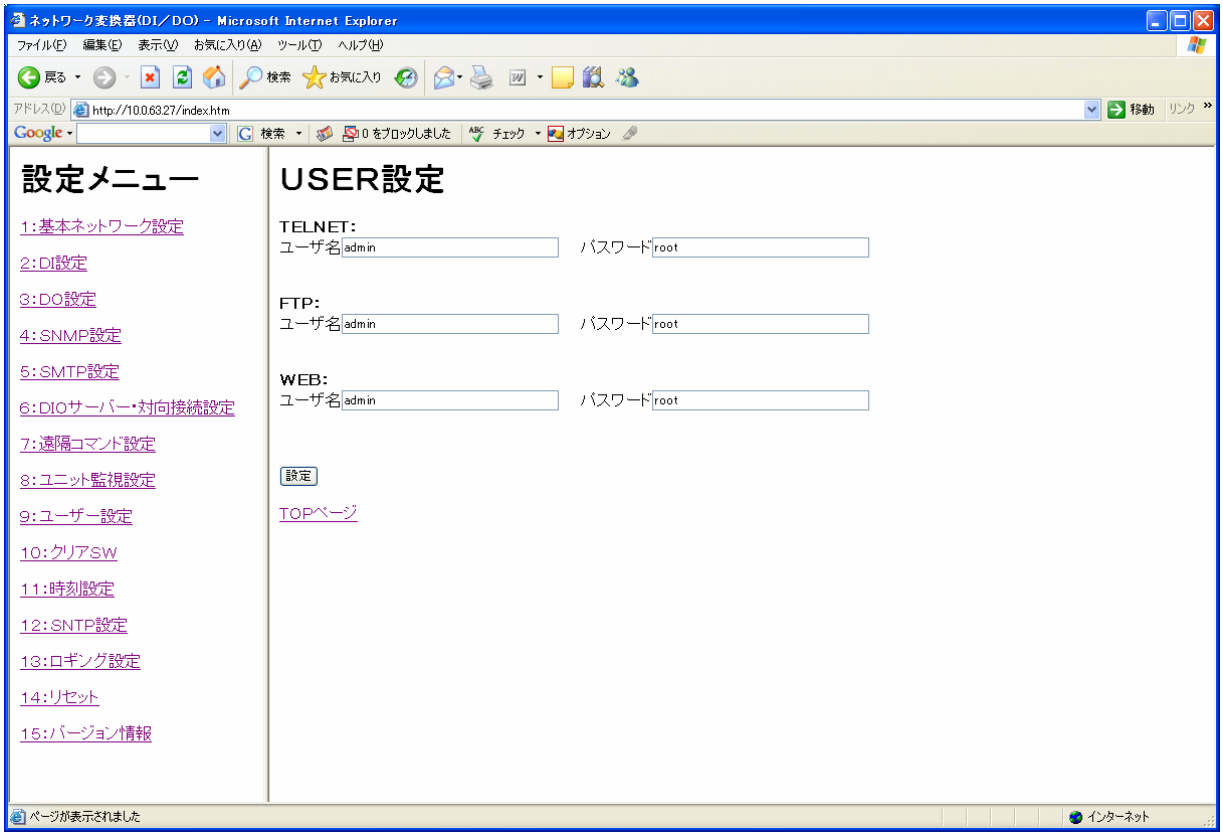
画面の説明	
監視先 IP アドレス	遠隔操作対象の IP アドレス（クライアント側）を入力します。
ユーザー名	遠隔コマンドでのユーザー名を入力します。(31 文字まで)
コマンド	送信するコマンドを入力します。(255 文字まで)
認証エラー時	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、遠隔コマンドの番号（1～10）を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.8 ユニット監視設定画面



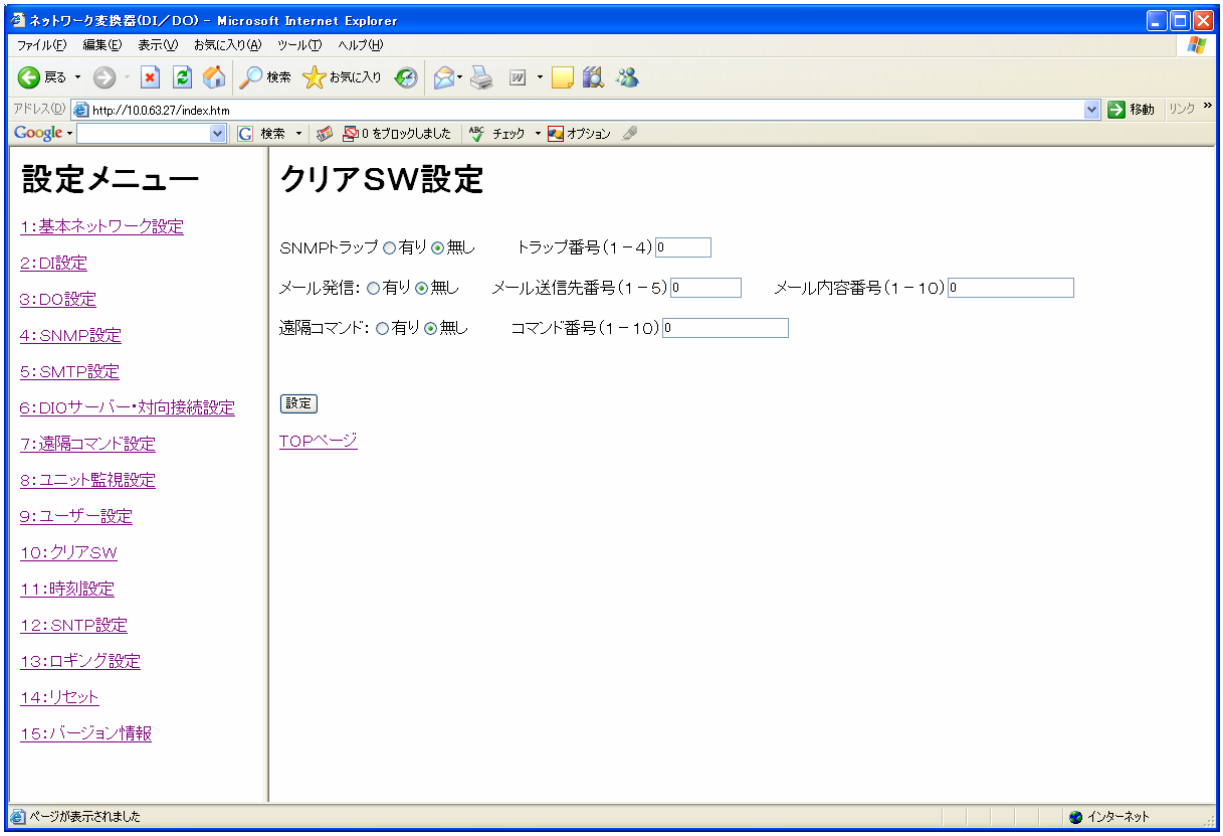
画面の説明	
設定項目選択	1～10 のどの監視対象機器の設定を行うかを選択します。
監視先 IP アドレス	監視対象機器の IP アドレスを入力します。
監視周期	監視周期（0～2147483646 秒）を入力します。
タイムアウト時間	タイムアウト時間（0～2147483646 秒）を入力します。
SNMP トラップ	監視異常発生時、SNMP トラップ送信を ’有り／無し’ に設定します。
トラップ番号	5：SNMP 設定で登録されたトラップ番号（1～4）を入力します。
メール発信	監視異常発生時、メール発信を ’有り／無し’ に設定します。
メール送信先番号	5：SMTP 設定で登録された送信先番号（1～5）を入力します。
メール内容番号	5：SMTP 設定で登録された送信内容番号（1～10）を入力します。
DO 出力	監視異常発生時、デジタル出力を ’有り／無し’ に設定します。
出力番号	デジタル出力する番号（1～8）を入力します。
遠隔コマンド	監視異常発生時、遠隔コマンド送信を ’有り／無し’ に設定します。
コマンド番号	遠隔コマンド設定内で登録される番号（1～10）を設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.9 ＵＳＥＲ設定画面



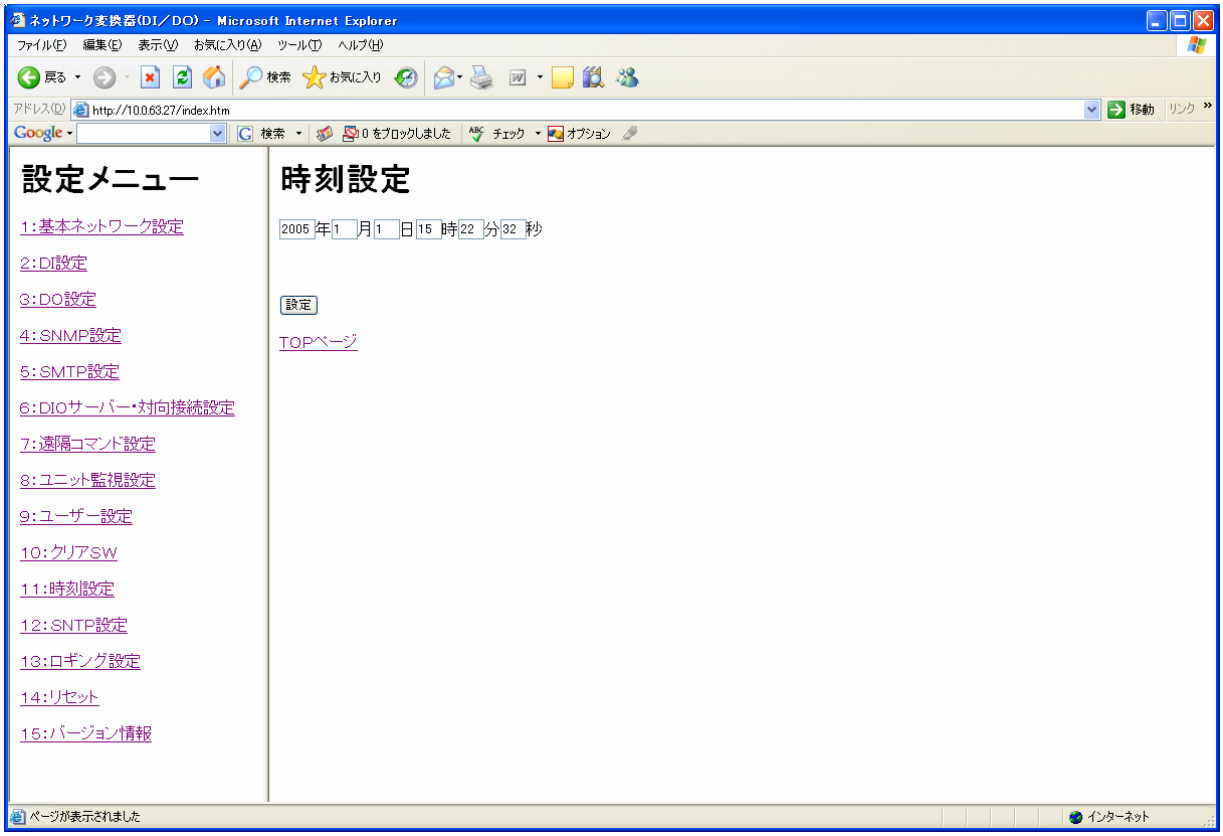
画面の説明	
TELNET ユーザー名	TELNET 認証で使用するユーザー名を入力します。(63 文字まで、ブランク可)
TELNET パスワード	TELNET 認証で使用するパスワードを入力します。(63 文字まで、ブランク可)
FTP ユーザー名	FTP 認証で使用するユーザー名を入力します。(63 文字まで、ブランク可)
FTP パスワード	FTP 認証で使用するパスワードを入力します。(63 文字まで、ブランク可)
WEB ユーザー名	ブラウザ認証で使用するユーザー名を入力します。(63 文字まで、ブランク可)
WEB パスワード	ブラウザ認証で使用するパスワードを入力します。(63 文字まで、ブランク可)
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.10 クリアSW設定画面



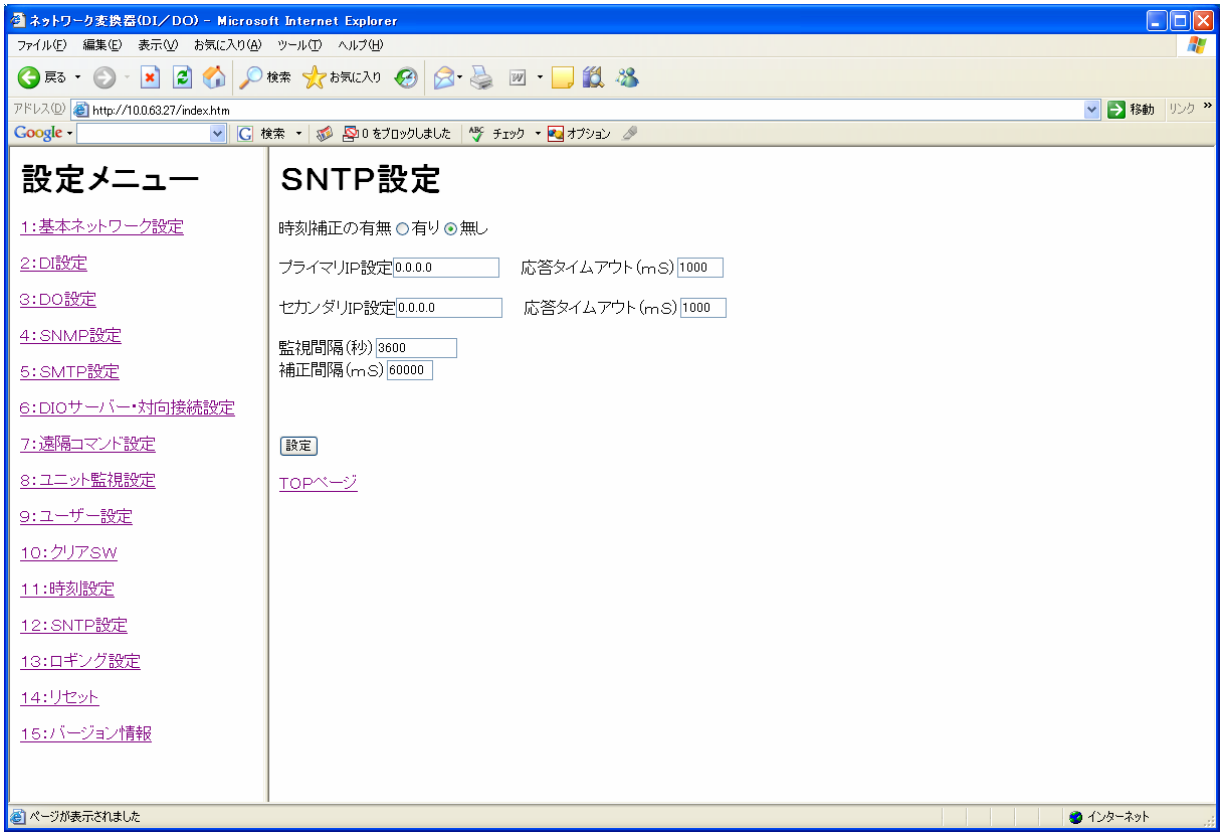
画面の説明	
SNMP トラップ	クリアスイッチ押下時、SNMP トラップ送信を ’有り／無し’ に設定します。
トラップ番号	5：SNMP 設定で登録されたトラップ番号（1～4）を入力します。
メール発信	監視異常発生時、メール発信を ’有り／無し’ に設定します。
メール送信先番号	5：SMTP 設定で登録された送信先番号（1～5）を入力します。
メール内容番号	5：SMTP 設定で登録された送信内容番号（1～10）を入力します。
遠隔コマンド	クリアスイッチ押下時、遠隔コマンド送信を ’有り／無し’ に設定します。
コマンド番号	遠隔コマンド設定内で登録される番号（1～10）を設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.11 時刻設定画面



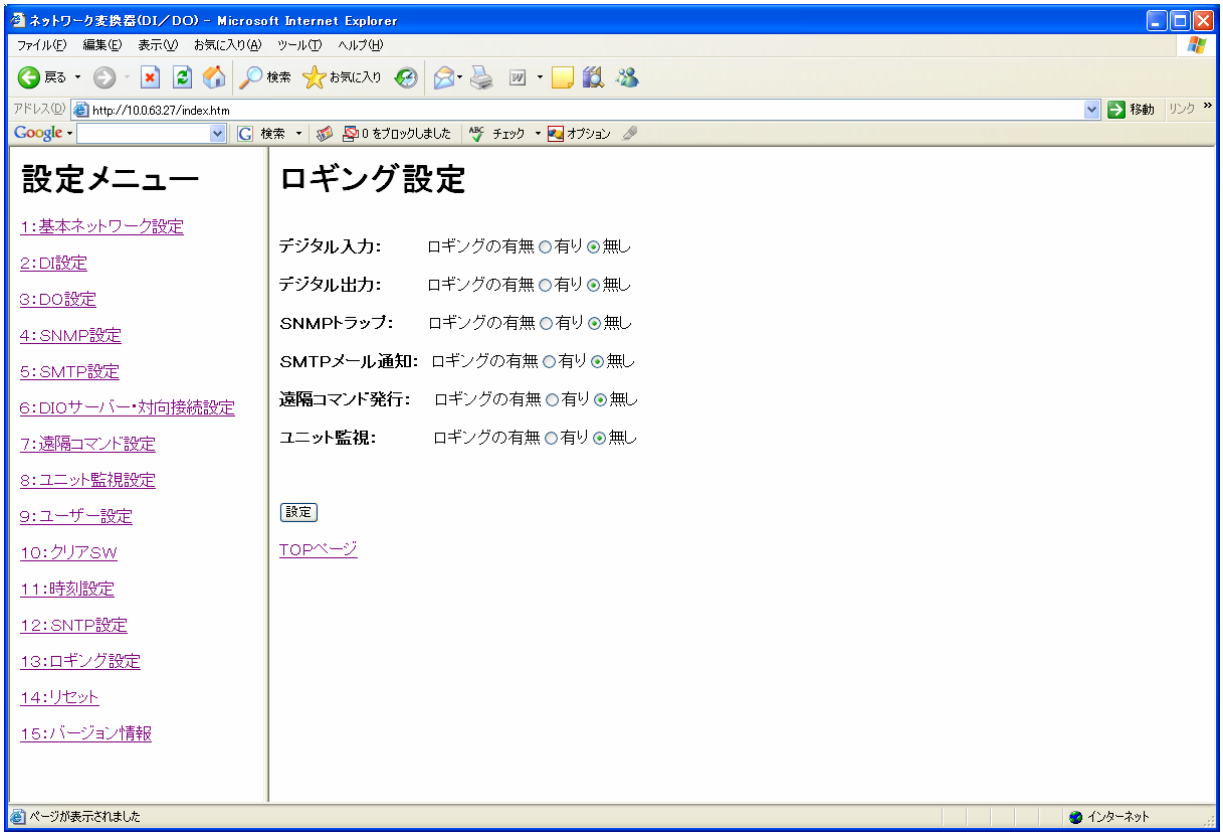
画面の説明	
年月日時分秒	現在時刻を「年月日時分秒」で設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.12　ＳＮＴＰ設定画面



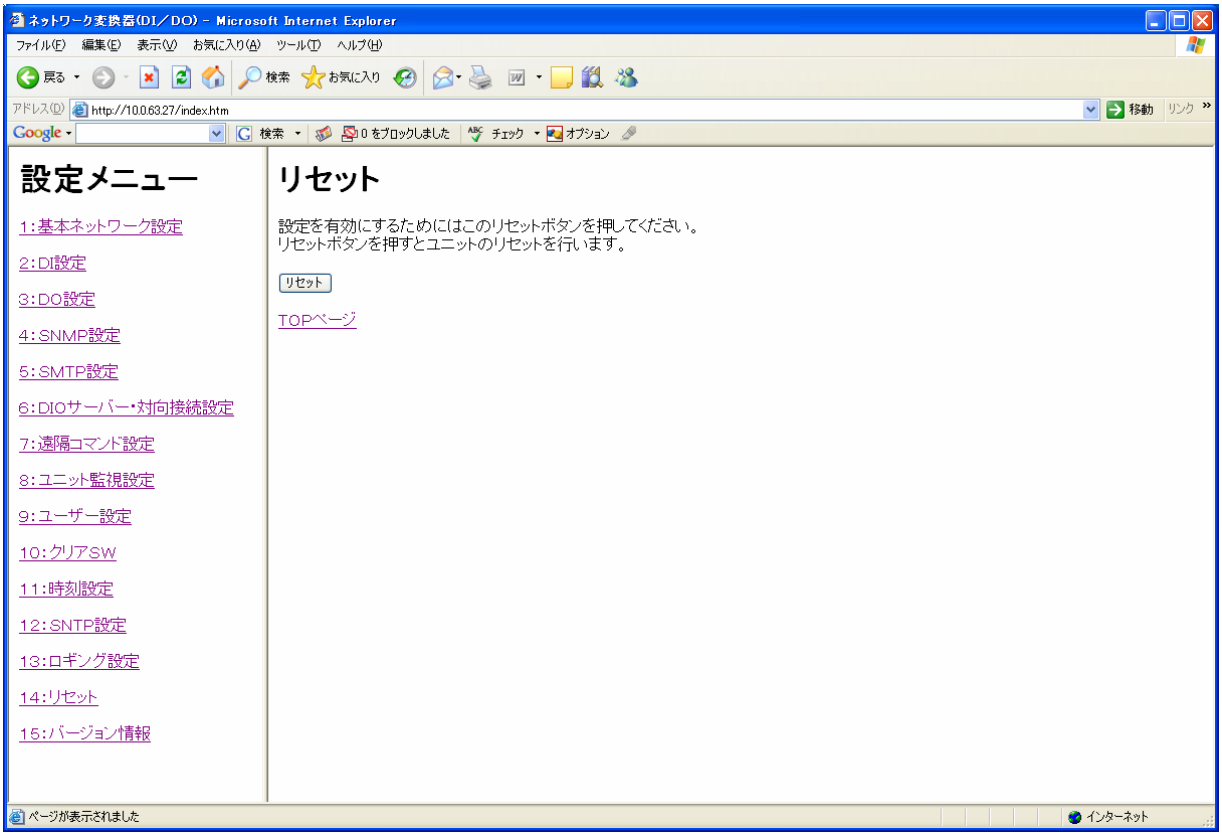
画面の説明	
時刻補正の有無	自動時刻補正をする／しないの設定をします。
プライマリ IP 設定	SNTP サーバー（プライマリ）の IP 設定を行います。
応答タイムアウト	タイムアウト時間をｍｓ単位で設定します。
セカンダリ IP 設定	SNTP サーバー（セカンダリ）の IP 設定を行います。
応答タイムアウト	タイムアウト時間をｍｓ単位で設定します。
監視間隔	監視間隔を秒単位で設定します。
補正間隔	補正間隔をｍｓ単位で設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.13 ロギング設定画面



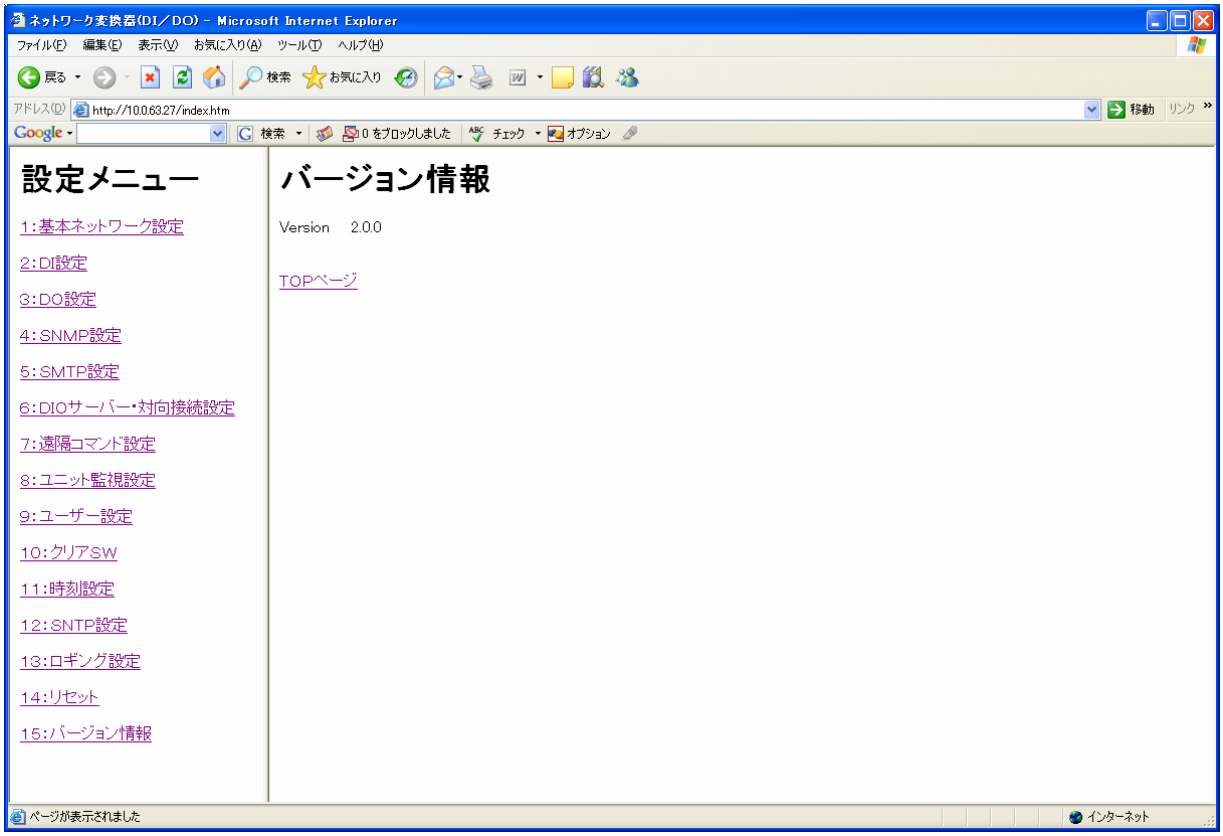
画面の説明	
デジタル入力ログ	デジタル入力のロギングをする／しないを設定します。
デジタル出力ログ	デジタル出力のロギングをする／しないを設定します。
SNMP トラップログ	SNMP トラップのロギングをする／しないを設定します。
SMTP メールログ	SMTP メールのロギングをする／しないを設定します。
遠隔コマンドログ	遠隔コマンド送信のロギングをする／しないを設定します。
ユニット監視ログ	ユニット監視のロギングをする／しないを設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.14 リセット



画面の説明	
リセットボタン	ユニットのリセットを行います。

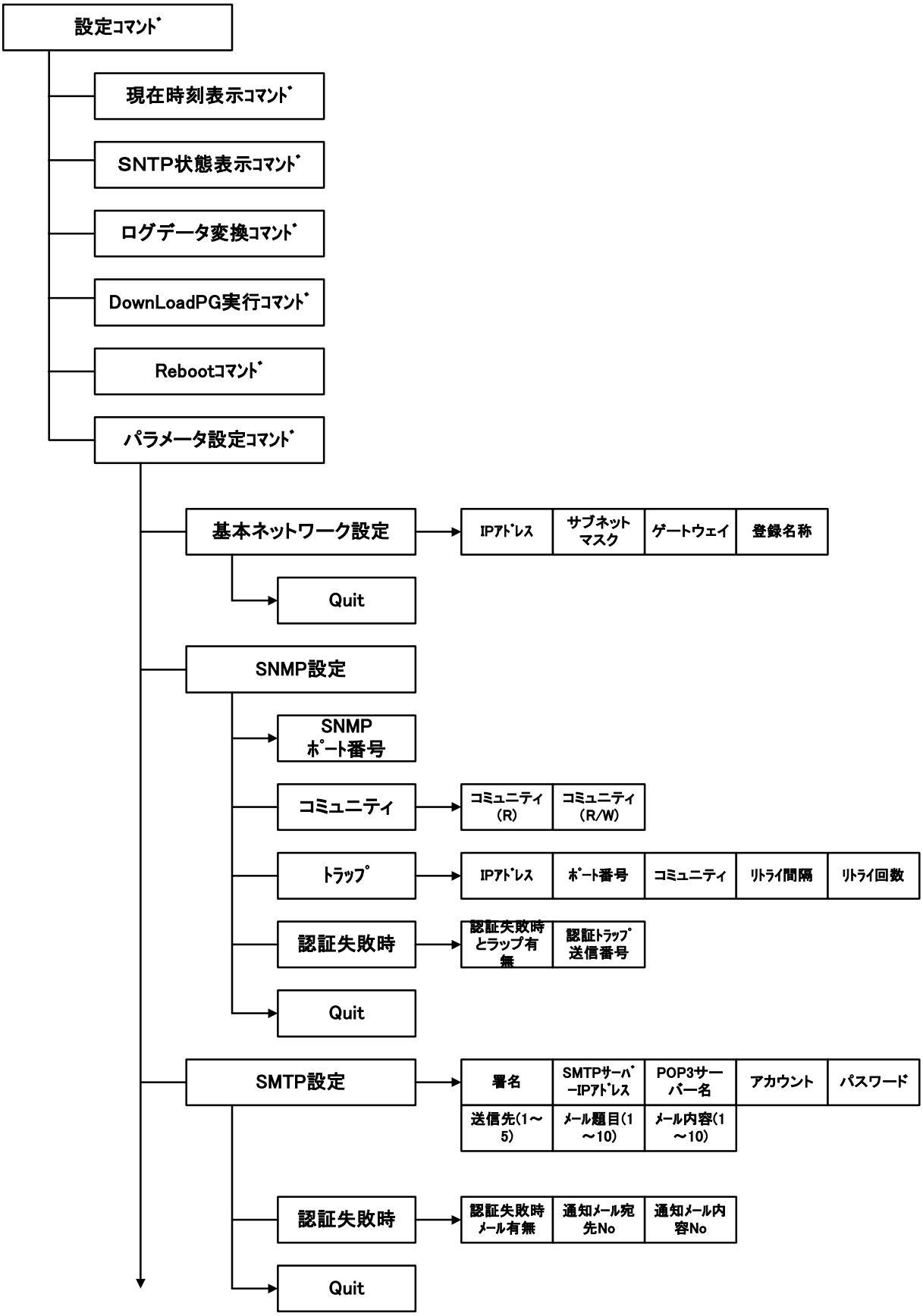
4.1.15 バージョン情報

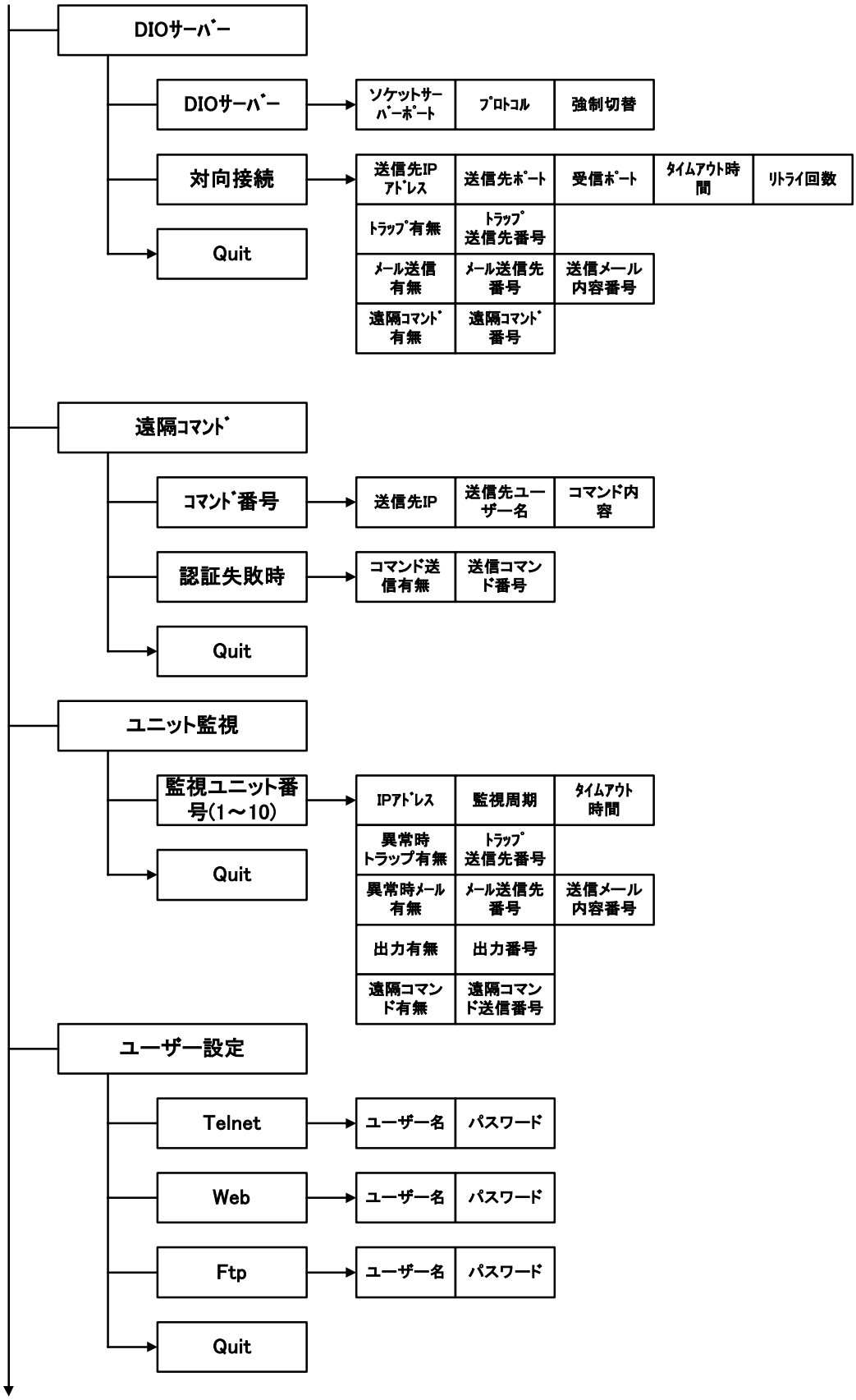


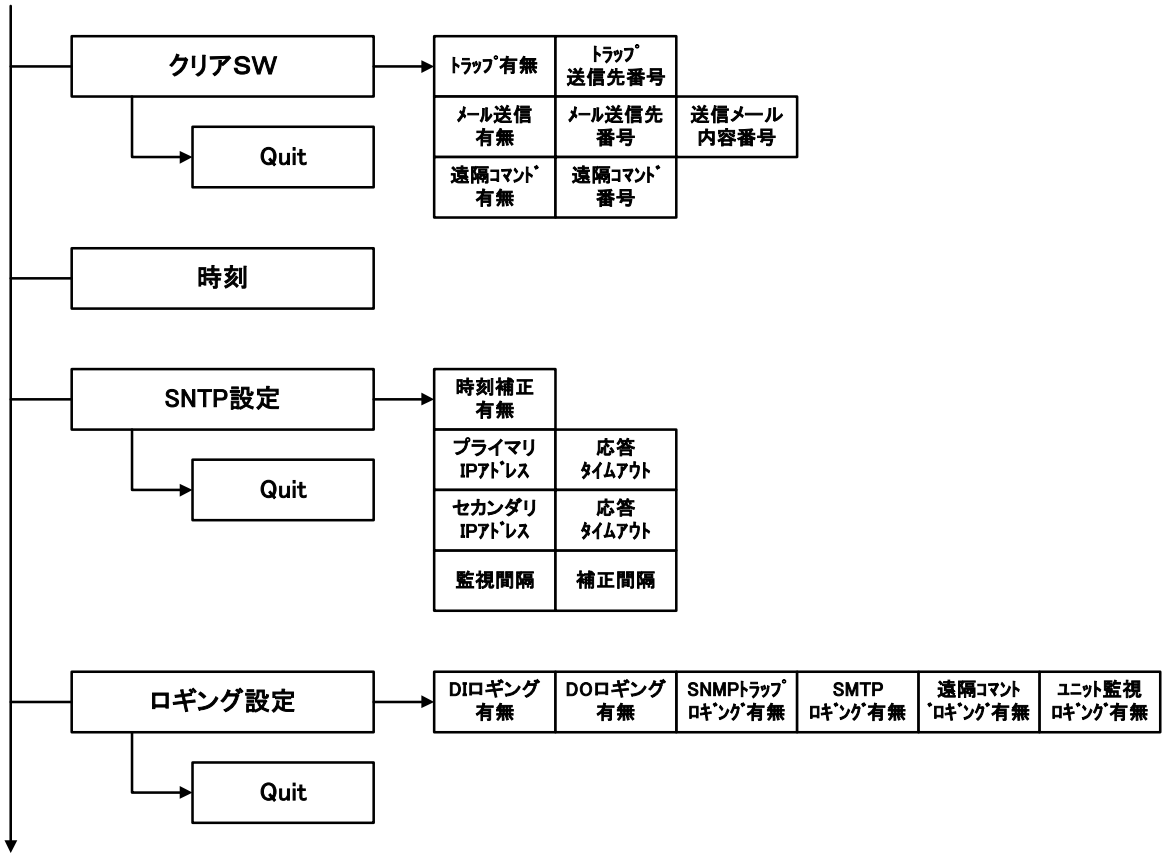
本ユニットのバージョン情報を表示します。

4.2 TELNET からの設定

4.2.1 コマンドツリー




DIOサーバー
DIOサーバー
ソケットサーバーポート
プロトコル
強制切替
対向接続
送信先IPアドレス
送信先ポート
受信ポート
タイムアウト時間
リトライ回数
トラップ有無
トラップ送信先番号
メール送信有無
メール送信先番号
送信メール内容番号
遠隔コマンド有無
遠隔コマンド番号
Quit
遠隔コマンド
コマンド番号
送信先IP
送信先ユーザー名
コマンド内容
認証失敗時
コマンド送信有無
送信コマンド番号
Quit
ユニット監視
監視ユニット番号(1～10)
IPアドレス
監視周期
タイムアウト時間
異常時トラップ有無
トラップ送信先番号
異常時メール有無
メール送信先番号
送信メール内容番号
出力有無
出力番号
遠隔コマンド有無
遠隔コマンド送信番号
Quit
ユーザー設定
Telnet
ユーザー名
パスワード
Web
ユーザー名
パスワード
Ftp
ユーザー名
パスワード
Quit


クリアSW
Quit
ﾄﾗｯﾌﾟ有無
ﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号
ﾒｰﾙ送信有無
ﾒｰﾙ送信先番号
送信ﾒｰﾙ内容番号
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ有無
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号
時刻
SNTP設定
Quit
時刻補正有無
プライマリIPｱﾄﾞﾚｽ
応答ﾀｲﾑｱｳﾄ
セカンダリIPｱﾄﾞﾚｽ
応答ﾀｲﾑｱｳﾄ
監視間隔
補正間隔
ロギング設定
Quit
DIロギング有無
DOロギング有無
SNMPﾄﾗｯﾌﾟﾛｷﾞﾝｸﾞ有無
SMTPﾛｷﾞﾝｸﾞ有無
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞﾛｷﾞﾝｸﾞ有無
ﾕﾆｯﾄ監視ﾛｷﾞﾝｸﾞ有無

4.2.2 コマンド詳細

#date コマンド　現在の年月日時刻を表示します。
例）#date
2005/01/01 12:34:56

#sntp コマンド　SNTP サーバーへの前回接続状態を表示します。
例）#sntp
最終更新時間=2005/01/01 12:34:56.00(192.168.1.101)

#conv コマンド　ロギングデータ⇒CSV ファイル変換コマンド
#conv di　(デジタル入力信号ログファイルの変換)
#conv do　(デジタル出力信号ログファイル信号の変換)
#conv snmp　(snmp トラップログファイル信号の変換)
#conv mail　(電子メール送信履歴ログファイル信号の変換)
#conv unit　(ユニット監視異常履歴ログファイル信号の変換)
#conv remote　(遠隔コマンド送信履歴ログファイル信号の変換)

#flash コマンド　FTP で転送したファームウェアをフラッシュに書き込みます。
例）#flash　dio8.mot
プログラムを書き換えますか(Yes/No)=Yes
Convert. . .
Convert OK
Erase&Write. . .
Erase&Write OK

#help コマンド　設定項目メニュー画面を表示します。
4.2.3[基本ネットワーク設定メニュー]～4.2.15[ロギング設定メニュー]を参照ください。

#reboot コマンド　ユニット本体のリセットを行います。
例）#reboot
ReBoot します(Yes/No) =

4.2.3 基本ネットワーク設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT
```

>1 (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[基本ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択)

```
【基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニュー】
1:IP ｱﾄﾞﾚｽ 2:ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 3:ｹﾞｰﾄｳｪｲ 4:登録名称 5:通信モード 0:QUIT
```

>1 (基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニューより[IP ｱﾄﾞﾚｽ]を選択)

```
現在の IP ｱﾄﾞﾚｽ = xxx.xxx.xxx.xxx
IP ｱﾄﾞﾚｽ =
```

>2 (基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニューより[ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ]を選択)

```
現在のｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ = xxx.xxx.xxx.xxx
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ =
```

>3 (基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニューより[ｹﾞｰﾄｳｪｲ]を選択)

```
現在のｹﾞｰﾄｳｪｲ = xxx.xxx.xxx.xxx
ｹﾞｰﾄｳｪｲ =
```

>4 (基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニューより[登録名称]を選択)

```
現在の登録名称 =
登録名称 =
```

>5 (基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニューより[通信モード]を選択

```
現在の通信モード =
通信モード(0:Auto 1:10Mbps/Half 2:10Mbps/Full 3:100Mbps/Half 4:100Mbps/Full) =
```

4.2.4 ＤＩ設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT
```

>2 (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[DI]を選択)

```
【DI 入力設定メニュー】
1:ﾄﾗｯﾌﾟ 周期 2:入力設定 0:QUIT
```

>1 (DI 入力設定ﾒﾆｭｰより[ﾄﾗｯﾌﾟ 周期]を選択)

```
現在のﾄﾗｯﾌﾟ 周期(ms) = **
ﾄﾗｯﾌﾟ 周期(ms)
```

>2 (DI 入力設定ﾒﾆｭｰより[入力設定]を選択)

```
設定を行なう入力番号(1-8) = *

現在の論理(0=A 接 ,1=B 接) = 0
論理 =

現在のﾄﾗｯﾌﾟ 発生(0:無し 1:立上り 2:立下り 3:両方) = 0
ﾄﾗｯﾌﾟ 発生=

現在のﾄﾗｯﾌﾟ の有無 = No
ﾄﾗｯﾌﾟ の有無(y/n) =

現在のﾄﾗｯﾌﾟ 送信先番号 = 0
ﾄﾗｯﾌﾟ 送信先番号(1-4) =

現在のﾒｰﾙ送信の有無 = No
ﾒｰﾙ送信の有無(y/n) =

現在のﾒｰﾙ送信先番号 = 0
ﾒｰﾙ送信先番号(1-5) =

現在の送信ﾒｰﾙ内容番号 = 0
送信ﾒｰﾙ内容番号(1-10) =

現在の出力の有無 = No
出力の有無(y/n) =

現在の出力番号 = 0
出力番号(1-8) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ の有無 = No
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ の有無(y/n) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 番号 = 0
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 番号(1-10) =
```

4.2.5 ＤＯ設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10: ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT
```

>1　(ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[DO]を選択)

```
【DO 出力設定メニュー】
1:論理定義 2:認証失敗時 0:QUIT
```

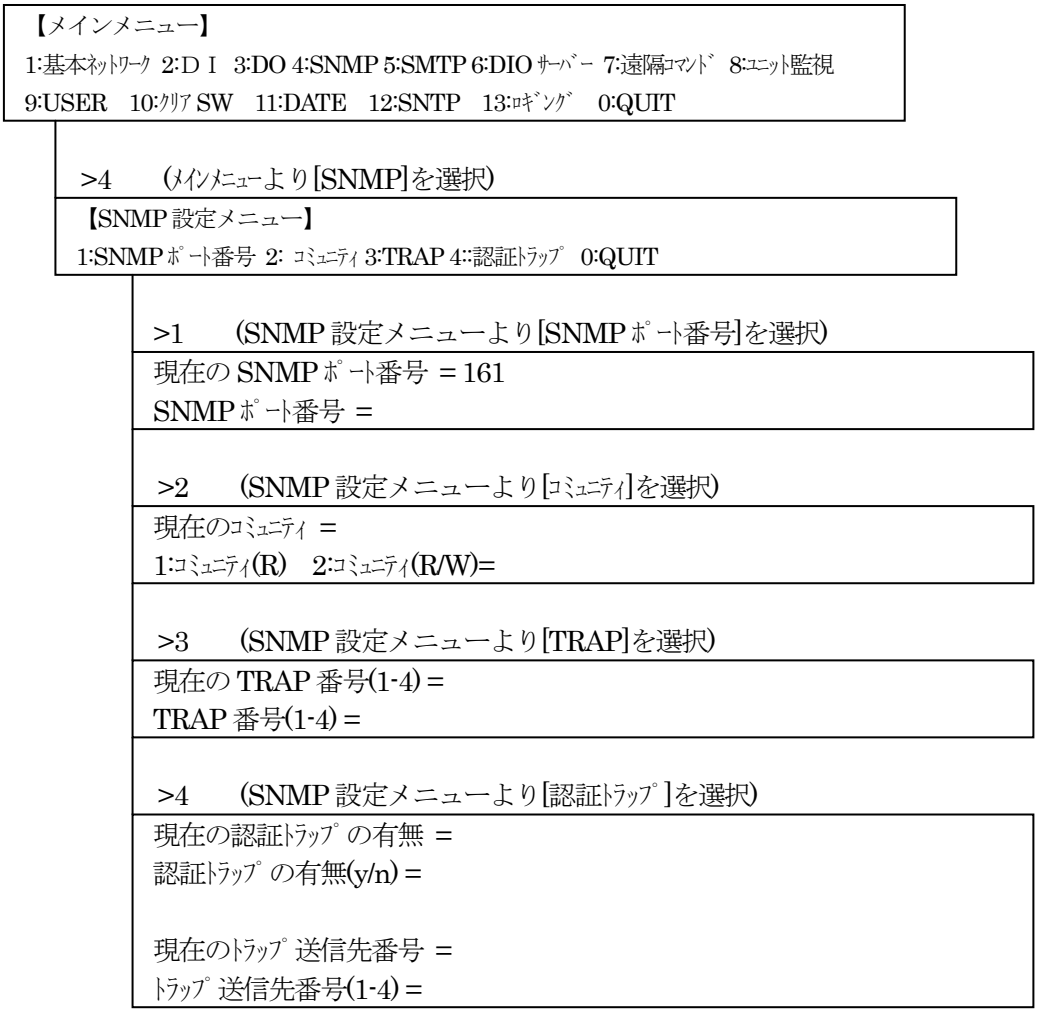
>1　(DO 出力設定メニューより[論理定義]を選択)

```
現在の論理(0=A 接、1=B 接) Do1 = 0
論理 Do1 =

現在の論理(0=A 接、1=B 接) Do2 = 0
論理 Do2 =

現在の論理(0=A 接、1=B 接) Do0 = 0
論理 Do3 =

現在の論理(0=A 接、1=B 接) Do0 = 0
論理 Do4 =

現在の論理(0=A 接、1=B 接) Do0 = 0
論理 Do5 =

現在の論理(0=A 接、1=B 接) Do0 = 0
論理 Do6 =

現在の論理(0=A 接、1=B 接) Do0 = 0
論理 Do7 =

現在の論理(0=A 接、1=B 接) Do0 = 0
論理 Do8 =
```

>2　(DO 出力設定メニューより[認証失敗時]を選択)

```
現在の出力の有無 = No
出力の有無(y/n)

現在の出力番号 =
出力番号(1-8) =
```

4.2.6 ＳＮＭＰ設定メニュー



4.2.7 ＳＭＴＰ設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT
```

>5 (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[SMTP]を選択)

```
【SMTP 設定メニュー】
1:署名 2: SMTP ｻｰﾊﾞｰ名 3:POP3 ｻｰﾊﾞｰ名 4::DNS IP ｱﾄﾞﾚｽ 5:ｱｶｳﾝﾄ
6:ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 7: 送信先 8:題目 9:内容 10:認証失敗時 0:QUIT
```

>1 (SMTP 設定メニューより[署名]を選択)

```
現在の署名 =
署名 =
```

>2 (SMTP 設定メニューより[SMTP ｻｰﾊﾞ名]を選択)

```
現在の SMTP ｻｰﾊﾞ名 =
SMTP ｻｰﾊﾞ名 =
```

>3 (SMTP 設定メニューより[POP3 ｻｰﾊﾞ名]を選択)

```
現在の POP3 ｻｰﾊﾞ名 =
POP3 ｻｰﾊﾞ名 =
```

>4 (SMTP 設定メニューより[DNS IP ｱﾄﾞﾚｽ]を選択)

```
現在の DNS IP ｱﾄﾞﾚｽ =
DNS IP ｱﾄﾞﾚｽ =
```

>5 (SMTP 設定メニューより[ｱｶｳﾝﾄ]を選択)

```
現在のｱｶｳﾝﾄ =
ｱｶｳﾝﾄ =
```

>6 (SMTP 設定メニューより[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]を選択)

```
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =
```

>7 (SMTP 設定メニューより[送信先]を選択)

```
現在の送信先番号 =
送信先番号(1-5) =
```

>8 (SMTP 設定メニューより[題目]を選択)

```
現在の題目番号 =
題目番号(1-10) =
```

>9 (SMTP 設定メニューより[内容]を選択)

```
現在の内容番号 =
内容番号(1-10) =
```

>10　(SMTP 設定メニューより[認証失敗時]を選択)

```
現在のﾒｰﾙ送信の有無 =
ﾒｰﾙ送信の有無(y/n) =

現在のﾒｰﾙ送信先番号 =
ﾒｰﾙ送信先番号(1-5) =

現在の送信ﾒｰﾙ内容 =
送信ﾒｰﾙ内容(1-10) =
```

4.2.8　ＤＩＯサーバー設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT
```

>6　(ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[DIO ｻｰﾊﾞｰ]を選択)

```
【DIO ｻｰﾊﾞｰ設定メニュー】
1:DIO ｻｰﾊﾞｰﾎﾟｰﾄ 2: 対向接続 0:QUIT
```

>1　(DIO ｻｰﾊﾞｰ)設定メニューより[DIO ｻｰﾊﾞｰ]を選択)

```
現在の DIO ｻｰﾊﾞｰﾎﾟｰﾄ番号 =
DIO ｻｰﾊﾞｰﾎﾟｰﾄ番号(5001-65535) =

現在のﾌﾟﾛﾄｺﾙ =
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ(0:TCP　1:UDP) =

現在の強制切替の有無 =
強制切替の有無(y/n) =

DIO ｻｰﾊﾞｰ・対向接続選択の状態＝
DIO ｻｰﾊﾞｰの有効化(y/n)
```

>2　(DIO ｻｰﾊﾞｰ)設定メニューより[対抗接続]を選択)

```
現在の送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ =
送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ =

現在の送信先ﾎﾟｰﾄ =
送信先ﾎﾟｰﾄ(5001-65535) =

現在の受信ﾎﾟｰﾄ =
受信ﾎﾟｰﾄ(5001-65535) =
```

現在のタイムアウト時間(s)=
タイムアウト時間(1-60000)(s)=

現在のリトライ回数=
リトライ回数(0-65535)=

現在のトラップ有無 =
トラップの有無(y/n)=

現在のトラップ送信先番号＝
トラップ送信先番号(1-4)＝

現在のメール送信の有無＝
メール送信の有無(y/n)=

現在のメール送信送信先番号＝
メール送信先番号(1-5)=

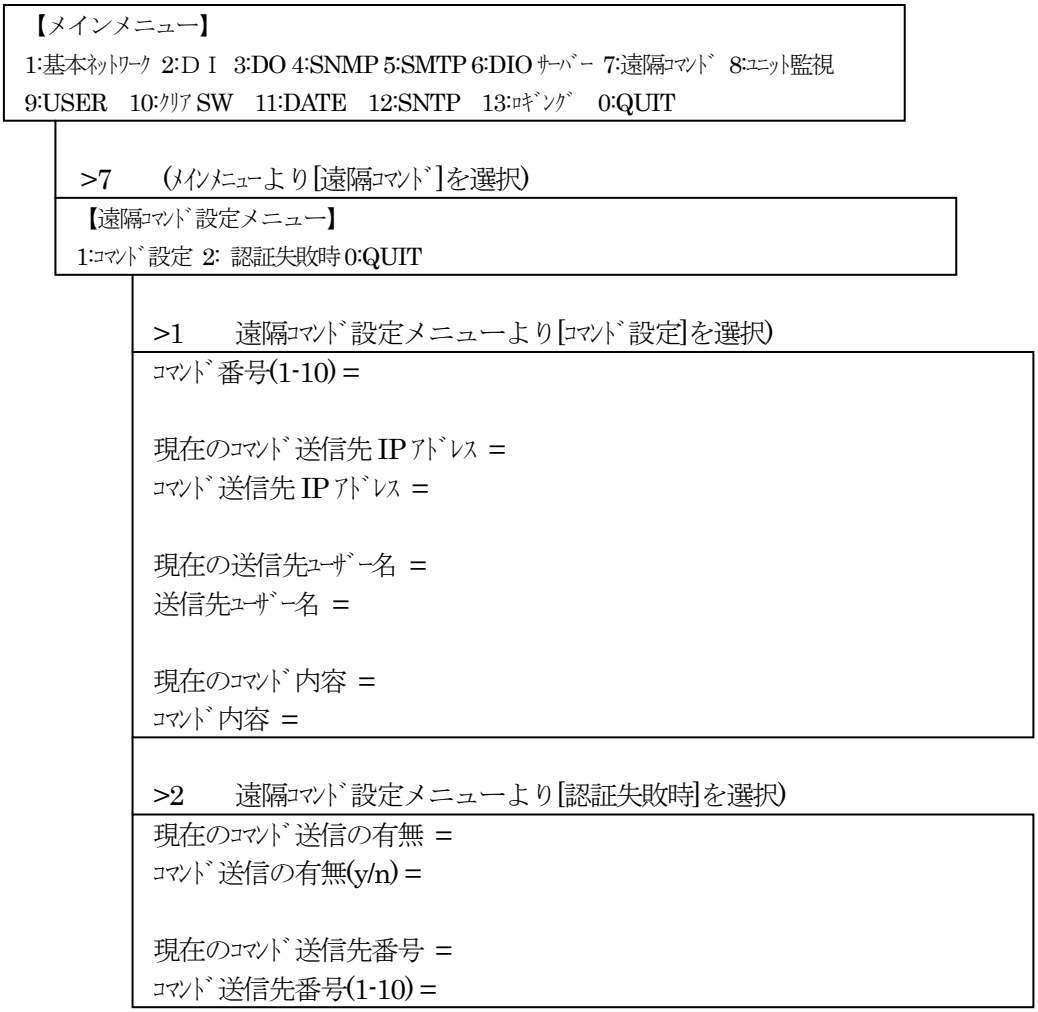
現在の送信メール内容番号＝
送信メール内容番号(1-10)=

現在の遠隔コマンドの有無＝
遠隔コマンドの有無(y/n)=

現在の遠隔コマンド番号＝
遠隔コマンド番号(1-10)=

DIO ｻｰﾊﾞｰ・対向接続選択の状態＝
対向接続の有効化(y/n)=

4.2.9 遠隔コマンド設定メニュー



4.2.10 ユニット監視設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT

>8      (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[ﾕﾆｯﾄ監視]を選択)
【ﾕﾆｯﾄ監視設定メニュー】
1:監視ﾕﾆｯﾄ設定 0:QUIT

>1      (ﾕﾆｯﾄ監視設定メニューより[監視ﾕﾆｯﾄ設定]を選択)
設定を行うﾕﾆｯﾄ番号(1-10) =

現在のﾕﾆｯﾄ監視 IP ｱﾄﾞﾚｽ =
ﾕﾆｯﾄ監視 IP ｱﾄﾞﾚｽ =

現在の監視周期(s) =
監視周期(s) =

現在の監視ﾀｲﾑｱｳﾄ時間(s) =
監視ﾀｲﾑｱｳﾄ時間(s) =

現在のﾄﾗｯﾌﾟ の有無 =
ﾄﾗｯﾌﾟ の有無(y/n) =

現在のﾄﾗｯﾌﾟ 送信先番号 =
ﾄﾗｯﾌﾟ 送信先番号(1-4) =

現在のﾒｰﾙ送信の有無 =
ﾒｰﾙ送信の有無(y/n) =

現在のﾒｰﾙ送信先番号 =
ﾒｰﾙ送信先番号(1-5) =

現在の送信ﾒｰﾙ内容番号 =
送信ﾒｰﾙ内容番号(1-10) =

現在の出力の有無 =
出力の有無(y/n) =

現在の出力番号 =
出力番号(1-8) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無 =
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無(y/n) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号 =
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号(1-10) =
```

4.2.11 ＵＳＥＲ設定メニュー

【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT

>9 (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[USER]を選択)

【USER 設定メニュー】
1:Telnet ﾕｰｻﾞ名 2:Telnet ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 3:Web ﾕｰｻﾞ名 4:Web ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
5:FTP ﾕｰｻﾞ名 6:FTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 0:QUIT

>1 (USER 設定メニューより[Telnet ﾕｰｻﾞｰ名]を選択)

現在の Telnet ﾕｰｻﾞ名 =
Telnet ﾕｰｻﾞ名=

>2 (USER 設定メニューより[Telnet ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]を選択)

現在の Telnet ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =
Telnet ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=

>3 (USER 設定メニューより[Web ﾕｰｻﾞｰ名]を選択)

現在の Web ﾕｰｻﾞ名 =
Web ﾕｰｻﾞ名=

>4 (USER 設定メニューより[Web ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]を選択)

現在の Web ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =
Web ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=

>5 (USER 設定メニューより[FTP ﾕｰｻﾞｰ名]を選択)

現在の FTP ﾕｰｻﾞ名 =
FTP ﾕｰｻﾞ名=

>6 (USER 設定メニューより[FTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]を選択)

現在の FTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =
FTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=

4.2.12 クリアSW設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT
```

>10 (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[ｸﾘｱ SW]を選択)

```
【ｸﾘｱ SW 設定メニュー】
1:ｸﾘｱ SW 0:QUIT
```

>1 (ｸﾘｱ SW 設定メニューより[ｸﾘｱ SW 設定]を選択)

```
現在のﾄﾗｯﾌﾟ の有無 =
ﾄﾗｯﾌﾟ の有無(y/n) =

現在のﾄﾗｯﾌﾟ 送信先番号 =
ﾄﾗｯﾌﾟ 送信先番号(1-4) =

現在のﾒｰﾙ送信の有無 =
ﾒｰﾙ送信の有無(y/n) =

現在のﾒｰﾙ送信先番号 =
ﾒｰﾙ送信先番号(1-5) =

現在の送信ﾒｰﾙ内容番号 =
送信ﾒｰﾙ内容番号(1-10) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無 =
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無(y/n) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号 =
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号(1-10) =
```

4.2.13 時刻設定メニュー

```
【時刻設定メニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT
```

>11 (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[DATE]を選択)

```
Input Date(YYYYMMDDHHMMSS) =
```

4.2.14 ＳＮＴＰ設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT
```

>12 (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[SNTP]を選択)

```
【SNTP 設定メニュー】
1:時刻補正有無 2:ﾌﾟﾗｲﾏﾘ IP 3:ｾｶﾝﾀﾞﾘ IP 4:応答ﾀｲﾑｱｳﾄ(ﾌﾟﾗｲﾏﾘ)
5:応答ﾀｲﾑｱｳﾄ(ｾｶﾝﾀﾞﾘ) 6:監視間隔 7:補正間隔 0:QUIT
```

>1 (SNTP 設定メニューより[時刻補正有無]を選択)

```
現在の時刻補正有無 = No
時刻補正有無(y/n) =
```

>2 (SNTP 設定メニューより[ﾌﾟﾗｲﾏﾘ IP]を選択)

```
現在のﾌﾟﾗｲﾏﾘ IP = 0.0.0.0
ﾌﾟﾗｲﾏﾘ IP =
```

>3 (SNTP 設定メニューより[ｾｶﾝﾀﾞﾘ IP]を選択)

```
現在のｾｶﾝﾀﾞﾘ IP =
ｾｶﾝﾀﾞﾘ IP =
```

>4 (SNTP 設定メニューより[応答ﾀｲﾑｱｳﾄ(ﾌﾟﾗｲﾏﾘ)]を選択)

```
現在の応答待ちﾀｲﾑｱｳﾄ(ﾌﾟﾗｲﾏﾘ) =
応答待ちﾀｲﾑｱｳﾄ(ﾌﾟﾗｲﾏﾘ) =
```

>5 (SNTP 設定メニューより[応答ﾀｲﾑｱｳﾄ(ｾｶﾝﾀﾞﾘ)]を選択)

```
現在の応答待ちﾀｲﾑｱｳﾄ(ｾｶﾝﾀﾞﾘ) =
応答待ちﾀｲﾑｱｳﾄ(ｾｶﾝﾀﾞﾘ) =
```

>6 (SNTP 設定メニューより[監視間隔]を選択)

```
現在の監視間隔 =
監視間隔 =
```

>7 (SNTP 設定メニューより[補正間隔]を選択)

```
現在の補正間隔 =
補正間隔 =
```

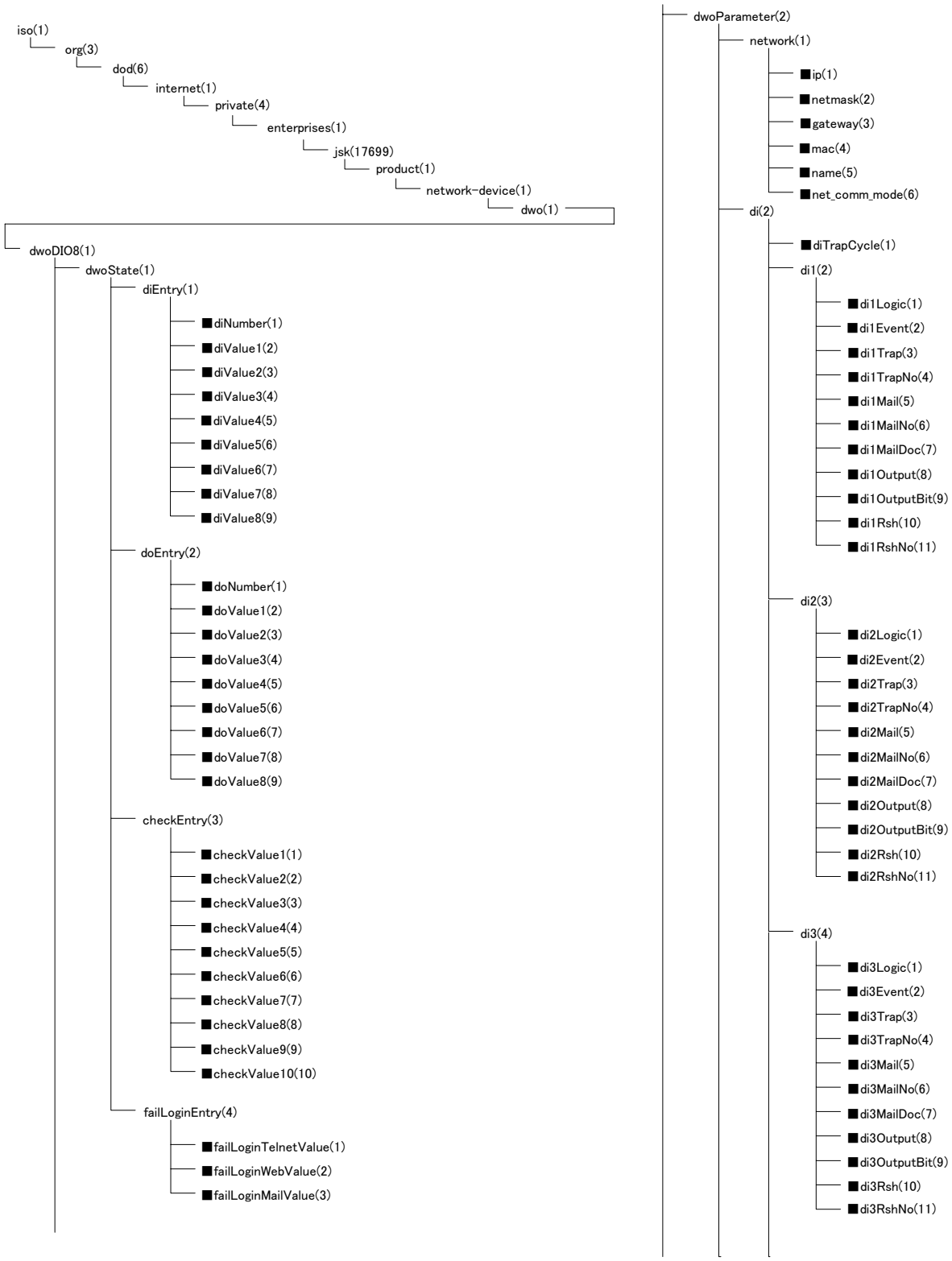
4.2.15 ロギング設定メニュー

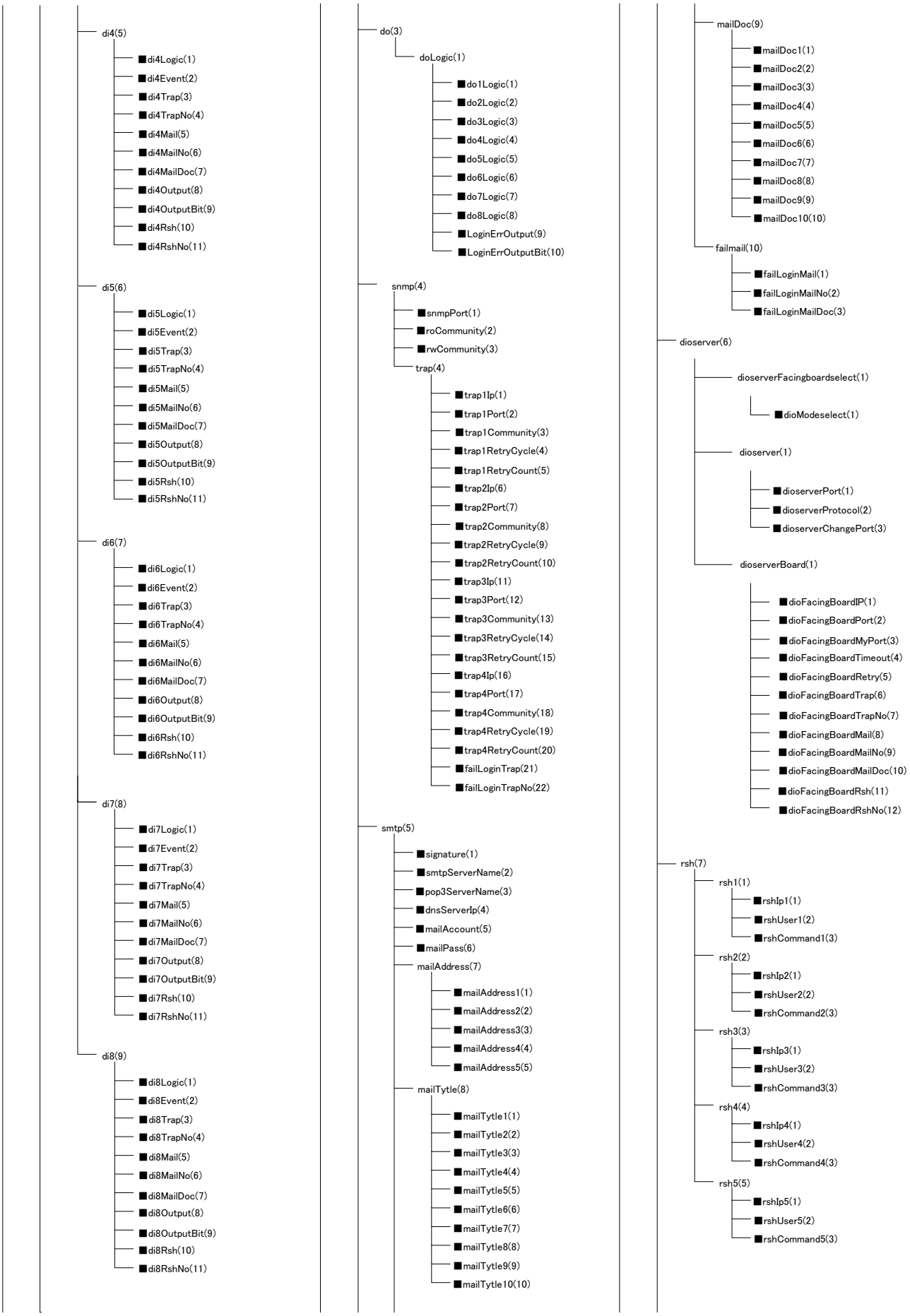
```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:ＤＩ 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIO ｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER 10:ｸﾘｱ SW 11:DATE 12:SNTP 13:ﾛｷﾞﾝｸﾞ 0:QUIT

>13    (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[ﾛｷﾞﾝｸﾞ]を選択)
【ロギング設定メニュー】
1:DI 2:DO 3:SNMP 4:SMTP 5:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 6:ﾕﾆｯﾄ監視 0:QUIT

>1    (ﾛｷﾞﾝｸﾞ設定メニューより[DI]を選択)
現在のﾛｷﾞﾝｸﾞの有無 = No
ﾛｷﾞﾝｸﾞの有無(y/n) =

>2    (ﾛｷﾞﾝｸﾞ設定メニューより[DO]を選択)
現在のﾛｷﾞﾝｸﾞの有無 = No
ﾛｷﾞﾝｸﾞの有無(y/n) =

>3    (ﾛｷﾞﾝｸﾞ設定メニューより[SNMP]を選択)
現在のﾛｷﾞﾝｸﾞの有無 = No
ﾛｷﾞﾝｸﾞの有無(y/n) =

>4    (ﾛｷﾞﾝｸﾞ設定メニューより[SMTP]を選択)
現在のﾛｷﾞﾝｸﾞの有無 = No
ﾛｷﾞﾝｸﾞの有無(y/n) =

>5    (ﾛｷﾞﾝｸﾞ設定メニューより[遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ]を選択)
現在のﾛｷﾞﾝｸﾞの有無 = No
ﾛｷﾞﾝｸﾞの有無(y/n) =

>6    (ﾛｷﾞﾝｸﾞ設定メニューより[ﾕﾆｯﾄ監視]を選択)
現在のﾛｷﾞﾝｸﾞの有無 = No
ﾛｷﾞﾝｸﾞの有無(y/n) =
```

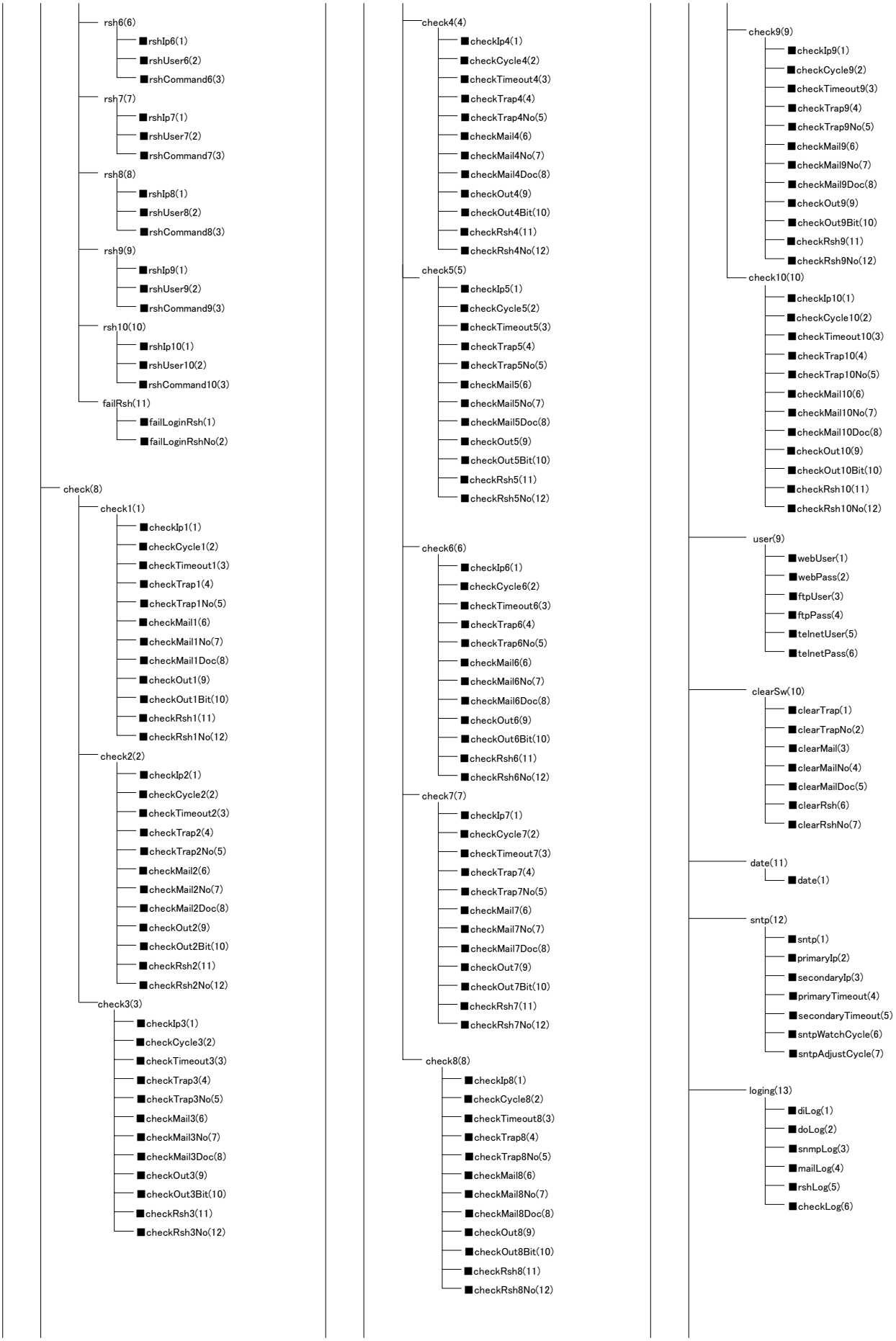
4.3 SNMP からの設定

SNMP SET コマンドにより本ユニットの設定及び I/O の監視制御が行えます。

4.3.1 専用 MIB 定義一覧




di4(5)
■di4Logic(1)
■di4Event(2)
■di4Trap(3)
■di4TrapNo(4)
■di4Mail(5)
■di4MailNo(6)
■di4MailDoc(7)
■di4Output(8)
■di4OutputBit(9)
■di4Rsh(10)
■di4RshNo(11)
di5(6)
■di5Logic(1)
■di5Event(2)
■di5Trap(3)
■di5TrapNo(4)
■di5Mail(5)
■di5MailNo(6)
■di5MailDoc(7)
■di5Output(8)
■di5OutputBit(9)
■di5Rsh(10)
■di5RshNo(11)
di6(7)
■di6Logic(1)
■di6Event(2)
■di6Trap(3)
■di6TrapNo(4)
■di6Mail(5)
■di6MailNo(6)
■di6MailDoc(7)
■di6Output(8)
■di6OutputBit(9)
■di6Rsh(10)
■di6RshNo(11)
di7(8)
■di7Logic(1)
■di7Event(2)
■di7Trap(3)
■di7TrapNo(4)
■di7Mail(5)
■di7MailNo(6)
■di7MailDoc(7)
■di7Output(8)
■di7OutputBit(9)
■di7Rsh(10)
■di7RshNo(11)
di8(9)
■di8Logic(1)
■di8Event(2)
■di8Trap(3)
■di8TrapNo(4)
■di8Mail(5)
■di8MailNo(6)
■di8MailDoc(7)
■di8Output(8)
■di8OutputBit(9)
■di8Rsh(10)
■di8RshNo(11)
do(3)
doLogic(1)
■do1Logic(1)
■do2Logic(2)
■do3Logic(3)
■do4Logic(4)
■do5Logic(5)
■do6Logic(6)
■do7Logic(7)
■do8Logic(8)
■LoginErrOutput(9)
■LoginErrOutputBit(10)
snmp(4)
■snmpPort(1)
■roCommunity(2)
■rwCommunity(3)
trap(4)
■trap1Ip(1)
■trap1Port(2)
■trap1Community(3)
■trap1RetryCycle(4)
■trap1RetryCount(5)
■trap2Ip(6)
■trap2Port(7)
■trap2Community(8)
■trap2RetryCycle(9)
■trap2RetryCount(10)
■trap3Ip(11)
■trap3Port(12)
■trap3Community(13)
■trap3RetryCycle(14)
■trap3RetryCount(15)
■trap4Ip(16)
■trap4Port(17)
■trap4Community(18)
■trap4RetryCycle(19)
■trap4RetryCount(20)
■failLoginTrap(21)
■failLoginTrapNo(22)
smtp(5)
■signature(1)
■smtpServerName(2)
■pop3ServerName(3)
■dnsServerIp(4)
■mailAccount(5)
■mailPass(6)
mailAddress(7)
■mailAddress1(1)
■mailAddress2(2)
■mailAddress3(3)
■mailAddress4(4)
■mailAddress5(5)
mailTytle(8)
■mailTytle1(1)
■mailTytle2(2)
■mailTytle3(3)
■mailTytle4(4)
■mailTytle5(5)
■mailTytle6(6)
■mailTytle7(7)
■mailTytle8(8)
■mailTytle9(9)
■mailTytle10(10)
mailDoc(9)
■mailDoc1(1)
■mailDoc2(2)
■mailDoc3(3)
■mailDoc4(4)
■mailDoc5(5)
■mailDoc6(6)
■mailDoc7(7)
■mailDoc8(8)
■mailDoc9(9)
■mailDoc10(10)
failmail(10)
■failLoginMail(1)
■failLoginMailNo(2)
■failLoginMailDoc(3)
dioserver(6)
dioserverFacingboardselect(1)
■dioModeselect(1)
dioserver(1)
■dioserverPort(1)
■dioserverProtocol(2)
■dioserverChangePort(3)
dioserverBoard(1)
■dioFacingBoardIP(1)
■dioFacingBoardPort(2)
■dioFacingBoardMyPort(3)
■dioFacingBoardTimeout(4)
■dioFacingBoardRetry(5)
■dioFacingBoardTrap(6)
■dioFacingBoardTrapNo(7)
■dioFacingBoardMail(8)
■dioFacingBoardMailNo(9)
■dioFacingBoardMailDoc(10)
■dioFacingBoardRsh(11)
■dioFacingBoardRshNo(12)
rsh(7)
rsh1(1)
■rshIp1(1)
■rshUser1(2)
■rshCommand1(3)
rsh2(2)
■rshIp2(1)
■rshUser2(2)
■rshCommand2(3)
rsh3(3)
■rshIp3(1)
■rshUser3(2)
■rshCommand3(3)
rsh4(4)
■rshIp4(1)
■rshUser4(2)
■rshCommand4(3)
rsh5(5)
■rshIp5(1)
■rshUser5(2)
■rshCommand5(3)


rsh6(6)
■rshIp6(1)
■rshUser6(2)
■rshCommand6(3)
rsh7(7)
■rshIp7(1)
■rshUser7(2)
■rshCommand7(3)
rsh8(8)
■rshIp8(1)
■rshUser8(2)
■rshCommand8(3)
rsh9(9)
■rshIp9(1)
■rshUser9(2)
■rshCommand9(3)
rsh10(10)
■rshIp10(1)
■rshUser10(2)
■rshCommand10(3)
failRsh(11)
■failLoginRsh(1)
■failLoginRshNo(2)
check(8)
check1(1)
■checkIp1(1)
■checkCycle1(2)
■checkTimeout1(3)
■checkTrap1(4)
■checkTrap1No(5)
■checkMail1(6)
■checkMail1No(7)
■checkMail1Doc(8)
■checkOut1(9)
■checkOut1Bit(10)
■checkRsh1(11)
■checkRsh1No(12)
check2(2)
■checkIp2(1)
■checkCycle2(2)
■checkTimeout2(3)
■checkTrap2(4)
■checkTrap2No(5)
■checkMail2(6)
■checkMail2No(7)
■checkMail2Doc(8)
■checkOut2(9)
■checkOut2Bit(10)
■checkRsh2(11)
■checkRsh2No(12)
check3(3)
■checkIp3(1)
■checkCycle3(2)
■checkTimeout3(3)
■checkTrap3(4)
■checkTrap3No(5)
■checkMail3(6)
■checkMail3No(7)
■checkMail3Doc(8)
■checkOut3(9)
■checkOut3Bit(10)
■checkRsh3(11)
■checkRsh3No(12)
check4(4)
■checkIp4(1)
■checkCycle4(2)
■checkTimeout4(3)
■checkTrap4(4)
■checkTrap4No(5)
■checkMail4(6)
■checkMail4No(7)
■checkMail4Doc(8)
■checkOut4(9)
■checkOut4Bit(10)
■checkRsh4(11)
■checkRsh4No(12)
check5(5)
■checkIp5(1)
■checkCycle5(2)
■checkTimeout5(3)
■checkTrap5(4)
■checkTrap5No(5)
■checkMail5(6)
■checkMail5No(7)
■checkMail5Doc(8)
■checkOut5(9)
■checkOut5Bit(10)
■checkRsh5(11)
■checkRsh5No(12)
check6(6)
■checkIp6(1)
■checkCycle6(2)
■checkTimeout6(3)
■checkTrap6(4)
■checkTrap6No(5)
■checkMail6(6)
■checkMail6No(7)
■checkMail6Doc(8)
■checkOut6(9)
■checkOut6Bit(10)
■checkRsh6(11)
■checkRsh6No(12)
check7(7)
■checkIp7(1)
■checkCycle7(2)
■checkTimeout7(3)
■checkTrap7(4)
■checkTrap7No(5)
■checkMail7(6)
■checkMail7No(7)
■checkMail7Doc(8)
■checkOut7(9)
■checkOut7Bit(10)
■checkRsh7(11)
■checkRsh7No(12)
check8(8)
■checkIp8(1)
■checkCycle8(2)
■checkTimeout8(3)
■checkTrap8(4)
■checkTrap8No(5)
■checkMail8(6)
■checkMail8No(7)
■checkMail8Doc(8)
■checkOut8(9)
■checkOut8Bit(10)
■checkRsh8(11)
■checkRsh8No(12)
check9(9)
■checkIp9(1)
■checkCycle9(2)
■checkTimeout9(3)
■checkTrap9(4)
■checkTrap9No(5)
■checkMail9(6)
■checkMail9No(7)
■checkMail9Doc(8)
■checkOut9(9)
■checkOut9Bit(10)
■checkRsh9(11)
■checkRsh9No(12)
check10(10)
■checkIp10(1)
■checkCycle10(2)
■checkTimeout10(3)
■checkTrap10(4)
■checkTrap10No(5)
■checkMail10(6)
■checkMail10No(7)
■checkMail10Doc(8)
■checkOut10(9)
■checkOut10Bit(10)
■checkRsh10(11)
■checkRsh10No(12)
user(9)
■webUser(1)
■webPass(2)
■ftpUser(3)
■ftpPass(4)
■telnetUser(5)
■telnetPass(6)
clearSw(10)
■clearTrap(1)
■clearTrapNo(2)
■clearMail(3)
■clearMailNo(4)
■clearMailDoc(5)
■clearRsh(6)
■clearRshNo(7)
date(11)
■date(1)
sntp(12)
■sntp(1)
■primaryIp(2)
■secondaryIp(3)
■primaryTimeout(4)
■secondaryTimeout(5)
■sntpWatchCycle(6)
■sntpAdjustCycle(7)
loging(13)
■diLog(1)
■doLog(2)
■snmpLog(3)
■mailLog(4)
■rshLog(5)
■checkLog(6)

4.3.2 専用 MIB オブジェクト解説

4.3.2.1 [product Group]

(enterprises.jsk..1)

product グループは日本制禦機器の製品シリーズを識別する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	network-device	－	(4.3.2.2)

4.3.2.2 [network-device Group]

(enterprises.jsk..product.1)

network-device グループはネットワークデバイス製品シリーズの為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	dwo	－	(4.3.2.3)

4.3.2.3 [dwo Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.1)

dwo グループはネットワークデバイス製品シリーズを識別する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	dwoDIO8	－	(4.3.2.4)

4.3.2.4 [dwoDIO8 Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.1)

dwoDIO8 グループは DWO シリーズ DIO８ユニットを管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	dwoState	－	(4.3.2.5)
2	dwoParameter	－	(4.3.2.10)

4.3.2.5 [dwoState Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.1)

dwoState グループはユニットのステータスを管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diEntry	－	(4.3.2.6)
2	doEntry	－	(4.3.2.7)
3	checkEntry	－	(4.3.2.8)
4	failLoginEntry	－	(4.3.2.9)

4.3.2.6 [diEntry Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoState.1)

diEntry グループはデジタル入力の状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diNumber	R	デジタル入力の I/O 点数
2	diValue1	R	デジタル入力 1 の状態 (0=OFF、1=ON)
3	diValue2	R	デジタル入力 2 の状態 (0=OFF、1=ON)
4	diValue3	R	デジタル入力 3 の状態 (0=OFF、1=ON)
5	diValue4	R	デジタル入力 4 の状態 (0=OFF、1=ON)
6	diValue5	R	デジタル入力 5 の状態 (0=OFF、1=ON)
7	diValue6	R	デジタル入力 6 の状態 (0=OFF、1=ON)
8	diValue7	R	デジタル入力 7 の状態 (0=OFF、1=ON)
9	diValue8	R	デジタル入力 8 の状態 (0=OFF、1=ON)

4.3.2.7 [doEntry Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoState.2)

doEntry グループはデジタル出力の状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	doNumber	R	デジタル出力の I/O 点数
2	doValue1	R/W	デジタル出力 1 の状態 (0=OFF、1=ON)
3	doValue2	R/W	デジタル出力 2 の状態 (0=OFF、1=ON)
4	doValue3	R/W	デジタル出力 3 の状態 (0=OFF、1=ON)
5	doValue4	R/W	デジタル出力 4 の状態 (0=OFF、1=ON)
6	doValue5	R/W	デジタル出力 5 の状態 (0=OFF、1=ON)
7	doValue6	R/W	デジタル出力 6 の状態 (0=OFF、1=ON)
8	doValue7	R/W	デジタル出力 7 の状態 (0=OFF、1=ON)
9	doValue8	R/W	デジタル出力 8 の状態 (0=OFF、1=ON)

4.3.2.8 [checkEntry Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoState.3)

checkEntry グループはユニット監視の状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	checkValue1	R/W	ユニット監視 1 の状態 (0=正常、1=監視異常)
2	checkValue2	R/W	ユニット監視 2 の状態 (0=正常、1=監視異常)
3	checkValue3	R/W	ユニット監視 3 の状態 (0=正常、1=監視異常)
4	checkValue4	R/W	ユニット監視 4 の状態 (0=正常、1=監視異常)
5	checkValue5	R/W	ユニット監視 5 の状態 (0=正常、1=監視異常)
6	checkValue6	R/W	ユニット監視 6 の状態 (0=正常、1=監視異常)
7	checkValue7	R/W	ユニット監視 7 の状態 (0=正常、1=監視異常)
8	checkValue8	R/W	ユニット監視 8 の状態 (0=正常、1=監視異常)
9	checkValue9	R/W	ユニット監視 9 の状態 (0=正常、1=監視異常)
10	checkValue10	R/W	ユニット監視 10 の状態 (0=正常、1=監視異常)

4.3.2.9 [failLoginEntry Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoState.4)

failLoginEntry グループは認証エラーの状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	failLoginTelnetValue	R/W	telnet 認証の状態　(0=正常、1=異常)
2	failLoginWebValue	R/W	web 認証の状態　(0=正常、1=異常)
3	failLoginMailValue	R/W	mail 認証の状態　(0=正常、1=異常)

4.3.2.10 [dwoParameter Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.2)

dwoParameter グループはユニットのパラメータを管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	network	－	(4.3.2.11)
2	di	－	(4.3.2.12)
3	do	－	(4.3.2.14)
4	snmp	－	(4.3.2.16)
5	smtp	－	(4.3.2.18)
6	dioserver	－	(4.3.2.23)
7	rsh	－	(4.3.2.24)
8	check	－	(4.3.2.27)
9	user	－	(4.3.2.29)
10	clearSw	－	(4.3.2.30)
11	date	－	(4.3.2.31)
12	sntp	－	(4.3.2.32)
13	loging	－	(4.3.2.33)

4.3.2.11 [network Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.1)

network グループはネットワーク設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	ip	R	IP アドレス
2	netmask	R	サブネットマスク
3	gateway	R	ゲートウェイ
4	mac	R	MAC アドレス
5	name	R/W	機器名
6	net_comm_mode	R/W	通信モード

4.3.2.12 [di Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.2)

di グループはデジタル入力設定を管理する為のグループです。以下のグループ／オブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diTrapCycle	R/W	入力トラップの監視周期
2	di1	－	(4.3.2.13)
3	di2	－	(4.3.2.13)
4	di3	－	(4.3.2.13)
5	di4	－	(4.3.2.13)
6	di5	－	(4.3.2.13)
7	di6	－	(4.3.2.13)
8	di7	－	(4.3.2.13)
9	di8	－	(4.3.2.13)

4.3.2.13 [diX Group]　※X は 1~8 の数値⇒デジタル入力 1~8 に対応

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.di.2~9)

diX グループはデジタル入力の個別設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diXLogic	R/W	入力論理　(0=A 接、1=B 接)
2	diXEvent	R/W	イベント条件　(0=無し、1=ON 状変、2= OFF 状変、3= 状変)
3	diXTrap	R/W	イベント条件成立時、トラップ通知の有無　(0=無し、1=有り)
4	diXTrapNo	R/W	通知するトラップの登録番号
5	diXMail	R/W	イベント条件成立時、メール送信の有無　(0=無し、1=有り)
6	diXMailNo	R/W	送信するメール送信先の登録番号
7	diXMailDoc	R/W	送信するメール内容の登録番号
8	diXOutput	R/W	イベント条件成立時、デジタル出力の有無　(0=無し、1=有り)
9	diXOutputBit	R/W	出力するデジタル出力の番号
10	diXRsh	R/W	イベント条件成立時、遠隔コマンド送信の有無　(0=無し、1=有り)
11	diXRshNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

4.3.2.14 [do Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.3)

do グループはデジタル出力の設定を管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	doLogic	－	(4.3.2.15)

4.3.2.15 [doLogic Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.do.1)

doLogic グループはデジタル出力のここの設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	do1Logic	R/W	出力 1 論理　(0=A 接、1=B 接)
2	do2Logic	R/W	出力 2 論理　(0=A 接、1=B 接)
3	do3Logic	R/W	出力 3 論理　(0=A 接、1=B 接)
4	do4Logic	R/W	出力 4 論理　(0=A 接、1=B 接)
5	do5Logic	R/W	出力 5 論理　(0=A 接、1=B 接)
6	do6Logic	R/W	出力 6 論理　(0=A 接、1=B 接)
7	do7Logic	R/W	出力 7 論理　(0=A 接、1=B 接)
8	do8Logic	R/W	出力 8 論理　(0=A 接、1=B 接)
9	LoginErrOutput	R/W	認証エラー時、デジタル出力の有無　(0=無し、1=有り)
10	LoginErrOutputBit	R/W	出力するデジタル出力の番号

4.3.2.16 [snmp Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.4)

snmp グループは SNMP 設定を管理する為のグループです。以下のグループ／オブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	snmpPort	R/W	SNMP ポート
2	roCommunity	R/W	リードコミュニティ名
3	rwCommunity	R/W	リードライトコミュニティ名
4	trap	－	(4.3.2.17)

4.3.2.17[trap Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.snmp.4)

トラップグループはSNMP トラップ設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	trap1Ip	R/W	トッラプ１送信先 IP
2	trap1Port	R/W	トラップ１送信先ポート
3	trap1Community	R/W	トッラプ１送信コミュニティ名
4	trap1RetryCycle	R/W	トラップ１送信リトライ間隔
5	trap1RetryCount	R/W	トラップ１送信リトライ回数
6	trap2Ip	R/W	トッラプ２送信先 IP
7	trap2Port	R/W	トラップ２送信先ポート
8	trap2Community	R/W	トッラプ２送信コミュニティ名
9	trap2RetryCycle	R/W	トラップ２送信リトライ間隔
10	trap2RetryCount	R/W	トラップ２送信リトライ回数
11	trap3Ip	R/W	トッラプ３送信先 IP
12	trap3Port	R/W	トラップ３送信先ポート
13	trap3Community	R/W	トッラプ３送信コミュニティ名
14	trap3RetryCycle	R/W	トラップ３送信リトライ間隔
15	trap3RetryCount	R/W	トラップ３送信リトライ回数
16	trap4Ip	R/W	トッラプ４送信先 IP
17	trap4Port	R/W	トラップ４送信先ポート
18	trap4Community	R/W	トッラプ４送信コミュニティ名
19	trap4RetryCycle	R/W	トラップ４送信リトライ間隔
20	trap4RetryCount	R/W	トラップ４送信リトライ回数
21	failLoginTrap	R/W	認証エラー時、トラップ送信の有無　(0=無し、1=有り)
22	failLoginTrapNo	R/W	送信トラップの登録番号

4.3.2.18[smtp Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.5)

smtp グループはSMTP 設定を管理する為のグループです。以下のグループ／オブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	signature	R/W	署名
2	smtpServerName	R/W	SMTP サーバー名
3	pop3ServerName	R/W	POP3 サーバー名
4	dnsServerIp	R/W	DNS サーバーＩＰアドレス
5	mailAccount	R/W	メールアカウント
6	mailPass	R/W	POP3 サーバーパスワード
7	mailAddress	R/W	(4.3.2.19)
8	mailTytle	R/W	(4.3.2.20)
9	mailDoc	R/W	(4.3.2.21)
10	failmail	R/W	(4.3.2.22)

4.3.2.19[mailAddress Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.smtp.7)

mailAddress グループはメール送信先のアドレスを管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	mailAddress1	R/W	送信先１メールアドレス
2	mailAddress2	R/W	送信先２メールアドレス
3	mailAddress3	R/W	送信先３メールアドレス
4	mailAddress4	R/W	送信先４メールアドレス
5	mailAddress5	R/W	送信先５メールアドレス

4.3.2.20 [mailTytle Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.smtp.8)

mailTytle グループは送信メールの題目を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	mailTytle1	R/W	送信メール題目 1
2	mailTytle2	R/W	送信メール題目 2
3	mailTytle3	R/W	送信メール題目 3
4	mailTytle4	R/W	送信メール題目 4
5	mailTytle5	R/W	送信メール題目 5
6	mailTytle6	R/W	送信メール題目 6
7	mailTytle7	R/W	送信メール題目 7
8	mailTytle8	R/W	送信メール題目 8
9	mailTytle9	R/W	送信メール題目 9
10	mailTytle10	R/W	送信メール題目 10

4.3.2.21 [mailDoc Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.smtp.9)

mailDoc グループは送信メールの内容を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	mailDoc1	R/W	送信メール内容 1
2	mailDoc2	R/W	送信メール内容 2
3	mailDoc3	R/W	送信メール内容 3
4	mailDoc4	R/W	送信メール内容 4
5	mailDoc5	R/W	送信メール内容 5
6	mailDoc6	R/W	送信メール内容 6
7	mailDoc7	R/W	送信メール内容 7
8	mailDoc8	R/W	送信メール内容 8
9	mailDoc9	R/W	送信メール内容 9
10	mailDoc10	R/W	送信メール内容 10

4.3.2.22 [failmail Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.smtp.10)

failmail グループは認証エラー時のメール送信設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	failLoginMail	R/W	認証エラー時、メール送信の有無 (0=無し、1=有り)
2	failLoginMailNo	R/W	送信メール送信先登録番号
3	failLoginMailDoc	R/W	送信メール内容登録番号

4.3.2.23 [dioserver Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.6)

dioserver グループは DIOServer 設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	dioserverFacingboardSelect	-	(4.3.2.24)
2	dioserver	-	(4.3.2.25)
3	dioserverFacingBoard	-	(4.3.2.26)

4.3.2.24 [dioserverFacingboardSelect Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.dioserver.1)

dioserverFacingboardselect グループはDIOサーバーモードか対向接続モードのどちらが選択されているかを管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	dioModeSelect	R/W	DIO サーバーか対向接続を選択 (0=DIO サーバー、1=対向接続)

4.3.2.25 [dilserver Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.dioserver.2)

dioserver グループは DIOServer 設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	dioserverPort	R/W	dioserver ポート
2	dioserverProtocol	R/W	プロトコル (0=TCP、1=UDP)
3	dioserverChangePort	R/W	強制切替機能の有無 (0=無し、1=有り)

4.3.2.26 [dioserverFacingBoard Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.dioserver.3)

dioserverFacingBoard グループは対向接続設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	dioFacingBoardIP	R/W	送信先ＩＰアドレス
2	dioFacingBoardPort	R/W	送信先ポート (5001-65535)
3	dioFacingBoardMyPort	R/W	受信ポート (5001-65535)
4	dioFacingBoardTimeout	R/W	タイムアウト時間 (1-60000)
5	dioFacingBoardRetry	R/W	リトライ回数 (0-65535)
6	dioFacingBoardTrap	R/W	トラップの有無 (0=無し、1=有り)
7	dioFacingBoardTrapNo	R/W	トラップ送信先番号 (1-4)
8	dioFacingBoardMail	R/W	メール送信の有無 (0=無し、1=有り)
9	dioFacingBoardMailNo	R/W	メール送信先番号 (1-5)
10	dioFacingBoardMaildoc	R/W	送信メール内容番号 (1-10)
11	dioFacingBoardRsh	R/W	遠隔コマンドの有無 (0=無し、1=有り)
12	dioFacingBoardRshNo	R/W	遠隔コマンド番号 (1-10)

4.3.2.27 [rsh Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.7)

rsh グループは遠隔コマンド設定を管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	rsh1	－	(4.3.2.25)
2	rsh2	－	(4.3.2.25)
3	rsh3	－	(4.3.2.25)
4	rsh4	－	(4.3.2.25)
5	rsh5	－	(4.3.2.25)
6	rsh6	－	(4.3.2.25)
7	rsh7	－	(4.3.2.25)
8	rsh8	－	(4.3.2.25)
9	rsh9	－	(4.3.2.25)
10	rsh10	－	(4.3.2.25)
11	failRsh	－	(4.3.2.26)

4.3.2.28 [rshX Group] ※X は 1~10 の数値

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.rsh.1~10)

rshX グループは遠隔コマンド設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	rshIpX	R/W	遠隔コマンド送信先 IP
2	rshUserX	R/W	遠隔コマンド送信先ユーザー名
3	rshCommandX	R/W	遠隔コマンド送信コマンド

4.3.2.29 [failRsh Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.rsh.11)

failRsh グループは認証エラー時の遠隔コマンド送信設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが設定されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	failLoginRsh	R/W	認証エラー時の遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
2	failLoginRshNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

4.3.2.30 [check Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.8)

check グループはユニット監視設定と管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	check1	－	(4.3.2.28)
2	check2	－	(4.3.2.28)
3	check3	－	(4.3.2.28)
4	check4	－	(4.3.2.28)
5	check5	－	(4.3.2.28)
6	check6	－	(4.3.2.28)
7	check7	－	(4.3.2.28)
8	check8	－	(4.3.2.28)
9	check9	－	(4.3.2.28)
10	check10	－	(4.3.2.28)

4.3.2.31 [checkn Group] ※n は 1~10 の数値

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.check.1~10)

checkX グループは個々のユニット監視設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	checkIpX	R/W	監視先ユニット IP アドレス
2	checkCycleX	R/W	監視周期
3	checkTimeoutX	R/W	監視タイムアウト時間
4	checkTrapX	R/W	監視エラー時、トラップ送信の有無 (0=無し、1=有り)
5	checkTrapXNo	R/W	送信するトラップの登録番号
6	checkMailX	R/W	監視エラー時、メール送信の有無 (0=無し、1=有り)
7	checkMailXNo	R/W	送信するメール送信先の登録番号
8	checkMailXDoc	R/W	送信するメール内容の登録番号
9	checkOutX	R/W	監視エラー時、デジタル出力の有無 (0=無し、1=有り)
10	checkOutXBit	R/W	出力するデジタル出力の番号
11	checkRsh	R/W	監視エラー時、遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
12	checkRshXNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

4.3.2.32 [user Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.9)

user グループはユーザー認証設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	webUser	R/W	web 認証ユーザー名
2	webPass	R/W	web 認証パスワード
3	ftpUser	R/W	ftp 認証ユーザー名
4	ftpPass	R/W	ftp 認証パスワード
5	telnetUser	R/W	telnet 認証ユーザー名
6	telnetPass	R/W	telnet 認証パスワード

4.3.2.33 [clearSw Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.10)

clearSw グループはクリア SW 設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	clearTrap	R/W	クリア SW 押下時のトラップ送信の有無 (0=無し、1=有り)
2	clearTrapNo	R/W	送信するトラップの登録番号
3	clearMail	R/W	クリア SW 押下時のメール送信の有無 (0=無し、1=有り)
4	clearMailNo	R/W	送信するメール送信先の登録番号
5	clearMailDoc	R/W	送信するメール内容の登録番号
6	clearRsh	R/W	クリア SW 押下時の遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
7	clearRshNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

4.3.2.34 [date Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.11)

date グループは日付時刻設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	date	R/W	何月日時刻

4.3.2.35 [sntp Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.12)

sntp グループは SNTP 設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	sntp	R/W	時刻補正の有無 (0=無し、1=有り)
2	primaryIp	R/W	プライマリ SNTP サーバーの IP
3	secondaryIp	R/W	セカンダリ SNTP サーバーの IP
4	primaryTimeout	R/W	プライマリ SNMP サーバーに対するタイムアウト
5	secondaryTimeout	R/W	セカンダリ SNMP サーバーに対するタイムアウト
6	sntpWatchCycle	R/W	sntp サーバー監視間隔
7	sntpAdjustCycle	R/W	sntp サーバー補正間隔

4.3.2.36 [loging Group]

(enterprises.jsk..product.network-device.dwo.dwoDIO8.dwoParameter.13)

loging グループはロギング設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

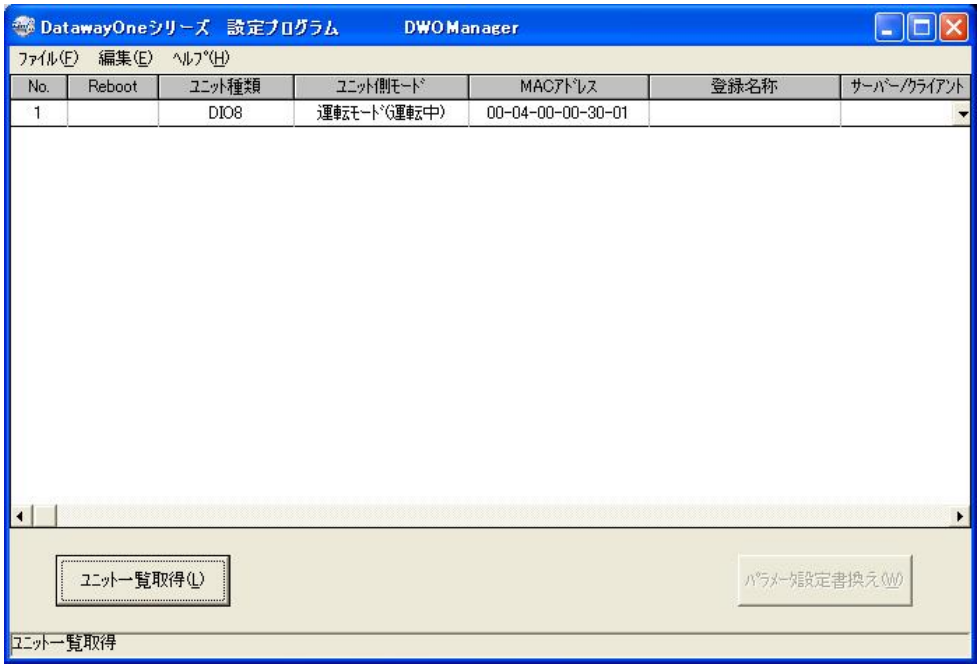
OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diLog	R/W	デジタル入力状変履歴 ロギングの有無 (0=無し、1=有り)
2	doLog	R/W	デジタル出力状変履歴 ロギングの有無 (0=無し、1=有り)
3	snmpLog	R/W	SNMP トラップ送信履歴 ロギングの有無 (0=無し、1=有り)
4	mailLog	R/W	メール送信履歴 ロギングの有無 (0=無し、1=有り)
5	rshLog	R/W	遠隔コマンド送信履歴 ロギングの有無 (0=無し、1=有り)
6	checkLog	R/W	ユニット監視異常発生履歴 ロギングの有無 (0=無し、1=有り)

4.3.3 SNMP トラップ定義一覧

TRAP コード	名前	特定コード	TRAP 要因
0	coldStart	0	DIO8 の電源投入後もしくはリセット後 SNMP が初期化された
1	warmStart	0	未実装
2	linkDown	0	未実装
3	linkUp	0	未実装
4	authenticationFailure	0	SNMP マネージャーから無効なコミュニティメッセージを受信
5	egpNeighvorLoss	0	未実装
6	enterpriseSpecific	1000	diValue1 の状態変化が起こった
		1001	diValue2 の状態変化が起こった
		1002	diValue3 の状態変化が起こった
		1003	diValue4 の状態変化が起こった
		1004	diValue5 の状態変化が起こった
		1005	diValue6 の状態変化が起こった
		1006	diValue7 の状態変化が起こった
		1007	diValue8 の状態変化が起こった
		1008	クリア SW が押された
		1009	未使用
		1010	ユニット監視 1　異常発生
		1011	ユニット監視 2　異常発生
		1012	ユニット監視 3　異常発生
		1013	ユニット監視 4　異常発生
		1014	ユニット監視 5　異常発生
		1015	ユニット監視 6　異常発生
		1016	ユニット監視 7　異常発生
		1017	ユニット監視 8　異常発生
		1018	ユニット監視 9　異常発生
		1019	ユニット監視 10 異常発生
		1020	認証エラー（telnet）が発生
		1021	認証エラー（web）が発生
		1022	認証エラー（ftp）　が発生

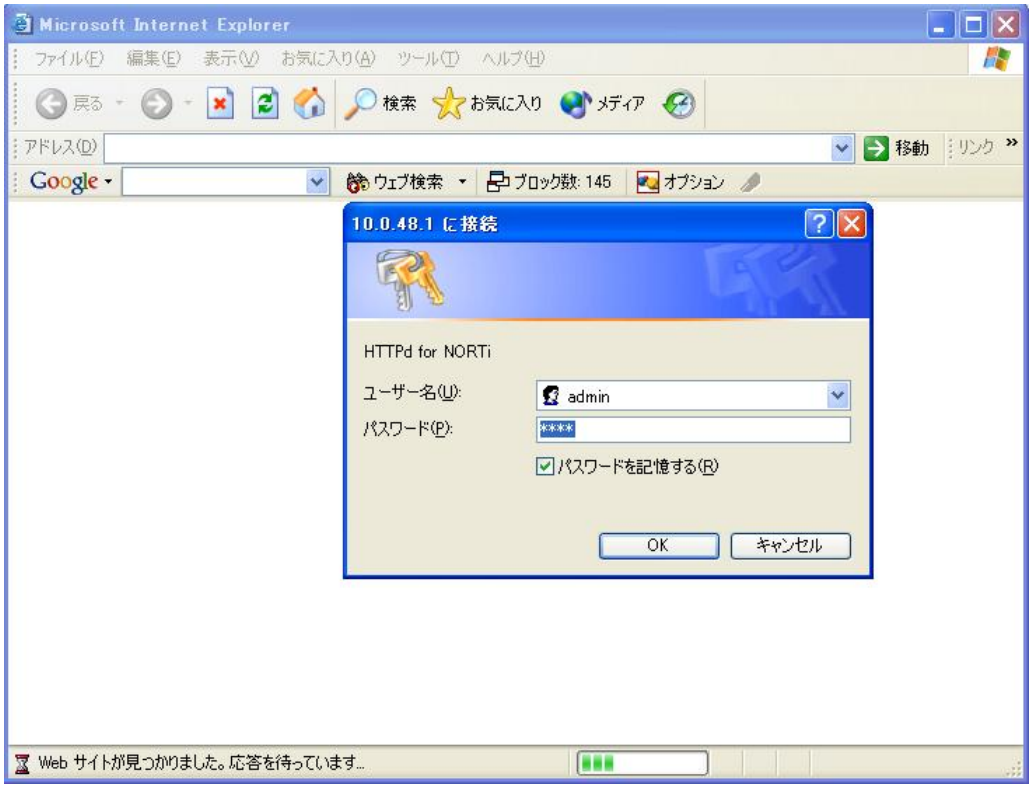
4.4 DWO マネージャーからの設定

4.4.1 DWOManager の起動



DWOManager 起動後、ユニット一覧取得ボタン押下にてユニット情報を表示します。

4.4.2 ブラウザ設定画面へのジャンプ



DWOManager に表示されるユニット情報欄をダブルクリックするとブラウザ設定画面へジャンプします。ブラウザからの設定方法に関しては　4.1 章（ブラウザからの設定）を参照下さい。

5 工場出荷時設定値一覧

表 5-1　工場出荷時設定一覧

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
基本 ネットワーク	ip	ﾕﾆｯﾄ IP ｱﾄﾞﾚｽ	10.X.X.X(*1)	0.0.0.0～255.255.255.255
	netmask	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	255.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	gateway	ｹﾞｰﾄｳｪｲ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	name	登録名称		20 文字以内(半角英数)
	Net_comm_mode	通信モード	0	0～4
デジタル 入力	diTrapCycle	ﾄﾗｯﾌﾟ用入力ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ間隔	50msec	50～2147483600(50mSの倍数)
	di1Logic	入力 1 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di1Event	入力 1 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di1Trap	入力 1 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di1TrapNo	入力 1 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di1Mail	入力 1 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di1MailNo	入力 1 ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di1MailDoc	入力 1 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di1Output	入力1 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di1OutputBit	入力1 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di1Rsh	入力1 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di1RshNo	入力1 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di2Logic	入力 2 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di2Event	入力 2 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di2Trap	入力 2 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di2TrapNo	入力 2 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di2Mail	入力 2 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di2MailNo	入力 2 ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di2MailDoc	入力 2 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di2Output	入力2 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di2OutputBit	入力2 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di2Rsh	入力2 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di2RshNo	入力2 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di3Logic	入力 3 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di3Event	入力 3 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di3Trap	入力 3 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di3TrapNo	入力 3 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di3Mail	入力 3 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di3MailNo	入力 3 ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di3MailDoc	入力 3 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di3Output	入力3 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di3OutputBit	入力3 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di3Rsh	入力3 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di3RshNo	入力3 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di4Logic	入力 4 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di4Event	入力 4 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di4Trap	入力 4 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di4TrapNo	入力 4 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di4Mail	入力 4 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di4MailNo	入力 4 ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di4MailDoc	入力 4 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di4Output	入力4 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di4OutputBit	入力4 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di4Rsh	入力4 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di4RshNo	入力4 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
デジタル入力	di5Logic	入力5 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di5Event	入力5 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di5Trap	入力5 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di5TrapNo	入力5 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di5Mail	入力5 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di5MailNo	入力5 ﾒｰﾙ送信先No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di5MailDoc	入力5 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di5Output	入力5 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di5OutputBit	入力5 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di5Rsh	入力5 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di5RshNo	入力5 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di6Logic	入力6 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di6Event	入力6 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di6Trap	入力6 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di6TrapNo	入力6 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di6Mail	入力6 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di6MailNo	入力6 ﾒｰﾙ送信先No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di6MailDoc	入力6 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di6Output	入力6 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di6OutputBit	入力6 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di6Rsh	入力6 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di6RshNo	入力6 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di7Logic	入力7 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di7Event	入力7 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di7Trap	入力7 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di7TrapNo	入力7 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di7Mail	入力7 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di7MailNo	入力7 ﾒｰﾙ送信先No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di7MailDoc	入力7 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di7Output	入力7 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di7OutputBit	入力7 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di7Rsh	入力7 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di7RshNo	入力7 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di8Logic	入力8 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di8Event	入力8 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di8Trap	入力8 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di8TrapNo	入力8 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di8Mail	入力8 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di8MailNo	入力8 ﾒｰﾙ送信先No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di8MailDoc	入力8 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di8Output	入力8 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di8OutputBit	入力8 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di8Rsh	入力8 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di8RshNo	入力8 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
デジタル出力	do1Logic	出力1 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do2Logic	出力2 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do3Logic	出力3 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do4Logic	出力4 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do5Logic	出力5 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do6Logic	出力6 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do7Logic	出力7 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do8Logic	出力8 論理	0	0=A接点、1=B接点
	LoginErrOutput	認証ｴﾗｰ時(telnet,ftp,web)	0	0=無、1=有
	LoginErrOutputBit	認証ｴﾗｰ時(telnet,ftp,web)	0	1～8

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
SNMP	snmpPort	SNMP ﾎﾟｰﾄ番号	161	1～65535
	roCommunity	ｺﾐｭﾆﾃｨ(R)	public	1～63 文字以内(半角英数)
	rwCommunity	ｺﾐｭﾆﾃｨ(R/W)	public	1～63 文字以内(半角英数)
	trap1Ip	TRAP1 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	trap1Port	TRAP1 ﾎﾟｰﾄ番号	162	1～65535
	trap1Community	TRAP1 ｺﾐｭﾆﾃｨ名	public	1～63文字以内(半角英数)
	trap1RetryCycle	TRAP1 ﾘﾄﾗｲ間隔	30秒	1～2147483646
	trap1RetryCount	TRAP1 ﾘﾄﾗｲ回数	0	0～65535　0=ﾘﾄﾗｲ無し
	trap2Ip	TRAP2 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	trap2Port	TRAP2 ﾎﾟｰﾄ番号	162	1～65535
	trap2Community	TRAP2 ｺﾐｭﾆﾃｨ名	public	1～63文字以内(半角英数)
	trap2RetryCycle	TRAP2 ﾘﾄﾗｲ間隔	30秒	1～2147483646
	trap2RetryCount	TRAP2 ﾘﾄﾗｲ回数	0	0～65535　0=ﾘﾄﾗｲ無し
	trap3Ip	TRAP3 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	trap3Port	TRAP3 ﾎﾟｰﾄ番号	162	1～65535
	trap3Community	TRAP3 ｺﾐｭﾆﾃｨ名	public	1～63文字以内(半角英数)
	trap3RetryCycle	TRAP3 ﾘﾄﾗｲ間隔	30秒	1～2147483646
	trap3RetryCount	TRAP3 ﾘﾄﾗｲ回数	0	0～65535　0=ﾘﾄﾗｲ無し
	trap4Ip	TRAP4 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	trap4Port	TRAP4 ﾎﾟｰﾄ番号	162	1～65535
	trap4Community	TRAP4 ｺﾐｭﾆﾃｨ名	public	1～63文字以内(半角英数)
	trap4RetryCycle	TRAP4 ﾘﾄﾗｲ間隔	30秒	1～2147483646
	trap4RetryCount	TRAP4 ﾘﾄﾗｲ回数	0	0～65535　0=ﾘﾄﾗｲ無し
	failLoginTrap	認証失敗時ﾄﾗｯﾌﾟ発生有無	0	0=無、1=有
	failLoginTrapNo	認証失敗時ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)
SMTP	signature	署名		0～255 文字以内(半角英数)
	smtpServerName	SMTP ｻｰﾊﾞｰ名		0～255 文字以内(半角英数)
	pop3ServerName	POP3 ｻｰﾊﾞｰ名		0～255 文字以内(半角英数)
	dnsServerIp	DNS ｻｰﾊﾞｰ IP ｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	mailAccount	ﾒｰﾙｻｰﾊﾞｰｱｶｳﾝﾄ		0～63文字以内(半角英数)
	mailPass	ﾒｰﾙｻｰﾊﾞｰﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ		0～63文字以内(半角英数)
	mailAddress1	ﾒｰﾙ送信先1		0～255文字以内(半角英数)
	mailAddress2	ﾒｰﾙ送信先2		0～255文字以内(半角英数)
	mailAddress3	ﾒｰﾙ送信先3		0～255文字以内(半角英数)
	mailAddress4	ﾒｰﾙ送信先4		0～255文字以内(半角英数)
	mailAddress5	ﾒｰﾙ送信先5		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle1	ﾒｰﾙ題目 1		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc1	ﾒｰﾙ内容1		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle2	ﾒｰﾙ題目 2		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc2	ﾒｰﾙ内容2		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle3	ﾒｰﾙ題目 3		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc3	ﾒｰﾙ内容3		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle4	ﾒｰﾙ題目 4		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc4	ﾒｰﾙ内容4		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle5	ﾒｰﾙ題目 5		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc5	ﾒｰﾙ内容5		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle6	ﾒｰﾙ題目 6		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc6	ﾒｰﾙ内容6		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle7	ﾒｰﾙ題目 7		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc7	ﾒｰﾙ内容7		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle8	ﾒｰﾙ題目 8		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc8	ﾒｰﾙ内容8		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle9	ﾒｰﾙ題目 9		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc9	ﾒｰﾙ内容9		0～255文字以内(半角英数)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
SMTP	mailTytle10	ﾒｰﾙ題目 10		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc10	ﾒｰﾙ内容10		0～255文字以内(半角英数)
	failLoginMail	認証失敗時ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	failLoginMailNo	認証失敗時ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	failLoginMailDoc	認証失敗時ﾒｰﾙ送信内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
DIO Server	dioModeSelect	ﾓｰﾄﾞ選択	0	0=DIOｻｰﾊﾞｰ、1=対向接続
	dioserverPort	ｿｹｯﾄｻｰﾊﾞｰﾎﾟｰﾄ	10000	5001～65535
	dioserverProtocol	ｿｹｯﾄｻｰﾊﾞｰﾌﾟﾛﾄｺﾙ	0	0:TCP 1:UDP
	dioserverChangePort	強制切替	0	0=無、1=有
	diofacingBoard_Ip	送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	diofacingBoard_Port	送信先ﾎﾟｰﾄ	10000	5001～65535
	diofacingBoard_MyPort	受信ﾎﾟｰﾄ	10000	5001～65535
	diofacingBoard_Timeout	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間	0	1～60000
	diofacingBoard_Retry	ﾘﾄﾗｲ回数	0	0～65535
	diofacingBoard_Trap	ﾄﾗｯﾌﾟの有無	0	0=無、1=有
	diofacingBoard_TrapNo	ﾄﾗｯﾌﾟの送信先番号	0	0～4
	diofacingBoard_Mail	ﾒｰﾙ発信有無	0	0=無、1=有
	diofacingBoard_MailNo	ﾒｰﾙ送信先番号	0	0～5
	diofacingBoard_MailDoc	送信ﾒｰﾙ内容番号	0	0～10
	diofacingBoard_Rsh	遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ有無	0	0=無、1=有
	diofacingBoard_RshNo	遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号	0	0～10
RSH	rshIp1	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 1	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser1	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 1		31文字以内(半角英数)
	rshCommand1	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 1		255文字以内(半角英数)
	rshIp2	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 2	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser2	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 2		31文字以内(半角英数)
	rshCommand2	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 2		255文字以内(半角英数)
	rshIp3	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 3	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser3	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 3		31文字以内(半角英数)
	rshCommand3	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 3		255文字以内(半角英数)
	rshIp4	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 4	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser4	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 4		31文字以内(半角英数)
	rshCommand4	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 4		255文字以内(半角英数)
	rshIp5	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 5	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser5	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 5		31文字以内(半角英数)
	rshCommand5	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 5		255文字以内(半角英数)
	rshIp6	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 6	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser6	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 6		31文字以内(半角英数)
	rshCommand6	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 6		255文字以内(半角英数)
	rshIp7	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 7	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser7	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 7		31文字以内(半角英数)
	rshCommand7	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 7		255文字以内(半角英数)
	rshIp8	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 8	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser8	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 8		31文字以内(半角英数)
	rshCommand8	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 8		255文字以内(半角英数)
	rshIp9	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 9	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser9	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 9		31文字以内(半角英数)
	rshCommand9	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 9		255文字以内(半角英数)
	rshIp10	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 10	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser10	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 10		31文字以内(半角英数)
	rshCommand10	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 10		255文字以内(半角英数)
	failLoginRsh	認証失敗時ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	failLoginRshNo	認証失敗時ｺﾏﾝﾄﾞ No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)

ユニット監視	checkIp1	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 1	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle1	ﾕﾆｯﾄ監視周期 1	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout1	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 1	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap1	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 1 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap1No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 1 送信先 No.	0	0～4 (trap1～trap4) (0 は無し)
	checkMail1	異常時ﾒｰﾙ 1 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail1No	異常時ﾒｰﾙ 1 送信先 No.	0	0～5 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail1Doc	異常時ﾒｰﾙ 1 内容	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut1	異常時出力1ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut1Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh1	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ1送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh1No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ1送信先No.	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
ユニット監視	checkIp2	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 2	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle2	ﾕﾆｯﾄ監視周期 2	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout2	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 2	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap2	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 2 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap2No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 2 送信先 No.	0	0～4 (trap1～trap4) (0 は無し)
	checkMail2	異常時ﾒｰﾙ 2 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail2No	異常時ﾒｰﾙ 2 送信先 No.	0	0～5 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail2Doc	異常時ﾒｰﾙ 2 内容	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut2	異常時出力2ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut2Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh2	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ2送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh2No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ2送信先No.	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp3	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 3	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle3	ﾕﾆｯﾄ監視周期 3	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout3	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 3	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap3	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 3 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap3No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 3 送信先 No.	0	0～4 (trap1～trap4) (0 は無し)
	checkMail3	異常時ﾒｰﾙ 3 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail3No	異常時ﾒｰﾙ 3 送信先 No.	0	0～5 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail3Doc	異常時ﾒｰﾙ 3 内容	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut3	異常時出力3ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut3Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh3	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ3送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh3No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ3送信先No.	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp4	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 4	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle4	ﾕﾆｯﾄ監視周期 4	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout4	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 4	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap4	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 4 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap4No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 4 送信先 No.	0	0～4 (trap1～trap4) (0 は無し)
	checkMail4	異常時ﾒｰﾙ 4 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail4No	異常時ﾒｰﾙ 4 送信先 No.	0	0～5 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail4Doc	異常時ﾒｰﾙ 4 内容	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut4	異常時出力4ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut4Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh4	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ4送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh4No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ4送信先No.	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp5	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 5	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle5	ﾕﾆｯﾄ監視周期 5	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout5	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 5	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap5	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 5 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap5No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 5 送信先 No.	0	0～4 (trap1～trap4) (0 は無し)
	checkMail5	異常時ﾒｰﾙ 5 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail5No	異常時ﾒｰﾙ 5 送信先 No.	0	0～5 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail5Doc	異常時ﾒｰﾙ 5 内容	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut5	異常時出力5ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut5Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh5	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ5送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh5No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ5送信先No.	0	0～10 (ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp6	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 6	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle6	ﾕﾆｯﾄ監視周期 6	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout6	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 6	0 秒	0～2147483646 (0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap6	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 6 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap6No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 6 送信先 No.	0	0～4 (trap1～trap4) (0 は無し)
	checkMail6	異常時ﾒｰﾙ 6 送信有無	0	0=無、1=有

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
ユニット監視	checkMail6No	異常時ﾒｰﾙ6 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail6Doc	異常時ﾒｰﾙ6 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut6	異常時出力6ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut6Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh6	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ6送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh6No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ6送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp7	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 7	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle7	ﾕﾆｯﾄ監視周期 7	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout7	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 7	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap7	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 7 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap7No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 7 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail7	異常時ﾒｰﾙ 7 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail7No	異常時ﾒｰﾙ 7 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail7Doc	異常時ﾒｰﾙ 7 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut7	異常時出力7ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut7Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh7	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ7送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh7No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ7送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp8	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 8	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle8	ﾕﾆｯﾄ監視周期 8	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout8	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 8	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap8	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 8 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap8No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 8 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail8	異常時ﾒｰﾙ 8 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail8No	異常時ﾒｰﾙ 8 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail8Doc	異常時ﾒｰﾙ 8 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut8	異常時出力8ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut8Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh8	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ8送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh8No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ8送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp9	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 9	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle9	ﾕﾆｯﾄ監視周期 9	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout9	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 9	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap9	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 9 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap9No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 9 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail9	異常時ﾒｰﾙ 9 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail9No	異常時ﾒｰﾙ 9 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail9Doc	異常時ﾒｰﾙ 9 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut9	異常時出力9ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut9Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh9	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ9送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh9No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ9送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp10	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 10	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle10	ﾕﾆｯﾄ監視周期 10	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout10	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 10	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap10	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 10 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap10No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 10 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail10	異常時ﾒｰﾙ 10 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail10No	異常時ﾒｰﾙ 10 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail10Doc	異常時ﾒｰﾙ 10 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut10	異常時出力10ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut10Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh10	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ10送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh10No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ10送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
ユーザー	telnetUser	telnetﾕｰｻﾞ名	admin	1～63文字以内(半角英数)
	telnetPass	telnetﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	root	1～63 文字以内(半角英数)
	webUser	Webﾕｰｻﾞ名	admin	1～63文字以内(半角英数)
	webPass	Webﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	root	1～63 文字以内(半角英数)
	ftpUser	ftpﾕｰｻﾞ名	admin	1～63文字以内(半角英数)
	ftpPass	ftpﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	root	1～63 文字以内(半角英数)
クリアSW	clearTrap	ｸﾘｱSW押下時 ﾄﾗｯﾌﾟ有無	0	0=無、1=有
	clearTrapNo	ｸﾘｱSW押下時 ﾄﾗｯﾌﾟ番号	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	clearMail	ｸﾘｱSW押下時 ﾒｰﾙ有無	0	0=無、1=有
	clearMailNo	ｸﾘｱSW押下時 ﾒｰﾙ番号	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	clearMailDoc	ｸﾘｱSW押下時 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	clearRsh	ｸﾘｱSW押下時 ｺﾏﾝﾄﾞの有無	0	0=無、1=有
	clearRshNo	ｸﾘｱSW押下時 ｺﾏﾝﾄﾞ番号	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
日付時刻	Date	時刻設定		YYYYMMDDHHMMSS
SNTP	sntp	時刻補正有無	0	0=無、1=有
	primaryIp	ﾌﾟﾗｲﾏﾘｻｰﾊﾞｰIPｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	secondaryIp	ｾｶﾝﾀﾞﾘｻｰﾊﾞｰIPｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	primaryTimeout	ﾌﾟﾗｲﾏﾘへの応答ﾀｲﾑｱｳﾄ	1000msec	1～60000
	secondaryTimeout	ｾｶﾝﾀﾞﾘへの応答ﾀｲﾑｱｳﾄ	1000msec	1～60000
	sntpWatchCycle	監視間隔	3600 秒	1～2147483646
	sntpAdjustCycle	補正間隔	60000msec	0～60000
ロギング	snmpLog	SNMPﾄﾗｯﾌﾟﾛｷﾞﾝｸﾞ有無	0	0=無、1=有
	mailLog	ﾒｰﾙﾛｷﾞﾝｸﾞ有無	0	0=無、1=有
	diLog	ﾛｷﾞﾝｸﾞの有無	0	0=無、1=有
	doLog	ﾛｷﾞﾝｸﾞの有無	0	0=無、1=有
	rshLog	遠隔ｺﾏﾝﾄﾞﾛｷﾞﾝｸﾞの有無	0	0=無、1=有
	checkLog	ﾕﾆｯﾄ監視ﾛｷﾞﾝｸﾞの有無	0	0=無、1=有

※1 第１オクテットの値は１０（１０進）の固定値が入ります。
第２～４オクテットの値はMACアドレスの下３バイトの値を割り当てます。

例) MAC = 00-04-FD-01-02-03 ⇒ IP = 10.1.2.3
MAC = 00-04-FD-0A-0B-0C ⇒ IP = 10.10.11.12

6 トラブルシューティング

Q1　電源 LED が点灯しない

A1　AC アダプタが正しく接続されていることを確認してください。

Q2　設定ユーティリティソフトから Dataway を検索しても表示されない

A2　設定ユーティリティソフトで使用しているパソコンと、
Dataway が同一ネットワーク内であるか確認してください。
LAN ケーブルの接続方法に問題がないか確認してください。
Dataway が運転モード、パラメータ設定モードもしくは UP-DATE モードにて
動作していることを確認してください。

Q3　Dataway に TCP 接続できない

A3　IP、ポート番号設定があっているか確認してください。
上位ホストと Dataway が同一ネットワーク内にあるか確認してください。
LAN ケーブルの接続方法に問題がないか確認してください。
Dataway が運転モードにて動作していることを確認してください。

Q4　通信エラーがでる

A4　LAN ケーブルの接続方法に問題がないか確認してください。
シリアルの設定があっているか確認してください。

7 製品仕様

7.1 一般仕様

項目	仕様
型式	DWO－DIO8
定格電源電圧	AC100V±10%（付属 AC アダプタ）
消費電力	15VA 以下
絶縁抵抗	500V　DC 絶縁抵抗にて 1MΩ以上（電源端子・ケース間）
耐電圧	1000V　AC　1 分間（電源端子・ケース間）
耐ノイズ性	1500Vp-p　パルス幅 1μsec
耐振動	JIS　C0911 準拠　10～150Hz　9.8m／s^2　X、Y、Z 各方向 60 分
使用周囲温度	0℃～50℃（但し AC アダプタは 0℃～40℃）
使用周囲湿度	20%～80%（結露なき事）
使用周囲雰囲気	腐食性ガスなき事
保存周囲温度	－10℃～60℃
質量	本体　約 730ｇ　付属 AC アダプタ　約 130ｇ
外形寸法	幅 185×高 42×奥 116mm（突起部含まず）

7.2 性能仕様

イーサーインタフェース

項目	仕様
LAN	10BASE－T、100BASE－TX

出力部インタフェース

項目	仕様
出力形式	無電圧　a 接点出力（リレー）
出力点数	8 点
定格負荷	125V　3A（最大）　DC30V　3A（最大）DC5V　10mA（最小）（抵抗負荷）
使用可能電線	単線　Φ1.3～2.0㎜　(AWG#12～#16) より線　0.33～2.08㎟　(AWG#22～#14)
電線被覆剥きしろ	9～10mm

入力部インタフェース

項目	仕様
入力形式	フォトカプラ入力（内蔵 12V 使用）、短絡時電流約 5mA
出力点数	8 点
使用可能電線	単線　Φ1.3～2.0㎜　(AWG#12～#16) より線　0.33～2.08㎟　(AWG#22～#14)
電線被覆剥きしろ	9～10mm

8 製品サポート

製品サポートについては、FAX、もしくはE−MAILでのみ受け付けております。
お問い合わせの際には、製品名、使用環境、使用方法等、トラブル内容など詳細に記載してください。

ハードウェアの故障などにより製品修理をご依頼いただく場合、弊社作業上、IPアドレスなどの本体諸設定は初期化してのご返却となります。ご面倒ですが、必ずお客様で設定いただきました諸設定情報の控えをとっていただき、ご返却後お客様にて再設定を行っていただきますようお願いいたします。
また、場合によっては修理後MACアドレスを変更して、ご返却させていただくことがございますのでご了承願います。

日本制御機器株式会社　技術サポート窓口
◆ FAXによるご連絡　　072-661-4065
◆ E-MAILによるご連絡　　dwtec@nihon-seigyo.co.jp

2008/7/24